




伊方発電所第3号機

第15回施設定期検査時の安全管理の計画

記載例

 : 機能要求なし

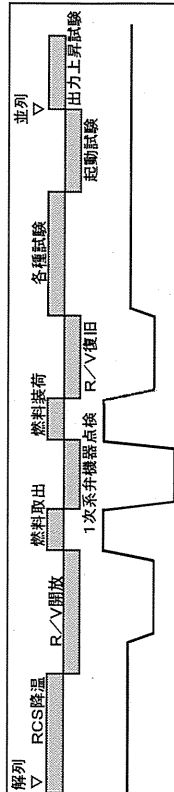
 : 機能要求あり

 : 機能要求あり (条件付)

なお、上記においても要求除外となる場合がある。詳細は、伊方発電所原子炉施設保安規定を参照。

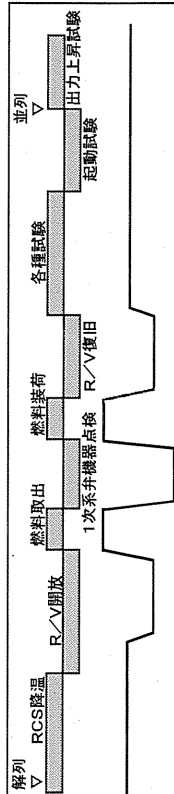
伊方発電所第3号機 第15回 施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程		検査項目																	
RCS水位		検査項目																	
項目	保安規定条文	要求モード	キャビティ満水 RCS満水 ミッドループ RCS全フロー	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	6-外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	各種試験	並列 Y
放射線物質格納機能	第58条 アニュラス空 浄化系	モード3、4	要求内容 ・アニュラス空浄化系を動作可能であること ・アニュラスの機能が健全であること(アニュラス内点検、エアロック点検を行う場合、運転上の制限を適用しない。) ・主蒸気隔離弁が閉止可能であること(閉止状態にある主蒸気隔離弁については、運転上の制限を適用しない。)	×	×										×		×	各種試験	並列 Y
	第59条 アニュラス	モード3、4	・アニュラスの機能が健全であること(アニュラス内点検、エアロック点検を行う場合、運転上の制限を適用しない。) ・主蒸気隔離弁が閉止可能であること(閉止状態にある主蒸気隔離弁については、運転上の制限を適用しない。)	×	×										×		×	各種試験	並列 Y
	第61条 主蒸気隔離弁	モード3	・主蒸気隔離弁が閉止可能であること(閉止状態にある主蒸気隔離弁については、運転上の制限を適用しない。)	×														各種試験	並列 Y
	第62条 主給水隔離弁、 主給水制御弁、 主給水制御弁、 および主給水バイ パス制御弁	モード3	・主給水隔離弁、主給水制御弁および主給水バイパス制御弁が閉止可能であること(閉止または手動弁で隔離された状態にある主給水隔離弁、主給水制御弁または主給水バイパス制御弁については、運転上の制限を適用しない。)	×														各種試験	並列 Y
	第63条 原子炉キャビティ 水位	モード6-2(キャビティ高 水位、原子炉キャビティ水 位がEL 31.7m以上)	・原子炉キャビティ水位がEL 31.7m以上であること(計画的な原子炉キャビティ水 抜きによりモード6(キャビティ低水位)に移行する場合、運転上の制限を適用 しない。)						△									各種試験	並列 Y
	第64条の2 原子炉格納容器 貫通部	モード5、6	・機器ハッチが全ボルトで閉じられていること(原子炉格納容器内で燃料移動を 行っていない場合は、速やかに閉止することを含む。) ・燃料移動が完了した状態で、原子炉格納容器内に燃料があること(燃料移動中 は、加圧器水位が10%から50%の範囲内において、加圧器安全弁が動作可能であることおよび 31.7m以上である場合、1次冷却系の水位が原子炉キャビティ水位より30cm以上で ある場合(燃料取出前の原子炉格納容器のふたを開放してから原子炉キャビティ水 位を調整する)、炉心崩壊熱が2MW未満未満と評価できる場合、燃料 移動後の原子炉キャビティ抜き排水開始から1次冷却系水張り開始までの期間に おいて、炉心崩壊熱が2MW未満と評価できる場合のいずれかを満足している 場合)のいずれかを満足している場合)に開放することが許容される。この場合、 運転上の制限を満足していないとはみなさない。) ・各エアロックが1つ以上のドアで閉止可能であること(閉止可能であることとは、 閉止状態であることを含む。) ・その他の貫通部のうち、隔離弁については閉止可能であること(閉止可能であ ることは、閉止状態であることを含む。) ・隔離弁以外については閉止フランジまたは同等なものによって閉じられている こと(原子炉格納容器内で燃料移動を行っていない場合は、速やかに閉止できる ことを条件に開放することが許容される。また、原子炉格納容器内で燃料移動を 行っている場合において、燃料移送管については隔離弁により閉止可能である ことを条件に開放することが許容される。この場合、運転上の制限を満足してい ないとはみなさない。)															各種試験	並列 Y
	第83条 使用済燃料ピット の水位および水 温	全モード	・使用済燃料ピット水位がEL 31.7m以上であること(照射済燃料の移動を行って いない場合は、運転上の制限を適用しない。) ・使用済燃料ピット水温が65℃以下であること(照射済燃料の移動を行っていな い場合は、運転上の制限を適用しない。)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	各種試験	並列 Y
崩壊熱除去機能	第35条 1次冷却系	モード3	・制御棒の引抜操作が行える状態である場合は、蒸気発生器による熱除去系2 系統以上が運転中であること(制御棒引抜操作が行える状態とは、原子炉トリッ プシャ断器が投入され、制御棒クラスター駆動装置(MGセット)による電源が制御 棒駆動装置に供給されている状態をいう。) ・制御棒の引抜操作が行える状態でない場合は、蒸気発生器による熱除去系2 系統以上が動作可能であり、そのうち1系統以上が運転中であること	×														各種試験	並列 Y
	第37条 1次冷却系	モード4	・余熱除去系または蒸気発生器による熱除去系のうち、2系統以上が動作可能 であり、そのうち1系統以上が運転中であること		×													各種試験	並列 Y



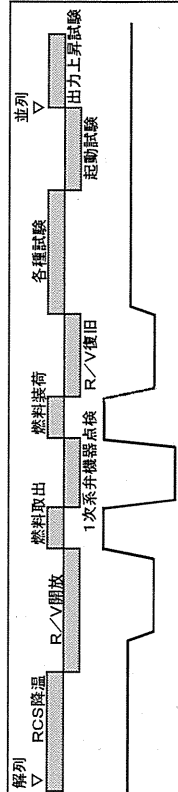
伊方発電所第3号機 第15回 施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程		並列 V RCS降温 R/V開放 燃料取出 燃料装荷 各種試験 出力上昇試験														
RCS水位		各種試験 起動試験														
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	6-2外	5-2	5-1	4	5-1	4	3
電源供給	第72条の3 外部電源	モード3, 4, 5, 6 および 使用済燃料ピットに燃料 体を貯蔵している期間	外部電源3回線以上が動作可能であること(外部電源の回線数は、当該原子 炉に対する個々の非常用高圧母線すべてに対して電力供給することができる条 款を適用しない。)(送電線の回線数とする。)(送電線事故の発生時は、運転上の制 限を適用しない。) 外部電源のうち、1回線以上は他の回線に対して独立性を有していること(独立 性を有するとは、1送電線の上流において1つの変電所または閉閉所のみには受 電しないこと)をいう。)(1つの変電所または閉閉所のルートにより供給または受 電している場合であっても、設備構成として、別ルートでの連系が可能な状態で あれば、独立性を有していることとみなすことができる。) ・非常用ディーゼル発電機2基が動作可能であること(予備潤滑運転(ターニン グ エアラン)を行う場合、運転上の制限を適用しない。) ・燃料油サージスタックの貯油量(保有油量)が1375L以上であること(非常用 ディーゼル発電機が運転中および運転終了後の24時間は、運転上の制限を適 用しない。)													
	第73条 ディーゼル発電 機	モード3, 4	・非常用ディーゼル発電機2基が動作可能であること(予備潤滑運転(ターニン グ エアラン)を行う場合、運転上の制限を適用しない。) ・燃料油サージスタックの貯油量(保有油量)が1375L以上であること(非常用 ディーゼル発電機が運転中および運転終了後の24時間は、運転上の制限を適 用しない。)													
	第74条 ディーゼル発電 機	モード5, 6および使用済 燃料ピットに燃料体を貯蔵 している期間	・非常用ディーゼル発電機2基が動作可能であること(非常用ディーゼル発電機 の予備潤滑運転(ターニング エアラン)を行う場合、運転上の制限を適用しな い。)(非常用ディーゼル発電機には、非常用発電機1基を含めることができる。 非常用発電機とは、所要の電力供給が可能なものをいう。なお、非常用発電機 は複数の号炉で共用することができる。) ・非常用ディーゼル発電機に対応する燃料油サージスタックの貯油量(保有油 量)が1375L以上であること(非常用ディーゼル発電機が運転中および運転終了 後の24時間は、運転上の制限を適用しない。)													
	第75条 ディーゼル発電 機の燃料油、潤 滑油および始動 用空気	モード3, 4, 5, 6および使 用済燃料ピットに燃料体を 貯蔵している期間	・所要の非常用ディーゼル発電機の燃料油貯油タンクおよび重油タンク(保 有油量)が2589L以上であること(燃料油貯油タンク120kL以上および重油タンク 1289L以上をいう。) ・所要の非常用ディーゼル発電機の潤滑油タンク(保有油量)が4,800L以 上であること(予備潤滑運転(ターニング エアラン)を行う場合、運転上の制限を 適用しない。非常用ディーゼル発電機が運転中および運転終了後の24時間は、 運転上の制限を適用しない。) ・所要の非常用ディーゼル発電機の起動用空気貯蔵圧が2.50MPa以上であるこ と(予備潤滑運転(ターニング エアラン)を行う場合、運転上の制限を適用しな い。非常用ディーゼル発電機が運転中および運転終了後の24時間は、運転上 の制限を適用しない。)													
	第76条 非常用直流通電 源	モード3, 4	・非常用直流通電源2系統(非常用非非常用および非常用が動作可能であること (充電器は充電器または後備充電器のいずれかをいい、両方が機能喪失となつ て動作不能とみなす。))													
	第77条 非常用直流通電 源	モード5, 6および照射済 燃料移動中	・所要の設備の維持に必要な非常用直流通電源に接続する系統(非常用非非常用) および充電器が動作可能であること(充電器は充電器または後備充電器のいづ れかをいい、両方が機能喪失となつて動作不能とみなす。))													
	第78条 所内非常用母線	モード3, 4	・非常用高圧母線2回線、非常用低圧母線4回線、非常用直流通電源2回線およ び非常用計装用母線4回線が受電していること(所内非常用母線の電源の自動 切替の間は、運転上の制限を適用しない。)													
	第79条 所内非常用母線	モード5, 6および照射済 燃料移動中	・所要の設備の維持に必要な非常用高圧母線、非常用低圧母線、非常用直流通 電源および非常用計装用母線が受電していること(所内非常用母線の電源の自 動切替の間は、運転上の制限を適用しない。)													
海水系統他	第80条 原子炉補機冷却 水系	モード3, 4	・原子炉補機冷却水系2系統が動作可能であること													



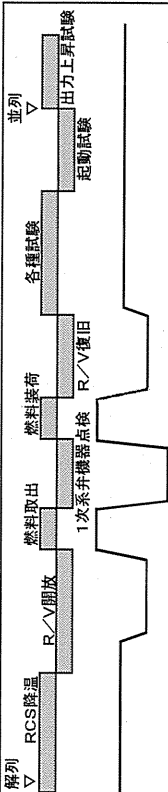
伊方発電所第3号機 第15回 施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程		RCS水位												各種試験												並列				
RCS水位		RCS全ロー												RCS低温												R/V開放	燃料取出	燃料装荷	各種試験	出力上昇試験
RCS水位		キヤビテイ満水												R/V開放												1次系弁機器点検	R/V復旧	各種試験	起動試験	
RCS水位		RCS満水												R/V開放												1次系弁機器点検	R/V復旧	各種試験	起動試験	
RCS水位		ミッドループ												R/V開放												1次系弁機器点検	R/V復旧	各種試験	起動試験	
RCS水位		RCS全ロー												R/V開放												1次系弁機器点検	R/V復旧	各種試験	起動試験	
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モト外	6-2	6-1	6-2	6-1	6-2	6-1	6-2	6-1	6-2	4	5-1	5-2	6-1	6-2	4	5-1	4	3	並列	
その他	第71条 燃料取扱建屋空 気浄化系	使用済燃料ヒートでの照射 済燃料移動中	燃料取扱建屋空気浄化系2系統が動作可能であること(照射終了後の所定期間を経過した照射済燃料を取扱う場合、運転上の制限を適用しない。なお、所定期間については、原子燃料課長があらかじめ定め、原子炉主任技術者の確認を得て、所長の承認を得る。)	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
重大事故等対応 設備	第84条 (第84-3-1) 1次冷却系統の フィードバック モード	モード3および4(蒸気発 生器が熱除去のために使 用されている場合)	高圧注入系の2系統が動作可能であること(動作可能とは、ポンプが手動起動(系統構成含む)できることという。) 加圧器速がし弁2台による1次冷却系統の減圧系が動作可能であること	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	第84条 (第84-4-1) 炉心注水および 再循環運転	モード3、4、5および6	高圧注入系および高圧再循環系それぞれ1系統以上が動作可能であること(動作可能とは、ポンプが手動起動(系統構成含む)できること、または運転中であることという。) 低圧注入系および低圧再循環系それぞれ1系統以上が動作可能であること(動作可能とは、ポンプが手動起動(系統構成含む)できること、または運転中であることという。)	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	第84条 (第84-4-2) 代替炉心注水 - 充てんポンプ (B、自己冷却 式)による代替炉 心注水-	モード3、4、5および6	充てんポンプ(B、自己冷却式)による代替炉心注水系が動作可能であること(動作可能とは、ポンプが手動起動(系統構成含む)できること、または運転中であることという。)	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	第84条 (第84-4-3) 代替炉心注水系 - 中型ポンプ車 および加圧ポン プ車による代替 炉心注水-	モード3、4、5および6	中型ポンプ車および加圧ポンプ車による代替炉心注水系2系統が動作可能であること(1系統とは、中型ポンプ車1台および加圧ポンプ車1台をいう。)	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	第84条 (第84-4-4) 代替再循環運転 - 格納容器スプ レイポンプ(B、 代替再循環配管 使用)による代替 再循環運転-	モード3、4、5および6	格納容器スレイポンプ(B、代替再循環配管使用)による代替再循環系が動作可能であること(動作可能とは、ポンプが手動起動(系統構成含む)できることという。)	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	第84条 (第84-4-5) 代替再循環運転 - 格納容器再循 環サンパB兩離 弁バイパス井に よる代替再循環 運転-	モード3、4、5および6	格納容器再循環サンパB兩離弁バイパス井が開弁できること	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△



伊方発電所第3号機 第15回 施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程			検査項目															
RCS水位		要求モード	検査項目															
保安規定条文	検査内容		3	4	5-1	6-1	6-2	モト外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	5-1	4	3
重大事故等対処設備	第84条 (表84-12-3) 使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	要求モード	検査内容	3	4	5-1	6-1	6-2	モト外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3
	第84条 (表84-12-3) 使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	要求モード	検査内容	3	4	5-1	6-1	6-2	モト外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3
	第84条 (表84-13-1) 大気への拡散抑制、航空機燃料火災への泡消火	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	要求モード	検査内容	3	4	5-1	6-1	6-2	モト外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3
	第84条 (表84-13-2) 海浜への拡散抑制	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	要求モード	検査内容	3	4	5-1	6-1	6-2	モト外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3
	第84条 (表84-14-1) 補助給水タンクへの補給	モード3、4、5および6	要求モード	検査内容	3	4	5-1	6-1	6-2	モト外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3
	第84条 (表84-14-2) 燃料取替用水タンク	モード3、4、5および6 (キャビティ低水位)	要求モード	検査内容	3	4	5-1	6-1	6-2	モト外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3
	第84条 (表84-14-3) 補助給水タンク	モード3、4、5および6	要求モード	検査内容	3	4	5-1	6-1	6-2	モト外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3
	第84条 (表84-15-1) 空冷式非常用発電装置からの給電	モード3、4、5、6以外で使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	要求モード	検査内容	3	4	5-1	6-1	6-2	モト外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3
	第84条 (表84-15-2) 300kVA電源車からの給電	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	要求モード	検査内容	3	4	5-1	6-1	6-2	モト外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3



並列
V
出力上昇試験
起動試験

RCS降温
RCS水位
燃料取出
燃料供給
各種試験
出力上昇試験
起動試験

伊方発電所第3号機 第15回 施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程		RCS水位		並列 V RCS降溫 Rへ開放 燃料取出 燃料接荷 各種試験 出力上昇試験															
項目	保安規定条文 (表84-16-1)	要求モード	要求モード	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	6-2外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3	
重大事故等対処設備	第84条 (表84-16-1) 計装設備	モード3, 4, 5および6	モード3, 4, 5および6	<p>要求内容</p> <p>(3) 原子炉格納容器内の水位(プラント起動時に伴う計器校正および原子炉格納容器漏えい率検査時に計器保護のために隔離している場合は、運転上の制限を満足しないとはみなさない。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加圧器水位が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・原子炉格納容器水位が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・1次冷却材圧力および1次冷却材高温側温度(広域)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・RVフロンツ面下水位(RCSノズルセルセンサ水位)が1チャンネル動作可能であること(多様性拡張設備であり、運転上の制限は適用しない。) <p>(4) 原子炉格納容器への注水量(プラント起動時に伴う計器校正および原子炉格納容器漏えい率検査時に計器保護のために隔離している場合は、運転上の制限を満足しないとはみなさない。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高圧注入ライン流量が1チャンネル動作可能であること ・格納容器スプレイレインB積算流量が1チャンネル動作可能であること ・代替格納容器スプレイレイン積算流量(AM)が1チャンネル動作可能であること ・高圧タンク水位が1チャンネル動作可能であること(多様性拡張設備であり、運転上の制限は適用しない。) ・蓄圧タンク圧力が1チャンネル動作可能であること(多様性拡張設備であり、運転上の制限は適用しない。) ・燃料取替用水タンク水位が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・原子炉格納容器再循環ポンプ水位(広域)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・1次冷却材圧力低溫側(広域)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・1次冷却材圧力低溫側(広域)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) <p>(5) 原子炉格納容器への注水量(プラント起動時に伴う計器校正および原子炉格納容器漏えい率検査時に計器保護のために隔離している場合は、運転上の制限を満足しないとはみなさない。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・格納容器スプレイレインB積算流量が1チャンネル動作可能であること ・代替格納容器スプレイレイン積算流量(AM)が1チャンネル動作可能であること ・高圧注入ライン流量が1チャンネル動作可能であること ・格納容器スプレイレイン流量が1チャンネル動作可能であること ・燃料取替用水タンク水位が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・原子炉格納容器再循環ポンプ水位(広域)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・1次冷却材圧力低溫側(広域)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・1次冷却材圧力低溫側(広域)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) 															
				<p>関連設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加圧器水位検出, 伝送ライン ・原子炉格納容器水位検出, 伝送ライン ・1次冷却材圧力検出, 伝送ライン ・1次冷却材高温側温度(広域)検出, 伝送ライン ・RVフロンツ面下水位計 															
				<p>関連設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高圧注入ライン流量検出, 伝送ライン ・余熱除去ルーパB積算流量検出, 伝送ライン ・格納容器スプレイレインB積算流量検出, 伝送ライン ・代替格納容器スプレイレイン積算流量(AM)検出, 伝送ライン ・蓄圧タンク水位検出, 伝送ライン ・蓄圧タンク圧力検出, 伝送ライン ・燃料取替用水タンク水位検出, 伝送ライン ・原子炉格納容器再循環ポンプ水位(広域)検出, 伝送ライン ・1次冷却材圧力低溫側(広域)検出, 伝送ライン ・1次冷却材圧力低溫側(広域)検出, 伝送ライン 															
				<p>関連設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・格納容器スプレイレインB積算流量検出, 伝送ライン ・代替格納容器スプレイレイン積算流量(AM)検出, 伝送ライン ・高圧注入ライン流量検出, 伝送ライン ・余熱除去ルーパB積算流量検出, 伝送ライン ・格納容器スプレイレイン流量検出, 伝送ライン ・燃料取替用水タンク水位検出, 伝送ライン ・原子炉格納容器再循環ポンプ水位(広域)検出, 伝送ライン ・1次冷却材圧力低溫側(広域)検出, 伝送ライン ・1次冷却材圧力低溫側(広域)検出, 伝送ライン 															
				<p>関連設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉格納容器内の温度(プラント起動時に伴う計器校正および原子炉格納容器漏えい率検査時に計器保護のために隔離している場合は、運転上の制限を満足しないとはみなさない。) ・格納容器内温度が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・格納容器内圧力(広域)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・格納容器内圧力(AM)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) 															

伊方発電所第3号機 第15回 施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程		並列 V RCS降温 R/V開放 燃料取出 燃料装荷 各種試験 並列 V 出力上昇試験 起動試験														
RCS水位		1次系弁機器点検 R/V復旧														
項目	保安規定条文 (表84-16-1) 計装設備	要求モード モード3, 4, 5およびU6	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	6-2外	6-2	5-1	4	5-1	4	3	
重大事故等対処設備		要求内容	関連設備													
RCS水位	第84条(表84-16-1)計装設備	(7)原子炉格納容器内の圧力(プラント起動時に伴う計器校正および原子炉格納容器漏えい率検査時に計器保護のため隔離している場合等は、運転上の制限を満足しないとはみさない) ・格納容器内圧力(広域)が1チャンネル動作可能であること ・格納容器内圧力(AM)が1チャンネル動作可能であること ・格納容器内温度が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ)	・格納容器内圧力(広域)検出, 伝送ライン ・格納容器内圧力(AM)検出, 伝送ライン ・格納容器内温度検出, 伝送ライン													
			(8)原子炉格納容器内の水位(プラント起動時に伴う計器校正および原子炉格納容器漏えい率検査時に計器保護のため隔離している場合等は、運転上の制限を満足しないとはみさない) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)が1チャンネル動作可能であること ・格納容器再循環サンプ水位(広域)が1チャンネル動作可能であること ・原子炉下部キャビティ水位が1チャンネル動作可能であること ・格納容器水位が1チャンネル動作可能であること ・燃料取替用水タンク水位が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・補助給水タンク水位が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・格納容器スプレイレインB積算流量が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・代替格納容器スプレイレイン積算流量(AM)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ)	・格納容器再循環サンプ水位(広域)検出, 伝送ライン ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)検出, 伝送ライン ・原子炉下部キャビティ水位検出, 伝送ライン ・格納容器水位検出, 伝送ライン ・燃料取替用水タンク水位検出, 伝送ライン ・補助給水タンク水位検出, 伝送ライン ・格納容器スプレイレインB積算流量検出, 伝送ライン ・代替格納容器スプレイレイン積算流量(AM)検出, 伝送ライン												
				(9)原子炉格納容器内の水素濃度(プラント起動時に伴う計器校正および原子炉格納容器漏えい率検査時に計器保護のため隔離している場合等は、運転上の制限を満足しないとはみさない) ・格納容器水素濃度が1チャンネル動作可能であること ・予備の格納容器水素濃度計測装置が動作可能であること(代替パラメータ) ・静的触媒式水素再結合装置が動作可能であること(代替パラメータ) ・イグナイタ作動温度計測装置が動作可能であること(代替パラメータ) ・格納容器内圧力(広域)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ)	・格納容器水素濃度検出, 伝送ライン ・予備の格納容器水素濃度計測装置 ・静的触媒式水素再結合装置作動温度計測装置 ・イグナイタ作動温度計測装置 ・格納容器内圧力(広域)検出, 伝送ライン											
(10)アンヨラス瓶の水素濃度(プラント起動時に伴う計器校正および原子炉格納容器漏えい率検査時に計器保護のため隔離している場合等は、運転上の制限を満足しないとはみさない) ・アンヨラス水素濃度(AM)が1チャンネル動作可能であること ・アンヨラス水素濃度が1チャンネル動作可能であること(多様性拡張設備であり、運転上の制限は適用しない) ・予備のアンヨラス水素濃度(AM)計測装置が動作可能であること	・アンヨラス水素濃度(AM)検出, 伝送ライン ・アンヨラス水素濃度検出, 伝送ライン ・予備のアンヨラス水素濃度(AM)計測装置															
	(11)原子炉格納容器内の放射線量(プラント起動時に伴う計器校正および原子炉格納容器漏えい率検査時に計器保護のため隔離している場合等は、運転上の制限を満足しないとはみさない) ・格納容器高レンジエリアモニタ(高レンジ)が1チャンネル動作可能であること ・格納容器高レンジエリアモニタ(低レンジ)が1チャンネル動作可能であること ・格納容器入口エリアモニタが1チャンネル動作可能であること(多様性拡張設備であり、運転上の制限は適用しない) ・炉内核計装区域エリアモニタ検出, 伝送ライン ・格納容器じんあいモニタ検出, 伝送ライン ・格納容器ガスモニタが1チャンネル動作可能であること(多様性拡張設備であり、運転上の制限は適用しない) ・格納容器ガスモニタが1チャンネル動作可能であること(多様性拡張設備であり、運転上の制限は適用しない)	・格納容器高レンジエリアモニタ(高レンジ)検出, 伝送ライン ・格納容器高レンジエリアモニタ(低レンジ)検出, 伝送ライン ・格納容器入口エリアモニタ検出, 伝送ライン ・炉内核計装区域エリアモニタ検出, 伝送ライン ・格納容器じんあいモニタ検出, 伝送ライン ・格納容器ガスモニタ検出, 伝送ライン														

伊方発電所第3号機 第15回 施設定期検査時の安全管理の計画

項目	保安規定条文 (第84条 (第84-21-1) 中型ポンプ車	要求モード モード3, 4, 5および6 以外で使用する燃料ピットに燃 料体を貯蔵している期間	要求内容 ・中型ポンプ車が6台動作可能であること ・中型ポンプ車が2台動作可能であること ・ホイールローダが2台動作可能であること	RCS水位															
				3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	6-2外	6-1	6-2	6-1	6-2					
重大事故等対処 設備				解列 ▽ RCS降温	R</>開放	燃料取出	燃料接荷	各種試験	並列 ▽ 出力上昇試験										
	第84条 (第84-22-1) アクセスルートの 確保	モード3, 4, 5, 6および 使用中燃燃料ピットに燃料 体を貯蔵している期間	・余熱除去冷却装置目皿 ・格納容器スプレイ冷却装置目皿 ・安全補機配管室目皿																
	第84条 (第84-22-2) インターフェイス 時の1次冷却材 の拡散防止	モード3	・ISLOCA床ドレン配管が使用可能であること(余熱除去冷却装置目皿～余熱 除去ポンプ室漏えい検知ピット、格納容器スプレイ冷却装置目皿および安全補機 配管室(EL 3.3m)目皿～格納容器スプレイポンプ室漏えい検知ピットまでのドレ ン配管)																

本計画は安全管理の基本方針を示すものであり、作業工程等の変更により計画の変更が生じる可能性があるが、仮に変更が生じた場合においても、保安規定の遵守を徹底し安全管理に努めるものとする。

計画期間中における点検の実施状況等

「伊方発電所第3号機 点検計画（第15保全サイクル）」

点検計画の記載について

1. 点検計画については以下の方針に従い記載している。

(1) 記載している設備について

点検計画には発電所設備の主要機器として以下の設備を対象に記載している。

①核原料物質，核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の14第1項に規定する技術基準が適用される設備

a. 定期事業者検査の対象となる設備

b. 実用発電用原子炉の設置，運転等に関する規則別表第2において工事計画書に記載が要求されている設備

なお，工事計画書において仕様が記載されていない設備については，日常の管理の中で健全性が確認でき，かつ，取替が可能な下記のものについて除外する。

(a) 防保護具，現地操作時に用いる工具類，固縛用ナイロンスリング類

(b) 一般消耗品（電池類他）

(c) 一般産業品（可搬型照明，電話・ファックス他）

②保全の重要度が高い設備

(2) 記載している点検について

点検計画には上記設備の主要な点検として以下を記載している。

- ・定期事業者検査に係る点検
- ・施設定期検査の都度性能維持のための措置を伴う点検
- ・施設定期検査対象機器に係る点検のうち定期事業者検査に係る点検の実施頻度より短い実施頻度で行う性能維持のための措置を伴う点検
- ・記載対象設備において上記に該当する点検がない設備については主要な点検

上記以外の点検（主要機器の上記条件以外の点検や附帯設備^{※1}の点検等）については、「伊方発電所保守内規」に定めている。

※1 附帯設備の例

潤滑油，潤滑水，シール水，冷却設備，電源，制御回路，オリフィス，レデューサ，サイトグラス等

(3) 保全の重要度について

機器レベルの保全の重要度は，「伊方発電所保守内規」により定義されている G1～G5 の5段階で表記する。5段階のうち，G1，G2，G3 は，保全重要度「高」，また，G4，G5 は，保全重要度「低」として取り扱うこととする。

ただし，構築物の保全の重要度については，系統レベルの影響度評価結果に基づき，「高」又は「低」と記載している。

なお，保全重要度「高」の設備については保全方式として予防保全（時間基準保全，状態基準保全）を選定し，事後保全は選定していない。

(4) 保全方式について

保全方式について以下のとおり記載している。

- ・時間基準保全を採用しているもの：点検頻度
- ・状態基準保全を採用しているもの：CBM
- ・事後保全を採用しているもの：BDM

なお，休止設備については使用時に保全方式を決定するため「-」と表示している。

(5) 点検頻度について

次の整理により「C」：保全サイクル、「M」：月、「Y」：年、「YP」：年、「B」：状態監視の結果で表記している。

- ・施設定期検査中に実施する性能維持のための措置を伴う点検及びそれに伴い実施する点検については、「M」又は「YP」により表記している。
なお、「M」により表示された頻度は、原子炉の運転期間（総合負荷性能検査～解列）に対応した値を示している。
- ・「供用期間中検査」や「蒸気タービン開放検査」のように施設定期検査中に実施するもので年度管理するものについては、「YP」により表記している。
- ・換気空調設備のようにプラント運転中に点検を実施するもので年度管理するものについては、「Y」により表記している。
- ・施設定期検査中に実施する性能維持のための措置を伴わない点検については、「C」*²により表記している。
また、「燃料取扱設備検査」のようにプラント運転中に実施しているものでも施設定期検査に合わせて実施しているものは「C」により表示している。
- ・このほか肉厚管理指針に従い管理する肉厚測定は、検査箇所ごとの管理となるため、本表では、“2次系配管肉厚検査計画による”と表記している。
- ・状態監視の結果実施した機器の分解点検等の後に実施する機能・性能試験については、「B」により表記している。

※2：「C」により表記している「機能・性能試験」、「漏えい試験」、「外観点検」等は、性能維持のための措置を予定していない点検であり、劣化進展がごく軽微なため、分解・開放点検やプラント施設定期検査停止時期に合わせた実施管理が適しているものを対象としている。

(6) 点検時期について

時間基準保全の点検については、“定検起動後”、“プラント運転中”の表現により、備考欄に実施時期を記載している。

なお、これらの記載のないものについては、定検停止中に実施することとしている。

(7) 状態監視方法の記載について

- ・保全方式として状態基準保全を用いる機器については、経年劣化事象等による劣化の有無・劣化の傾向を監視する方法（状態監視技術、定例試験、巡視点検等）並びにその頻度を備考欄に記載している。
- ・保全方式として時間基準保全を採用している機器については、保全をより充実する観点で採用している状態監視技術について方法・頻度を備考欄に記載している。
- ・状態監視の結果に基づき分解点検の実施時期を定め、分解点検に合わせて機能・性能試験を定期事業者検査として実施する場合については、技術基準適合判断を伴う状態監視の頻度を一定の期間として扱い、機能・性能試験の頻度を「B」により表記している。

(8) 今回の実施計画について

第15保全サイクル中に点検を計画するものに「○」を記載している。

なお、複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目にあっては、本保全サイクル中に1つでも点検の計画があれば「○」としている。

(9) 前回実施時期について

当該点検の前回実績（実施時期）を記載。

なお、複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目にあっては、最新実績を記載している。

目 次

1. 点検計画 設計基準事故対処設備等

機器又は系統名	ページ
原子炉本体 [炉心]	参考1-6
原子炉本体 [原子炉容器]	参考1-6
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取扱設備]	参考1-6
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料貯蔵設備]	参考1-7
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備]	参考1-7
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取替用水設備]	参考1-8
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	参考1-8
原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備]	参考1-11
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備]	参考1-14
原子炉冷却系統施設 [燃料取替用水設備]	参考1-19
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	参考1-19
原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備]	参考1-25
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備]	参考1-25
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水設備]	参考1-27
原子炉冷却系統施設 [原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置]	参考1-28
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [車室, 円板, 隔板, 噴口, 翼, 車軸]	参考1-28
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [调速装置及び非常调速装置並びに 调速装置で制御される主要弁]	参考1-29
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [復水器]	参考1-30
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する熱交換 器]	参考1-32
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する給水ポン プ及び貯水設備並びに給水処理設 備]	参考1-34
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する管等]	参考1-36

機器又は系統名	ページ
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [その他設備]	参考1-37
計測制御系統施設 [制御材]	参考1-38
計測制御系統施設 [制御棒駆動装置]	参考1-38
計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備]	参考1-39
計測制御系統施設 [制御用空気設備]	参考1-40
計測制御系統施設 [その他設備]	参考1-40
計測制御系統施設 [発電用原子炉の運転を管理するた めの制御装置]	参考1-41
放射性廃棄物の廃棄施設 [気体, 液体, 又は固体廃棄物貯蔵 設備]	参考1-41
放射性廃棄物の廃棄施設 [気体, 液体, 又は固体廃棄物処理 設備]	参考1-42
放射性廃棄物の廃棄施設 [原子炉格納容器本体外の廃棄物貯 蔵設備又は廃棄物処理設備からの流 体状の放射性廃棄物の漏えいの検出 装置又は自動警報装置]	参考1-46
放射線管理施設 [放射線管理用計測装置]	参考1-46
放射線管理施設 [換気設備]	参考1-46
原子炉格納施設 [原子炉格納容器]	参考1-54
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備]	参考1-62
原子炉施設 [その他設備]	参考1-65
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) [非常用発電装置]	参考1-66
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) [その他の電源装置]	参考1-67
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) [その他機器]	参考1-68
その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) [発電機]	参考1-68
その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) [変圧器]	参考1-68

機器又は系統名	ページ
その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) [しゃ断器]	参考1-68
その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) [その他機器]	参考1-68
その他発電用原子炉の附属施設 (補助ボイラー) [補助ボイラー]	参考1-68
その他発電用原子炉の附属施設 (補助ボイラー) [補助ボイラーに属する燃料燃焼設備]	参考1-68
その他発電用原子炉の附属施設 (火災防護設備) [消火設備]	参考1-69
その他発電用原子炉の附属施設 (火災防護設備) [その他設備]	参考1-69
その他発電用原子炉の附属施設 (浸水防護施設) [外郭浸水防護設備] [内郭浸水防護設備]	参考1-70
その他発電用原子炉の附属施設 (浸水防護施設) [その他設備]	参考1-70
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用取水設備) [取水設備]	参考1-70
その他発電用原子炉の附属施設 (緊急時対策所)	参考1-71
竜巻防護対策設備	参考1-71
土木建築設備	参考1-71
プラント総合	参考1-71
全般機器	参考1-71

2. 点検計画 重大事故等対処設備

機器又は系統名	ページ
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料貯蔵設備]	参考1-72
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備]	参考1-72
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [その他設備]	参考1-73
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	参考1-73
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備]	参考1-73
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水設備]	参考1-74
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する管等]	参考1-74

機器又は系統名	ページ
計測制御系統施設 [計測装置]	参考1-74
計測制御系統施設 [工学的安全施設等の作動信号]	参考1-75
計測制御系統施設 [制御用空気設備]	参考1-75
計測制御系統施設 [その他設備]	参考1-75
放射線管理施設 [放射線管理用計測装置]	参考1-76
放射線管理施設 [換気設備]	参考1-76
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備]	参考1-78
原子炉格納施設 [その他設備]	参考1-79
原子炉施設 [その他設備]	参考1-79
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) [非常用発電装置]	参考1-79
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) [その他の電源装置]	参考1-82
その他発電用原子炉の附属施設 (浸水防護施設) [内郭浸水防護設備]	参考1-83
その他発電用原子炉の附属施設 (緊急時対策所)	参考1-83
全般機器	参考1-84

3. 点検計画 1, 2, 3号機共用設備

機器又は系統名	ページ
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [その他設備]	参考1-85
放射性廃棄物の廃棄施設 [気体, 液体, 又は固体廃棄物貯蔵設備]	参考1-85
放射性廃棄物の廃棄施設 [気体, 液体, 又は固体廃棄物処理設備]	参考1-85
放射線管理施設 [放射線管理用計測装置]	参考1-85
放射線管理施設 [換気設備]	参考1-86
その他発電用原子炉の附属施設 [電気設備]	参考1-89
その他発電用原子炉の附属施設 (火災防護設備) [消火設備]	参考1-90

4. 行政指導文書の点検指示による点検

機器又は系統名	ページ
原子炉本体 [炉心]	参考1-91

1.点検計画 設計基準事故対処設備等

機器又は系統名 [炉心]	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 [()内は適用する 設備診断技術]																			
原子炉本体 [炉心]	照射済燃料集合体	※1一式 外観点検	G3	IC	○	14回	2 燃料集合体外観検査	※1 炉心設計による ※2 燃料集合体の不具合により 計画																			
		外観点検					700 燃料集合体外観検査※2																				
原子炉本体 [原子炉容器] 核燃料物質の取扱施設 及び貯蔵施設 [燃料取扱設備]	照射済燃料集合体(取出し燃料)	※1一式 外観点検	G3	IC	○	14回	31 燃料集合体外観検査(取出し燃料)	※炉心設計による																			
		157体 48体 ※一式 ※一式 ※一式					G3		IC	○	14回	3	3 燃料集合体内配置検査	※炉心設計による													
													原子炉本体のうち炉心		G3	IC	○	14回	4	4 原子炉停止余裕検査	定検起動後						
																				機能・性能試験		IC	○	14回	80	80 炉物理検査	定検起動後
																										開放点検	
		燃料取扱クレーン3号					1台		機能・性能試験	G3	IC	○	14回	36 燃料取扱装置機能検査	(潤滑油診断:2C)												
														機能・性能試験		IC	○	14回	94	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック 試験等)							
																				簡易点検(点検手入れ)		IC	○	14回			
		使用済燃料ピットクレーン3号					1台		機能・性能試験	G3	IC	○	14回	36 燃料取扱装置機能検査													
														機能・性能試験		IC	○	14回	94	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック 試験等)	フロント運転中						
簡易点検(点検手入れ)	1Y		○	2019年		フロント運転中																					
燃料取扱クレーン3号	1台	機能・性能試験	G3	IC	○	14回	74 燃料取扱設備検査	フロント運転中																			
							機能・性能試験		IC	○	14回	94	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック 試験等)	フロント運転中													
													簡易点検(点検手入れ)		1Y	○	2019年		フロント運転中								
燃料移送装置(FH/B側)	1台	機能・性能試験	G3	IC	○	14回	36 燃料取扱装置機能検査	(潤滑油診断:2C)																			
							機能・性能試験		IC	○	14回	94	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック 試験等)	フロント運転中													
													簡易点検(点検手入れ)		IC	○	14回		フロント運転中								

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕	
機燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料貯蔵設備〕	燃料移送装置(C/V側)	1台 機能・性能試験	G3	1C	○	14回	36 燃料取扱設置機能検査	(潤滑油診断:2C)	
	新燃料エレベータ	1台 機能・性能試験	G3	1C	○	14回	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)		
		簡易点検(点検手入れ)	G3	1C	○	14回			
		1台 機能・性能試験	G3	1C	○	14回	74 燃料取扱設備検査	フロント運転中(潤滑油診断:2C)	
	燃料取置ラック	機能・性能試験	G3	1C	○	14回	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	フロント運転中	
		簡易点検(点検手入れ)	G3	1C	○	14回			
		1台 外観点検	G3	1C	○	14回	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	フロント運転中	
	新燃料取扱工具	1台 外観点検	G3	1C	○	14回	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	フロント運転中	
		1台 機能・性能試験	G3	1C	○	14回			
		3台 外観点検	G3	1C	○	14回	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	一部フロント運転中	
	機燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕	機燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取扱設備〕 その他機器一式 新燃料貯蔵庫(ラック)	機能・性能試験 他	G3	1C	○	14回		
		使用済燃料ピットポンプ3A	外観点検	G3	1C	○	14回*		フロント運転中
			機能・性能試験	G3, G4	1C	○	14回	75 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能検査	
			分解点検	G3	130M	-	13回		(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
使用済燃料ピットポンプ3A電動機		分解点検	G3	130M	-	14回		(振動診断:1M)	
		分解点検	G3	130M	-	13回		(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)	
		分解点検	G3	130M	○	9回		(振動診断:1M)	
使用済燃料ピットポンプ3B		開放点検	G4	130M	-	9回			
		開放点検	G4	130M	-	9回			
		開放点検	G3	195M	-	12回	91 1次系熱交換器検査		
使用済燃料ピットポンプ3B脱塩塔フィルタ3A		開放点検	G3	390M	-	12回	91 1次系熱交換器検査		
		非破壊試験							

機器又はシステム名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取替用水設備]	使用済燃料ピット冷却器3B	開放点検 非破壊試験	G3	195M 390M	-	13回	91 1次系熱交換器検査	
	使用済燃料ピット冷却器3C	開放点検	G3	130M	-	11回		
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備] その他の弁一式	分解点検 他	G3,G4	144M~ 180M	-	14回	84 1次系弁検査 86 1次系逆止弁検査	一部プランク運転中
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備] その他機器一式	単体調整試験 他	G4	13M	○	14回		
	燃料取替用水タンクポンプ3A	機能・性能試験	G3	10C 130M	-	13回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C, 赤外線診断:1M)
	燃料取替用水タンクポンプ3A電動機	分解点検			-	13回		
	燃料取替用水タンクポンプ3B	機能・性能試験	G3	6C 78M	-	14回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
	燃料取替用水タンクポンプ3B	分解点検			-	14回		
	燃料取替用水タンクポンプ3B	機能・性能試験	G3	10C 130M	-	13回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C, 赤外線診断:1M)
	燃料取替用水タンクポンプ3B電動機	分解点検			-	13回		
	燃料取替用水タンクポンプ3B電動機	機能・性能試験	G3	6C 78M	-	13回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
	燃料取替用水タンクポンプ3B電動機	分解点検			-	13回		
原子炉冷却システム施設 [一次冷却材の循環設備]	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取替用水設備] その他の弁一式	分解点検 他	G3,G4	130M~ 156M	-	13回	84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査	
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取替用水設備] その他機器一式	開放点検 他	G3	195M~ 390M	-	9回		
	蒸気発生器3A	開放点検(1次側マニホール)	G1	26M	-	14回		
		増締め(1次側マニホール)		13M	○	14回		
		非破壊試験		26M	-	14回	6 蒸気発生器伝熱管体積検査	伝熱管数:3,382本
		開放点検(2次側マニホール)		65M	-	14回		
		開放点検(2次側マニホール)		39M	○	12回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保金の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
蒸気発生器3B	蒸気発生器3B	開放点検(1次側マンホール)	G1	26M	○	13回	6 蒸気発生器伝熱管体積検査	伝熱管数:3,382本
		増締め(1次側マンホール)		13M	—	14回		
		非破壊試験		26M	○	13回		
		開放点検(2次側マンホール)		65M	—	14回		
		開放点検(2次側ハンドホール)		39M	○	13回		
		開放点検(1次側マンホール)		26M	○	13回		
蒸気発生器3C	蒸気発生器3C	増締め(1次側マンホール)	G1	13M	—	14回	6 蒸気発生器伝熱管体積検査	伝熱管数:3,382本
		非破壊試験		26M	○	13回		
		開放点検(2次側マンホール)		65M	—	14回		
		開放点検(2次側ハンドホール)		39M	○	13回		
		機能・性能試験		1C	○	14回		
		分解点検		13M	○	14回		
加圧器安全弁3A	加圧器安全弁3A	漏えい試験	G3	1C	○	14回	8 加圧器安全弁機能検査	
		機能・性能試験		13M	○	14回		
		分解点検		1C	○	14回		
		漏えい試験		1C	○	14回		
		機能・性能試験		1C	○	14回		
		分解点検		13M	○	14回		
加圧器安全弁3B	加圧器安全弁3B	漏えい試験	G3	1C	○	14回	8 加圧器安全弁機能検査	
		機能・性能試験		13M	○	14回		
		分解点検		1C	○	14回		
		漏えい試験		1C	○	14回		
		機能・性能試験		1C	○	14回		
		分解点検		13M	○	14回		
加圧器安全弁3C	加圧器安全弁3C	漏えい試験	G3	1C	○	14回	8 加圧器安全弁機能検査	
		機能・性能試験		13M	○	14回		
		分解点検		1C	○	14回		
		漏えい試験		1C	○	14回		
		機能・性能試験		1C	○	14回		
		分解点検		13M	○	14回		
加圧器逃がし弁3A	加圧器逃がし弁3A	漏えい試験	G3	1C	○	14回	11 加圧器逃がし弁機能検査	
		機能・性能試験		26M	○	13回		
		分解点検(弁本体)		26M	○	13回		
		分解点検(駆動部)		26M	○	13回		
		漏えい試験		1C	○	14回		
		漏えい試験		1C	○	14回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
機器又は系統名	加圧器逃がし弁3B 3PCV-452B	機能・性能試験	G3	IC	○	14回	11 加圧器逃がし弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		26M	-	14回	13 加圧器逃がし弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		26M	-	14回		
		漏えい試験		IC	○	14回	12 加圧器逃がし弁漏えい検査	
	加圧器逃がし元弁3A 3V-RC-054A	機能・性能試験	G3	IC	○	14回	14 加圧器逃がし元弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		130M	-	12回		
		分解点検(駆動部)		130M	-	7回		
		分解点検(電動機)		195M	-	7回		
	加圧器逃がし元弁3B 3V-RC-054B	機能・性能試験	G3	IC	○	14回	14 加圧器逃がし元弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		130M	-	13回		
		分解点検(駆動部)		130M	-	13回		
		分解点検(電動機)		195M	-	3回		
1次冷却材ポンプ3A	機能・性能試験	G1	IC	○	14回	92 1次冷却材ポンプ機能検査	一部定検起動後	
	分解点検		130M	○	7回			
	軸封部点検		13M	○	14回	90 1次冷却材ポンプ「カニカルシール」分解検査		一部フラット運転中
	分解点検		39M	-	13回			
1次冷却材ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G1	130M	-	13回		(振動診断:1M、1C、潤滑油診断:1C)	
	非破壊試験(フライホイール)		130M	-	13回			
	機能・性能試験		IC	○	14回	92 1次冷却材ポンプ機能検査		一部定検起動後
	分解点検		10YP	-	13回			
1次冷却材ポンプ3B	機能・性能試験	G1	13M	○	14回	90 1次冷却材ポンプ「カニカルシール」分解検査	一部フラット運転中	
	分解点検		13M	○	14回			
	軸封部点検		39M	-	14回			
	分解点検		130M	-	14回			
1次冷却材ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G1	39M	-	14回		(振動診断:1M、1C、潤滑油診断:1C)	
	非破壊試験(フライホイール)		130M	-	14回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕	
原子炉冷却系統施設 〔主蒸気・主給水設備〕	1次冷却材ポンプ3C	機能・性能試験 分解点検 軸封部点検	G1	1C 130M 13M	○ — ○	14回 7回 14回	92 1次冷却材ポンプ機能検査 90 1次冷却材ポンプカニカルコントロール分解検査	一部定検起動後 一部プラント運転中	
	1次冷却材ポンプ3C電動機	分解点検 非破壊試験(フライホイール)	G1	39M 130M	○ ○	12回 9回		(振動診断: 1M、1C、潤滑油診断: 1C)	
	加圧器3号	開放点検 マンホール増締め	G3	39M 13M	○ ○	14回 14回			
	原子炉冷却系統施設 〔1次冷却材の循環設備〕 その他の弁一式	分解点検 他	G3	13M~ 156M	○	14回	84 1次系弁検査		
	原子炉冷却系統施設 〔1次冷却材の循環設備〕 その他機器一式	分解点検 他	G1~G3	13M~ 325M	○	14回	34 安全保護系設定値確認検査 35 プラント状態監視設備機能検査		
	主蒸気安全弁3A1	機能・性能試験	G3	1C	○	14回	25 主蒸気安全弁機能検査		
	主蒸気安全弁3B1	3V-MS-521A	分解点検	G3	26M	—	14回	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
			漏えい試験		2C	—	14回		
			機能・性能試験		1C	○	14回		
			分解点検		26M	○	13回		
	主蒸気安全弁3C1	3V-MS-521B	漏えい試験	G3	2C	○	13回	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
			機能・性能試験		1C	○	14回		
			分解点検		26M	○	13回		
			漏えい試験		2C	○	13回		
主蒸気安全弁3A2	3V-MS-522A	機能・性能試験	G3	1C	○	14回	25 主蒸気安全弁機能検査		
		分解点検		26M	○	13回			
		漏えい試験		2C	○	13回			
		機能・性能試験		1C	○	14回			
主蒸気安全弁3B2	3V-MS-522B	分解点検	G3	26M	—	14回	26 主蒸気安全弁漏えい検査		
		漏えい試験		2C	—	14回			
		機能・性能試験		1C	○	14回			
		分解点検		26M	○	13回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕	
主蒸気安全弁3B2	3V-MS-522B	機能・性能試験	G3	1C	○	14回	25 主蒸気安全弁機能検査		
		分解点検		26M	○	13回			
		漏えい試験		2C	○	13回	26 主蒸気安全弁漏えい検査		
	主蒸気安全弁3C2	3V-MS-522C	機能・性能試験	G3	1C	○	14回		25 主蒸気安全弁機能検査
			分解点検		26M	○	13回		
			漏えい試験		2C	○	13回		26 主蒸気安全弁漏えい検査
	主蒸気安全弁3A3	3V-MS-523A	機能・性能試験	G3	1C	○	14回		25 主蒸気安全弁機能検査
			分解点検		26M	-	14回		
			漏えい試験		2C	-	14回		26 主蒸気安全弁漏えい検査
	主蒸気安全弁3B3	3V-MS-523B	機能・性能試験	G3	1C	○	14回		25 主蒸気安全弁機能検査
			分解点検		26M	○	13回		
			漏えい試験		2C	○	13回		26 主蒸気安全弁漏えい検査
主蒸気安全弁3C3	3V-MS-523C	機能・性能試験	G3	1C	○	14回	25 主蒸気安全弁機能検査		
		分解点検		26M	○	13回			
		漏えい試験		2C	○	13回	26 主蒸気安全弁漏えい検査		
主蒸気安全弁3A4	3V-MS-524A	機能・性能試験	G3	1C	○	14回	25 主蒸気安全弁機能検査		
		分解点検		26M	○	13回			
		漏えい試験		2C	○	13回	26 主蒸気安全弁漏えい検査		
主蒸気安全弁3B4	3V-MS-524B	機能・性能試験	G3	1C	○	14回	25 主蒸気安全弁機能検査		
		分解点検		26M	-	14回			
		漏えい試験		2C	-	14回	26 主蒸気安全弁漏えい検査		
		機能・性能試験	G3	1C	○	14回	25 主蒸気安全弁機能検査		
		分解点検		26M	○	13回			
		漏えい試験		2C	○	13回	26 主蒸気安全弁漏えい検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕	
主蒸気安全弁3C4	3V-MS-524C	機能・性能試験	G3	1C	○	14回	25 主蒸気安全弁機能検査		
		分解点検		26M	○	13回			
		漏えい試験		2C	○	13回	26 主蒸気安全弁漏えい検査		
		機能・性能試験		1C	○	14回	25 主蒸気安全弁機能検査		
		分解点検		26M	—	14回			
		漏えい試験		2C	—	14回	26 主蒸気安全弁漏えい検査		
	主蒸気安全弁3A5	3V-MS-525A	機能・性能試験	G3	1C	○	14回	25 主蒸気安全弁機能検査	
			分解点検		26M	○	13回		
			漏えい試験		2C	○	13回	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
			機能・性能試験		1C	○	14回	25 主蒸気安全弁機能検査	
			分解点検		26M	○	13回		
			漏えい試験		2C	○	13回	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
主蒸気安全弁3C5	3V-MS-525C	機能・性能試験	G3	1C	○	14回	25 主蒸気安全弁機能検査		
		分解点検		26M	○	13回			
		漏えい試験		2C	○	13回	26 主蒸気安全弁漏えい検査		
		機能・性能試験		1C	○	14回	25 主蒸気安全弁機能検査		
		分解点検		26M	○	13回			
		漏えい試験		2C	○	13回	26 主蒸気安全弁漏えい検査		
主蒸気逃がし弁3A	3PCV-465	機能・性能試験	G3	1C	○	14回	27 主蒸気逃がし弁機能検査 148 最終ヒートシフト熱輸送設備作動検査	一部フロント運転中	
		分解点検(弁本体)		13M	○	14回	122 2次系弁検査		
		分解点検(駆動部)		52M	○	13回			
		漏えい試験		1C	○	14回	28 主蒸気逃がし弁漏えい検査		
		機能・性能試験		1C	○	14回	27 主蒸気逃がし弁機能検査 148 最終ヒートシフト熱輸送設備作動検査		
		分解点検(弁本体)		13M	○	14回	122 2次系弁検査		
主蒸気逃がし弁3B	3PCV-475	機能・性能試験	G3	1C	○	14回	27 主蒸気逃がし弁機能検査 148 最終ヒートシフト熱輸送設備作動検査	一部フロント運転中	
		分解点検(弁本体)		13M	○	14回			
		分解点検(駆動部)		52M	○	13回			
		漏えい試験		1C	○	14回	28 主蒸気逃がし弁漏えい検査		
		機能・性能試験		1C	○	14回	27 主蒸気逃がし弁機能検査 148 最終ヒートシフト熱輸送設備作動検査		
		分解点検(弁本体)		13M	○	14回	122 2次系弁検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
原子炉冷却系統施設 〔余熱除去設備〕	主蒸気逃がし弁3C	機能・性能試験	G3	1C	○	14回	27 主蒸気逃がし弁機能検査 148 最終ヒートシフト熱輸送設備作動検査	一部アラート運転中
		分解点検(弁本体)		13M	○	14回	122 2次系弁検査	
		分解点検(駆動部)		52M	○	13回		
	主蒸気隔離弁3A	漏えい試験		1C	○	14回	28 主蒸気逃がし弁漏えい検査	
		機能・性能試験	G3	1C	○	14回	29 主蒸気隔離弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		26M	—	14回	122 2次系弁検査	
	主蒸気隔離弁3B	分解点検(駆動部)		26M	○	14回		
		機能・性能試験	G3	1C	○	14回	29 主蒸気隔離弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		26M	—	14回	122 2次系弁検査	
	主蒸気隔離弁3C	分解点検(駆動部)		26M	○	14回		
		機能・性能試験	G3	1C	○	14回	29 主蒸気隔離弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		26M	○	13回	122 2次系弁検査	
原子炉冷却系統施設 〔主蒸気・主給水設備〕 その他の弁一式	分解点検(駆動部)		26M	—	14回			
	分解点検 他	G3	13M~ 195M	○	14回	122 2次系弁検査		
	単体調整試験 他	G2	13M	○	14回			
余熱除去ポンプ3A	機能・性能試験	G3	10C	—	11回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C, 赤外線診断:1C)	
	分解点検		130M	—	11回	19 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 (低圧注入系ポンプ) 145 その他原子炉注水系ポンプ分解検査		
	機能・性能試験	G3	12C	—	14回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断: 2C, 赤外線診断:1C) 有効性評価 No.8の反映	
		分解点検		156M	—	14回		
		潤滑油入替		26M	○	14回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
余熱除去ポンプ3B	余熱除去ポンプ3B	機能・性能試験	G3	10C	—	14回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C, 赤外線診断:1C)
		分解点検		130M	—	14回	19 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 (低圧注入系ポンプ) 145 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
	余熱除去ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G3	12C	—	12回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C, 赤外線診断:1C) 有効性評価 No.8の反映
		分解点検		156M	—	12回		
	ループ3C余熱除去系第2入口弁	潤滑油入替	G3	26M	○	14回		
		分解点検(弁本体)		130M	—	13回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	ループ3B余熱除去系第2入口弁	分解点検(駆動部)	G3	130M	—	9回		
		分解点検(電動機)		195M	—	7回		
	ループ3B余熱除去系第2入口弁	分解点検(弁本体)	G3	130M	—	13回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検(電動機)		130M	—	7回		
	余熱除去ポンプ3A再循環ポンプ.RWST側入口弁	機能・性能試験	G3	10C,15C	—	13回	84 1次系弁検査	弁本体 電動機の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		130M	—	13回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M	—	13回		
		分解点検(電動機)		195M	—	8回		
				—	6回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	余熱除去ポンプ3B再循環サブ・RWST側入口弁	機能・性能試験	G3	10C,15C	—	13回	84 1次系弁検査	弁本体、電動機の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		130M	—	7回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M	—	13回		
		分解点検(電動機)		195M	—	6回		
	余熱除去クーラー3A出口弁	機能・性能試験	G3	10C,15C	—	7回	84 1次系弁検査	弁本体、電動機の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		130M	—	7回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M	—	7回		
		分解点検(電動機)		195M	—	4回		
	余熱除去クーラー3B出口弁	機能・性能試験	G3	10C,15C	—	11回	84 1次系弁検査	弁本体、電動機の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		130M	—	11回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M	—	8回		
		分解点検(電動機)		195M	—	4回		
余熱除去ラインループ3A低温側入口第2逆止弁	機能・性能試験	G3	78M	—	13回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査		
	分解点検(弁本体)		130M	—	11回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査		
	分解点検(駆動部)		130M	—	8回			
	分解点検(電動機)		195M	—	4回			
余熱除去ラインループ3B低温側入口第2逆止弁	機能・性能試験	G3	78M	—	10回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査		
	分解点検(弁本体)		130M	—	14回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査		
	分解点検(駆動部)		130M	—	13回			
	分解点検(電動機)		195M	—	4回			
余熱除去ラインループ3C低温側入口第2逆止弁	機能・性能試験	G3	78M	—	14回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査		
	分解点検(弁本体)		130M	—	13回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査		
	分解点検(駆動部)		130M	—	13回			
	分解点検(電動機)		195M	—	4回			
余熱除去ラインループ3A低温側入口第1逆止弁	機能・性能試験	G3	39M	—	13回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査		
	分解点検(弁本体)		130M	—	11回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査		
	分解点検(駆動部)		130M	—	8回			
	分解点検(電動機)		195M	—	4回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕	
	余熱除去ラインループ3B低温側入口第1逆止弁	分解点検	G3	39M	○	13回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
		分解点検	G3	39M	—	14回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
		分解点検(弁本体)	G3	130M	—	12回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
	余熱除去系出口連絡ライン弁3A	分解点検(駆動部)		130M	—	9回			
		分解点検(電動機)		195M	—	8回			
		分解点検(弁本体)	G3	130M	—	13回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
	余熱除去系出口連絡ライン弁3B	分解点検(駆動部)		130M	—	13回			
		分解点検(電動機)		195M	—	3回			
		分解点検(弁本体)	G3	130M	—	12回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
	余熱除去ラインループ3A高温側注入弁	分解点検(駆動部)		130M	—	9回			
		分解点検(電動機)		195M	—	7回			
		分解点検(弁本体)	G3	130M	—	13回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
余熱除去ラインループ3B高温側注入弁	分解点検(駆動部)		130M	—	13回				
	分解点検(電動機)		195M	—	8回				
	分解点検(弁本体)	G3	78M	—	13回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕							
	余熱除去ループ3C高温側入口逆止弁	3V-RH-053B	G3	78M	-	12回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査								
		ループ3B余熱除去系第1入口弁							3PCV-420	G3	130M	-	11回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
									分解点検(弁本体)						
	ループ3C余熱除去系第1入口弁	3PCV-430	G3	130M	-	12回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査								
		分解点検(駆動部)							8回						
	分解点検(電動機)	13回													
	分解点検(駆動部)			8回											
	分解点検(電動機)	14回													
	余熱除去冷却器3A出口流量調整弁			3HCV-603	機能・性能試験	G3	4C,8C	-	14回	84 1次系弁検査	弁本体, 駆動部の分解点検に合 わせて実施				
	余熱除去ループ3B出口流量調整弁	3HCV-613	機能・性能試験	G3	104M	-	13回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査							
			分解点検(弁本体)							14回					
			分解点検(駆動部)									13回			
余熱除去ループ3A流量制御弁	3FCV-604	機能・性能試験	G3	4C,8C	-	13回	84 1次系弁検査	弁本体, 駆動部の分解点検に合 わせて実施							
余熱除去ループ3A流量制御弁	3FCV-604	機能・性能試験	G3	52M	○	13回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査								
		分解点検(弁本体)							13回						
		分解点検(駆動部)									13回				
余熱除去ループ3A流量制御弁	3FCV-604	機能・性能試験	G3	4C,8C	-	13回	84 1次系弁検査	弁本体, 駆動部の分解点検に合 わせて実施							
余熱除去ループ3A流量制御弁	3FCV-604	機能・性能試験	G3	104M	-	12回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査								
		分解点検(弁本体)							13回						
		分解点検(駆動部)									13回				
余熱除去ループ3A流量制御弁	3FCV-604	機能・性能試験	G3	52M	○	13回	84 1次系弁検査	弁本体, 駆動部の分解点検に合 わせて実施							
余熱除去ループ3A流量制御弁	3FCV-604	機能・性能試験	G3	52M	○	13回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査								
		分解点検(弁本体)							13回						
		分解点検(駆動部)									13回				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
原子炉冷却系統施設 〔燃料取替用水設備〕	余熱除去ループ3B流量制御弁	機能・性能試験 3FCV-614	G3	4C,8C	—	13回	84 1次系弁検査	弁本体、駆動部の分解点検に合 わせて実施
	余熱除去冷却器3A	分解点検(弁本体)		104M	—	11回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		52M	—	14回		
		開放点検		195M	—	13回	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		390M	—	13回	91 1次系熱交換器検査	
	余熱除去冷却器3B	開放点検		195M	—	13回	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		390M	—	13回	91 1次系熱交換器検査	
		分解点検 他		104M~ 390M	○	14回	84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査 86 1次系逆止弁検査	
		単体調整試験 他		13M	○	14回		
	原子炉冷却系統施設 〔燃料取替用水設備〕	開放点検		195M	—	13回		
単体調整試験 他			13M	○	14回			
機能・性能試験			1C	○	14回	16 非常用炉心冷却系機能検査 147 その他原子炉注水系機能検査		
機能・性能試験(状態監視含む)			G3	6M	○	137 運転中安全系ポンプ機能検査	プラント運転中 〔対象設備〕 ・高圧注入ポンプ3A, 3B ・余熱除去ポンプ3A, 3B	
原子炉冷却系統施設 〔非常用炉心冷却設備〕	高圧及び低圧注入系		G3	195M	—	1回	17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 (高圧注入系ポンプ) 145 その他原子炉注水系ポンプ分解 検査	(振動診断: 1M, 潤滑油診断: 2C)
	高圧注入ポンプ3A		G3	130M	—	14回		(振動診断: 1M)
	高圧注入ポンプ3A電動機		G3	195M	—	2回	17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 (高圧注入系ポンプ) 145 その他原子炉注水系ポンプ分解 検査	(振動診断: 1M, 潤滑油診断: 2C)
	高圧注入ポンプ3B		G3	130M	—	12回		(振動診断: 1M)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕	
	高圧注入ポンプ3A入口弁	3V-SI-002A	G3	156M	—	13回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
				130M	—	14回			
				195M	—	6回			
				156M	—	11回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
				130M	○	5回			
				195M	—	6回			
	高圧注入ポンプ3A封水注入ライン止弁	3V-SI-026A	機能・性能試験	G3	10C,15C	—	8回	84 1次系弁検査	弁本体、電動機の分解点検に合 わせて実施
			分解点検(弁本体)		130M	—	6回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
			分解点検(駆動部)		130M	—	6回		
			分解点検(電動機)		195M	—	8回		
			機能・性能試験		10C,15C	—	13回	84 1次系弁検査	
			分解点検(弁本体)		130M	—	9回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
高圧注入ポンプ3B封水注入ライン止弁	3V-SI-026B	機能・性能試験	G3	130M	—	13回		弁本体、電動機の分解点検に合 わせて実施	
		分解点検(弁本体)		130M	—	13回			
		分解点検(駆動部)		195M	—	8回			
		分解点検(電動機)		10C,15C	—	14回	84 1次系弁検査		
		機能・性能試験		130M	—	14回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
		分解点検(弁本体)		130M	—	14回			
高圧注入ライン隔離弁3A	3V-SI-062A	機能・性能試験	G3	10C,15C	—	14回	84 1次系弁検査	弁本体、電動機の分解点検に合 わせて実施	
		分解点検(弁本体)		130M	—	14回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		130M	—	14回			
		分解点検(電動機)	195M	—	7回				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	高圧注入ライン隔離弁3B	3V-SI-062B 機能・性能試験	G3	10C, 15C	—	8回	84 1次系弁検査	弁本体、電動機の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		130M	—	8回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M	○	5回		
		分解点検(電動機)		195M	—	4回		
	高圧注入ポンプ出口連絡弁3A	3V-SI-066A 分解点検(弁本体)	G3	130M	—	14回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M	—	14回		
		分解点検(電動機)		195M	—	8回		
	高圧注入ポンプ出口連絡弁3B	3V-SI-066B 分解点検(弁本体)	G3	130M	—	8回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M	—	13回		
		分解点検(電動機)		195M	—	8回		
高温側高圧注入ライン止弁3A	3V-SI-067A 分解点検(弁本体)	G3	130M	—	11回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査		
	分解点検(駆動部)		130M	—	10回			
	分解点検(電動機)		195M	—	7回			
高温側高圧注入ライン止弁3B	3V-SI-067B 分解点検(弁本体)	G3	130M	—	6回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査		
	分解点検(駆動部)		130M	—	6回			
	分解点検(電動機)		195M	—	8回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	高圧注入ラインループ3A低溫側第2逆止弁	分解点検	G3	260M	—	12回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	高圧注入ラインループ3B低溫側第2逆止弁	分解点検	G3	260M	—	12回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	高圧注入ラインループ3C低溫側第2逆止弁	分解点検	G3	260M	—	10回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	高圧注入ラインループ3A低溫側第1逆止弁	分解点検	G3	260M	○	12回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	高圧注入ラインループ3B低溫側第1逆止弁	分解点検	G3	260M	—	12回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	高圧注入ラインループ3C低溫側第1逆止弁	分解点検	G3	260M	—	—	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	28回にて初回点検を計画
	高圧注入ラインループ3A高溫側第2逆止弁	分解点検	G3	260M	—	—	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	29回にて初回点検を計画
	高圧注入ラインループ3B高溫側第2逆止弁	分解点検	G3	260M	—	—	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	30回にて初回点検を計画
	高圧注入ラインループ3C高溫側第2逆止弁	分解点検	G3	260M	—	—	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	29回にて初回点検を計画
	高圧注入ラインループ3C高溫側第2逆止弁	分解点検	G3	260M	—	—	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	30回にて初回点検を計画
	高圧注入ラインループ3A高溫側第1逆止弁	分解点検	G3	65M	—	13回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕	
	高圧注入ラインループ3B高温側第1逆止弁	3V-SI-082B	G3	65M	-	12回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
		3V-SI-082C							
	高圧注入ラインループ3C高温側第1逆止弁	3V-SI-082C	G3	65M	-	13回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
		3V-SI-093A							
	格納容器再循環サブ3A隔離弁	3V-SI-093A	分解点検(弁本体)	G3	156M	-	4回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
			分解点検(駆動部)						
			分解点検(電動機)						
			分解点検(弁本体)						
	格納容器再循環サブ3B隔離弁	3V-SI-093B	分解点検(弁本体)	G3	156M	-	10回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
			分解点検(駆動部)						
			分解点検(電動機)						
			分解点検(弁本体)						
蓄圧注入系	3V-SI-132A	機能・性能試験	G3	IC	○	14回	16 非常用炉心冷却系機能検査 147 その他原子炉注水系機能検査		
		3V-SI-132A							
蓄圧タンク3A出口弁	3V-SI-132A	分解点検(弁本体)	G3	130M	-	11回	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
		分解点検(駆動部)							
		分解点検(電動機)							
		分解点検(弁本体)							
蓄圧タンク3B出口弁	3V-SI-132B	分解点検(弁本体)	G3	130M	-	13回	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
		分解点検(駆動部)							
		分解点検(電動機)							
		分解点検(弁本体)							
		分解点検(電動機)		130M	-	6回			
		分解点検(電動機)							
		分解点検(電動機)		195M	-	3回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	蓄圧タンク3C出口弁	3V-SI-132C 分解点検(弁本体)	G3	130M	-	13回	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)						
		分解点検(電動機)						
	蓄圧タンク3A出口注入ライン第2逆止弁	3V-SI-134A 分解点検	G3	78M	-	14回	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		3V-SI-134B 分解点検						
	蓄圧タンク3C出口注入ライン第2逆止弁	3V-SI-134C 分解点検	G3	78M	-	10回	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		3V-SI-134D 分解点検						
	蓄圧タンク3C出口注入ライン第1逆止弁	3V-SI-134E 分解点検	G3	78M	-	12回	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		3V-SI-134F 分解点検						
	蓄圧タンク3A出口注入ライン第1逆止弁	3V-SI-136A 分解点検	G3	39M	○	13回	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		3V-SI-136B 分解点検						
	蓄圧タンク3B出口注入ライン第1逆止弁	3V-SI-136C 分解点検	G3	39M	-	13回	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		3V-SI-136D 分解点検						
	蓄圧タンク3C出口注入ライン第1逆止弁	3V-SI-136E 分解点検	G3	39M	-	14回	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		3V-SI-136F 分解点検						
	蓄圧タンク3A	開放点検	G3	195M	-	1回		
		開放点検						
		開放点検						
	蓄圧タンク3B	開放点検	G3	195M	-	2回		
		開放点検						
		開放点検						
	蓄圧タンク3C	開放点検	G3	195M	-	3回		
		開放点検						
	格納容器再循環ポンプ3A	外観点検	G3	1C, 2C	○	14回	89 1次系容器検査	
		外観点検						
	格納容器再循環ポンプ3B	外観点検	G3	1C, 2C	○	14回	89 1次系容器検査	
		外観点検						
	原子炉冷却系統施設 〔非常用炉心冷却設備〕 その他の弁一式	分解点検 他	G3,G4	78M~ 390M	○	14回	84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査	
		分解点検						

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他AM弁一式	原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他AM弁一式	分解点検 他	G3	156M~208M	—	13回	84 1次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他機器一式	分解点検 他	G2,G3	13M~195M	○	14回		
	充てんポンプ冷却材補給系	機能・性能試験	G3	1C	○	14回	69 充てんポンプ冷却材補給系機能検査 147 その他原子炉注水水系機能検査 145 その他原子炉注水水系ポンプ分解検査	(振動診断: 1M, 潤滑油診断: 3M)
	充てんポンプ3A	分解点検	G3	65M	—	14回		(振動診断: 1M, 潤滑油診断: 3M)
	充てんポンプ3A電動機	分解点検	G3	130M	—	13回		(振動診断: 1M, 潤滑油診断: 6M)
	充てんポンプ3B	潤滑油入替		13M	○	14回		
	充てんポンプ3B電動機	分解点検	G3	65M	—	13回		(振動診断: 1M, 潤滑油診断: 3M)
	充てんポンプ3B電動機	分解点検	G3	130M	—	13回		(振動診断: 1M, 潤滑油診断: 6M)
	潤滑油入替			13M	○	14回		
	充てんポンプ3C	分解点検	G3	65M	○	13回		(振動診断: 1M, 潤滑油診断: 3M)
	充てんポンプ3C電動機	分解点検	G3	130M	—	13回		(振動診断: 1M, 潤滑油診断: 6M)
	潤滑油入替			13M	○	14回		
	開放点検			195M	—	8回		
	開放点検			130M	—	9回		
開放点検			195M	—	10回			
非破壊試験			390M	—	10回			
原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備] その他の弁一式	原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備] その他の弁一式	分解点検 他	G3,G4	13M~390M	○	14回	84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査 86 1次系逆止弁検査	
	原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備] その他機器一式	分解点検 他	G2~G4	13M~390M	○	14回		有効性評価 No.4の反映
	原子炉補機冷却系	機能・性能試験	G3	1C	○	14回	15 原子炉補機冷却系機能検査	
	原子炉補機冷却水ポンプ3A	機能・性能試験	G3	10C	—	13回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 1M, 潤滑油診断: 1C, 赤外線診断: 1M)
	分解点検			130M	—	13回	82 1次系ポンプ分解検査	
	開放点検			130M	—	9回		
	開放点検			130M	—	10回	91 1次系熱交換器検査	
	非破壊試験			390M	—	10回	91 1次系熱交換器検査	
	分解点検 他			13M~390M	○	14回		
	分解点検 他			13M~390M	○	14回		
	機能・性能試験			1C	○	14回		
	機能・性能試験			10C	—	13回		
	分解点検			130M	—	13回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	原子炉補機冷却水ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G3	10C	—	13回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 1M, 潤滑油診断: 2C)
		分解点検		130M	—	13回		
		潤滑油入替		26M	○	14回		
		機能・性能試験		10C	—	13回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 1M, 潤滑油診断: 1C, 赤外線診断: 1M)
		分解点検		130M	—	13回	82 1次系ポンプ分解検査	
		機能・性能試験		10C	—	14回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 1M, 潤滑油診断: 2C)
	原子炉補機冷却水ポンプ3B	分解点検	G3	130M	—	14回		
		潤滑油入替		26M	○	14回		
		機能・性能試験		10C	—	14回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 1M, 潤滑油診断: 1C, 赤外線診断: 1M)
		分解点検		130M	—	14回	82 1次系ポンプ分解検査	
		機能・性能試験		10C	—	14回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 1M, 潤滑油診断: 1C, 赤外線診断: 1M)
		分解点検		130M	—	14回	82 1次系ポンプ分解検査	
	原子炉補機冷却水ポンプ3C	機能・性能試験	G3	10C	—	13回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 1M, 潤滑油診断: 2C)
		分解点検		130M	—	13回		
		潤滑油入替		26M	○	14回		
		機能・性能試験		10C	○	8回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 1M, 潤滑油診断: 1C, 赤外線診断: 1M)
		分解点検		130M	○	8回	82 1次系ポンプ分解検査	
		機能・性能試験		10C	—	13回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 1M, 潤滑油診断: 2C)
	原子炉補機冷却水ポンプ3D	分解点検	G3	130M	—	13回		
		潤滑油入替		26M	○	14回		
		機能・性能試験		10C	○	8回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 1M, 潤滑油診断: 1C, 赤外線診断: 1M)
		分解点検		130M	○	8回	82 1次系ポンプ分解検査	
		機能・性能試験		10C	—	13回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 1M, 潤滑油診断: 2C)
		分解点検		130M	—	13回		
	原子炉補機冷却水ポンプ3D電動機	機能・性能試験	G3	10C	—	13回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 1M, 潤滑油診断: 2C)
		分解点検		130M	—	13回		
		潤滑油入替		26M	○	14回		
		機能・性能試験		10C	○	8回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 1M, 潤滑油診断: 1C, 赤外線診断: 1M)
		分解点検		130M	○	8回	82 1次系ポンプ分解検査	
		機能・性能試験		10C	—	13回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 1M, 潤滑油診断: 2C)
	原子炉補機冷却水ポンプ3A	分解点検	G3	130M	—	13回		
		潤滑油入替		26M	○	14回		
		開放点検		26M	○	14回	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		26M	○	14回	91 1次系熱交換器検査	
		漏えい試験		2C	○	14回	91 1次系熱交換器検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕	
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕	原子炉補機冷却水冷却器3B	開放点検	G3	26M	○	14回	91 1次系熱交換器検査		
		非破壊試験		26M	○	14回	91 1次系熱交換器検査		
		漏えい試験		2C	○	14回	91 1次系熱交換器検査		
	原子炉補機冷却水冷却器3C	開放点検	G3	26M	○	14回	91 1次系熱交換器検査		
		非破壊試験		26M	○	14回	91 1次系熱交換器検査		
		漏えい試験		2C	○	14回	91 1次系熱交換器検査		
	原子炉補機冷却水冷却器3D	開放点検	G3	26M	○	14回	91 1次系熱交換器検査		
		非破壊試験		26M	○	14回	91 1次系熱交換器検査		
		漏えい試験		2C	○	14回	91 1次系熱交換器検査		
	原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕	原子炉補機冷却水ポンプ3号	開放点検	G3	195M	—	14回		
			分解点検 他	G3,G4	52M~390M	○	14回	85 1次系安全弁検査 84 1次系弁検査 87 1次系真空破壊弁検査	
			分解点検 他	G3	130M~156M	—	13回	84 1次系弁検査	
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却水設備〕 その他AM弁一式		単体調整試験 他	G2	13M	○	14回			
		機能・性能試験	G3	2C	○	14回	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断: 1M)	
		分解点検		26M	○	14回	120 2次系ポンプ分解検査		
海水ポンプ3A		機能・性能試験	G3	8C	—	14回	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断: 1M, 潤滑油診断: 1C)	
		分解点検		104M	—	14回			
		潤滑油入替		26M	○	14回			
海水ポンプ3B		機能・性能試験	G3	2C	○	14回	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断: 1M)	
		分解点検		26M	○	14回	120 2次系ポンプ分解検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕		
原子炉冷却系統施設 〔原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置〕	海水ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G3	8C	—	13回	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断: 1M, 潤滑油診断: 1C)		
		分解点検		104M	—	13回				
		潤滑油入替		26M	○	14回				
		海水ポンプ3C	機能・性能試験	G3	2C	○	14回	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断: 1M)	
			分解点検		26M	○	14回	120 2次系ポンプ分解検査		
			機能・性能試験		8C	○	13回	121 2次系ポンプ機能検査		
		海水ポンプ3D	分解点検	G3	104M	○	13回		(振動診断: 1M)	
			潤滑油入替		26M	○	14回			
			機能・性能試験		2C	○	14回	121 2次系ポンプ機能検査		
		原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕 その他の弁一式	海水ポンプ3D電動機	機能・性能試験	G3	8C	—	13回	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断: 1M, 潤滑油診断: 1C)
				分解点検		104M	—	13回		
				潤滑油入替		26M	○	14回		
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕 その他の弁一式	機能・性能試験			G3	26M~195M	○	14回	122 2次系弁検査	一部点検実施	
	分解点検 他				26M~156M	○	14回			
	分解点検 他				1C	○	14回	78 格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査		
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕 その他の機器(海水配管含む)一式	機能・性能試験			G2	1C	○	14回		78 格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査	
	機能・性能試験				55 総合負荷性能検査 129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	○	14回			
	機能・性能試験				128 蒸気タービン開放検査	—	13回			
原子炉冷却系統施設 〔車室, 円板, 隔板, 噴口, 翼, 車軸〕	高圧タービン			開放点検	G1	4YP	—	13回		
				部分点検		26M	○	14回		

機器又は系統名	実施教(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン 〔调速装置及び非常调速装置並びに调速装置で制御される主要弁〕	低圧第1タービン	機能・性能試験 開放点検 部分点検	G1	IC 4YP 26M	○ ○ -	14回 12回 14回	55 総合負荷性能検査 128 蒸気タービン開放検査 128 蒸気タービン開放検査	
	低圧第2タービン	機能・性能試験 開放点検 部分点検	G1	IC 4YP 26M	○ - ○	14回 14回 13回	55 総合負荷性能検査 128 蒸気タービン開放検査 128 蒸気タービン開放検査	
	主蒸気止め弁3A	機能・性能試験 開放点検	G3	IC 4YP	○ -	14回 14回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) 128 蒸気タービン開放検査	
	主蒸気止め弁3B	機能・性能試験 開放点検	G3	IC 4YP	○ ○	14回 12回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) 128 蒸気タービン開放検査	
	主蒸気止め弁3C	機能・性能試験 開放点検	G3	IC 4YP	○ ○	14回 12回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) 128 蒸気タービン開放検査	
	主蒸気止め弁3D	機能・性能試験 開放点検	G3	IC 4YP	○ -	14回 14回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) 128 蒸気タービン開放検査	
	蒸気加減弁 第1弁	機能・性能試験 開放点検	G3	IC 4YP	○ -	14回 14回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) 128 蒸気タービン開放検査	
	蒸気加減弁 第2弁	機能・性能試験 開放点検	G3	IC 4YP	○ ○	14回 12回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) 128 蒸気タービン開放検査	
	蒸気加減弁 第3弁	機能・性能試験 開放点検	G3	IC 4YP	○ ○	14回 12回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) 128 蒸気タービン開放検査	
	蒸気加減弁 第4弁	機能・性能試験 開放点検	G3	IC 4YP	○ -	14回 14回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) 128 蒸気タービン開放検査	

機器又は系統名	実施教(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン 〔復水器〕	再熟蒸気止め弁3A	機能・性能試験 開放点検	G3	IC 4YP	○ ○	14回 12回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) 128 蒸気タービン開放検査	
	再熟蒸気止め弁3B	機能・性能試験 開放点検	G3	IC 4YP	○ ○	14回 12回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) 128 蒸気タービン開放検査	
	再熟蒸気止め弁3C	機能・性能試験 開放点検	G3	IC 4YP	○ -	14回 14回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) 128 蒸気タービン開放検査	
	再熟蒸気止め弁3D	機能・性能試験 開放点検	G3	IC 4YP	○ -	14回 14回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) 128 蒸気タービン開放検査	
	インターセプト弁3A	機能・性能試験 開放点検	G3	IC 4YP	○ ○	14回 12回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) 128 蒸気タービン開放検査	
	インターセプト弁3B	機能・性能試験 開放点検	G3	IC 4YP	○ ○	14回 12回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) 128 蒸気タービン開放検査	
	インターセプト弁3C	機能・性能試験 開放点検	G3	IC 4YP	○ -	14回 14回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) 128 蒸気タービン開放検査	
	インターセプト弁3D	機能・性能試験 開放点検	G3	IC 4YP	○ -	14回 14回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) 128 蒸気タービン開放検査	
	蒸気タービン附属設備	機能・性能試験 開放点検	G3	IC 4YP	○ -	14回 14回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査) 128 蒸気タービン開放検査	
	復水器ホットウェル3A	開放点検	G3	13M	○	14回	128 蒸気タービン開放検査	
	復水器ホットウェル3B	開放点検	G3	13M	○	14回	128 蒸気タービン開放検査	
	復水器出入口水室3A	開放点検	G3	13M	○	14回	128 蒸気タービン開放検査	
	復水器出入口水室3B	開放点検	G3	13M	○	14回	128 蒸気タービン開放検査	
	復水器出入口水室3C	開放点検	G3	13M	○	14回	128 蒸気タービン開放検査	
	復水器出入口水室3D	開放点検	G3	13M	○	14回	128 蒸気タービン開放検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	復水ポンプ3A	分解点検	G4	78M	○	9回		
	復水ポンプ3A電動機	分解点検	G4	78M	○	9回		(振動診断:IM, 潤滑油診断:IC)
		潤滑油入替		26M	○	13回		
	復水ポンプ3B	分解点検	G4	78M	—	11回		
	復水ポンプ3B電動機	分解点検	G4	78M	—	11回		(振動診断:IM, 潤滑油診断:IC)
		潤滑油入替		26M	○	13回		
	復水ポンプ3C	分解点検	G4	78M	—	13回		
	復水ポンプ3C電動機	分解点検	G4	78M	—	13回		(振動診断:IM, 潤滑油診断:IC)
		潤滑油入替		26M	○	13回		
	復水器真空ポンプ3A	分解点検	G4	78M	—	11回		(振動診断:IM, 潤滑油診断:IC, 赤外線診断:IM)
	復水器真空ポンプ3A電動機	分解点検	G4	130M	—	7回		(振動診断:IM, 赤外線診断:IM)
	復水器真空ポンプ3B	分解点検	G4	78M	—	14回		(振動診断:IM, 潤滑油診断:IC, 赤外線診断:IM)
	復水器真空ポンプ3B電動機	分解点検	G4	130M	—	14回		(振動診断:IM, 赤外線診断:IM)
	復水器過器3号	開放点検	G3	104M	—	8回	124 2次系容器検査	
	循環水ポンプ3A	分解点検	G3	39M	—	13回		(潤滑油診断:IC)
	循環水ポンプ3A電動機	分解点検	G3	78M	—	13回		(振動診断:IM, 潤滑油診断:6M)
		潤滑油入替		39M	—	13回		
	循環水ポンプ3B	分解点検	G3	39M	○	13回		(潤滑油診断:IC)
	循環水ポンプ3B電動機	分解点検	G3	78M	○	12回		(振動診断:IM, 潤滑油診断:6M)
		潤滑油入替		39M	○	13回		
	復水器真空ポンプセパレータタンク3A逃がし弁 3V-BS-657A	機能・性能試験	G4	10C	—	8回	123 2次系安全弁検査	
		分解点検		130M	—	8回		
		漏えい試験		10C	—	8回	123 2次系安全弁検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕	
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービン 蒸気タービンに付属する 熱交換器]	復水器真空ポンプモータータンク3B迷がし弁 3V-BS-657B	機能・性能試験	G4	10C	—	9回	123 2次系安全弁検査		
		分解点検		130M	—	9回			
		漏えい試験		10C	—	9回	123 2次系安全弁検査		
	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン[復水器] その他機器一式	分解点検	G3	CBM	—	8回		(振動診断:IC)復水器水室空気放ボンプ、復水器水室空気放ボンプ (電動機)	
		開放点検		104M	○	7回	128 蒸気タービン開放検査		
		開放点検		104M	—	9回	128 蒸気タービン開放検査		
	湿分離加熱器3A	湿分離加熱器3A	開放点検(GEN側蒸気室)	G3	52M	—	14回	128 蒸気タービン開放検査	
			開放点検(GOV側蒸気室)		104M	○	9回	128 蒸気タービン開放検査	
			開放点検(胴側蒸気室)		104M	—	9回	128 蒸気タービン開放検査	
			非破壊試験		8C	—	9回	128 蒸気タービン開放検査	
			漏えい試験		104M	—	8回	128 蒸気タービン開放検査	
			開放点検(GEN側蒸気室)		104M	—	8回	128 蒸気タービン開放検査	
開放点検(GOV側蒸気室)			104M		—	14回	128 蒸気タービン開放検査		
開放点検(胴側蒸気室)			52M		—	12回	128 蒸気タービン開放検査		
非破壊試験			104M		—	14回	128 蒸気タービン開放検査		
漏えい試験			8C		—	8回	128 蒸気タービン開放検査		
開放点検			104M		—	14回	124 2次系容器検査		
開放点検			104M		○	7回	124 2次系容器検査		
脱気器3A	脱気器3A	開放点検	G3	26M	○	13回	124 2次系容器検査		
		開放点検		130M	—	7回	125 2次系熱交換器検査		
		漏えい試験		10C	—	7回	125 2次系熱交換器検査		
		開放点検		52M	—	13回	125 2次系熱交換器検査		
		非破壊試験		52M	—	13回	125 2次系熱交換器検査		
		漏えい試験		4C	—	13回	125 2次系熱交換器検査		
脱気器3B	脱気器3B	開放点検	G3	26M	○	13回	124 2次系容器検査		
		開放点検		130M	—	7回	125 2次系熱交換器検査		
		漏えい試験		10C	—	7回	125 2次系熱交換器検査		
		開放点検		52M	—	13回	125 2次系熱交換器検査		
		非破壊試験		52M	—	13回	125 2次系熱交換器検査		
		漏えい試験		4C	—	13回	125 2次系熱交換器検査		
脱気器タンク3号	脱気器タンク3号	開放点検	G3	26M	○	13回	124 2次系容器検査		
		開放点検		130M	—	7回	125 2次系熱交換器検査		
		漏えい試験		10C	—	7回	125 2次系熱交換器検査		
		開放点検		52M	—	13回	125 2次系熱交換器検査		
		非破壊試験		52M	—	13回	125 2次系熱交換器検査		
		漏えい試験		4C	—	13回	125 2次系熱交換器検査		
クランク蒸気復水器3号	クランク蒸気復水器3号	開放点検	G3	26M	○	13回	124 2次系容器検査		
		開放点検		130M	—	7回	125 2次系熱交換器検査		
		漏えい試験		10C	—	7回	125 2次系熱交換器検査		
		開放点検		52M	—	13回	125 2次系熱交換器検査		
		非破壊試験		52M	—	13回	125 2次系熱交換器検査		
		漏えい試験		4C	—	13回	125 2次系熱交換器検査		
第1低圧給水加熱器3A	第1低圧給水加熱器3A	開放点検	G3	26M	○	13回	124 2次系容器検査		
		開放点検		130M	—	7回	125 2次系熱交換器検査		
		漏えい試験		10C	—	7回	125 2次系熱交換器検査		
		開放点検		52M	—	13回	125 2次系熱交換器検査		
		非破壊試験		52M	—	13回	125 2次系熱交換器検査		
		漏えい試験		4C	—	13回	125 2次系熱交換器検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕	
第1低圧給水加熱器3B	第1低圧給水加熱器3B	開放点検	G3	52M	—	14回	125 2次系熱交換器検査		
		非破壊試験		52M	—	14回	125 2次系熱交換器検査		
		漏えい試験		4C	—	14回	125 2次系熱交換器検査		
	第2低圧給水加熱器3A	第2低圧給水加熱器3A	開放点検	G3	52M	○	11回	125 2次系熱交換器検査	
			非破壊試験		52M	○	11回	125 2次系熱交換器検査	
			漏えい試験		4C	○	11回	125 2次系熱交換器検査	
	第2低圧給水加熱器3B	第2低圧給水加熱器3B	開放点検	G3	52M	—	12回	125 2次系熱交換器検査	
			非破壊試験		52M	—	12回	125 2次系熱交換器検査	
			漏えい試験		4C	—	12回	125 2次系熱交換器検査	
第3低圧給水加熱器3A	第3低圧給水加熱器3A	開放点検	G3	52M	—	13回	125 2次系熱交換器検査		
		非破壊試験		52M	—	13回	125 2次系熱交換器検査		
		漏えい試験		4C	—	13回	125 2次系熱交換器検査		
第3低圧給水加熱器3B	第3低圧給水加熱器3B	開放点検	G3	52M	—	14回	125 2次系熱交換器検査		
		非破壊試験		52M	—	14回	125 2次系熱交換器検査		
		漏えい試験		4C	—	14回	125 2次系熱交換器検査		
第4低圧給水加熱器3A	第4低圧給水加熱器3A	開放点検	G3	52M	○	11回	125 2次系熱交換器検査		
		非破壊試験		52M	○	11回	125 2次系熱交換器検査		
		漏えい試験		4C	○	11回	125 2次系熱交換器検査		
第4低圧給水加熱器3B	第4低圧給水加熱器3B	開放点検	G3	52M	—	12回	125 2次系熱交換器検査		
		非破壊試験		52M	—	12回	125 2次系熱交換器検査		
		漏えい試験		4C	—	12回	125 2次系熱交換器検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備〕	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する熱交換器〕 その他の弁一式	分解点検 他	G4	52M～65M	—	13回		
	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する熱交換器〕 その他の機器一式	開放点検 他	G4,G5	104M	—	12回		一部BDMあり
	補助給水系	機能・性能試験	G3	1C	○	14回	23 補助給水系機能検査	
	タービン附属補助給水ポンプ3号	機能・性能試験	G3	10C	—	13回	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:3M)
	電動補助給水ポンプ3A	分解点検		130M	—	13回	24 補助給水ポンプ分解検査	
	電動補助給水ポンプ3A	分解点検	G3	130M	—	13回	24 補助給水ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
	電動補助給水ポンプ3B	分解点検	G3	130M	—	13回	24 補助給水ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
	電動補助給水ポンプ3B	潤滑油入替		26M	○	14回		有効性評価 No.8の反映
	電動補助給水ポンプ3B	分解点検	G3	130M	—	6回	24 補助給水ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
	電動補助給水ポンプ3B電動機	分解点検	G3	130M	—	13回		(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
	蒸気タービン附属設備	潤滑油入替		26M	○	14回		有効性評価 No.8の反映
	復水ブロースタポンプ3A	機能・性能試験	G3	1C	○	14回	142 蒸気タービン附属設備機能検査	
	復水ブロースタポンプ3A電動機	分解点検	G4	117M	—	12回		(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
	復水ブロースタポンプ3B	分解点検	G4	78M	—	12回		(振動診断:1M)
	復水ブロースタポンプ3B電動機	分解点検	G4	117M	—	13回		(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
	復水ブロースタポンプ3C	分解点検	G4	78M	—	14回		(振動診断:1M)
	復水ブロースタポンプ3C電動機	分解点検	G4	117M	—	11回		(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
	給水ブロースタポンプ3A	分解点検	G4	78M	—	13回		(振動診断:1M)
	分解点検	G3	78M	—	12回		(振動診断:1M)	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	給水ブースタポンプ3A電動機	分解点検	G3	78M	—	12回		(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C)
		潤滑油入替		13M	○	14回		
	給水ブースタポンプ3B	分解点検	G3	78M	—	14回		
		潤滑油入替		13M	○	14回		(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C)
	給水ブースタポンプ3C	分解点検	G3	104M	○	7回	120 2次系ポンプ分解検査	
		潤滑油入替		52M	○	13回		(振動診断:6M, 潤滑油診断:2C)
	電動主給水ポンプ3号	分解点検	G3	130M	—	7回	120 2次系ポンプ分解検査	(振動診断:6M, 潤滑油診断:1C)
		ロータ精密点検		260M	—	—	120 2次系ポンプ分解検査	16回にて初回点検を計画
	電動主給水ポンプ3号電動機	分解点検	G3	130M	—	13回		(振動診断:6M)
		機能・性能試験	G3	6C	—	14回	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:3M)
	タービン動主給水ポンプ3A	分解点検		78M	—	14回		
		機能・性能試験	G3	4C	—	13回	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)
	主給水ポンプタービン3A	分解点検		52M	—	14回	120 2次系ポンプ分解検査	
		機能・性能試験	G3	1C	○	14回	121 2次系ポンプ機能検査	
	タービン動主給水ポンプ保安装置・調速装置 3A	分解点検		52M	○	11回		
		機能・性能試験	G3	6C	—	11回	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:3M)
タービン動主給水ポンプ3B	分解点検		78M	—	11回			
	機能・性能試験	G3	4C	—	12回	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)	
主給水ポンプタービン3B	分解点検		52M	—	12回	120 2次系ポンプ分解検査		
	機能・性能試験	G3	1C	○	14回	121 2次系ポンプ機能検査		
タービン動主給水ポンプ保安装置・調速装置 3B	分解点検		52M	○	11回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービン 蒸気タービンに附属する 管等]	補助給水タンク3号	開放点検	G3	104M	—	12回		
	第6高圧給水加熱器3A	開放点検	G3	52M	—	12回	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	—	12回	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	—	12回	125 2次系熱交換器検査	
		開放点検	G3	52M	—	13回	125 2次系熱交換器検査	
	第6高圧給水加熱器3B	非破壊試験		52M	—	13回	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	—	13回	125 2次系熱交換器検査	
		開放点検	G3	130M	○	10回	124 2次系容器検査	
	復水脱塩塔3A	開放点検	G3	130M	—	11回	124 2次系容器検査	
	復水脱塩塔3B	開放点検	G3	130M	—	7回	124 2次系容器検査	
	復水脱塩塔3C	開放点検	G3	130M	—	8回	124 2次系容器検査	
	復水脱塩塔3D	開放点検	G3	130M	—	14回	124 2次系容器検査	
	復水脱塩塔3E	開放点検	G3	130M	—	14回	124 2次系容器検査	
	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン(蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備) その他機器 一式	分解点検 他	G3,G4	13M~195M	○	14回		(振動診断: IM)アンモニア注入ポンプ電動機, 希トランジウム注入ポンプ電動機 (振動診断: IC)濃トランジウム注入ポンプ電動機, 予備薬注入ポンプ電動機 (振動診断: IC, 潤滑油診断: IC)蒸気発生器水環ポンプ (振動診断: IC, 潤滑油診断: 2C)蒸気発生器水環ポンプ電動機 有効性評価 No. 9の反映
2次系配管(主蒸気系統・再熱蒸気系統・抽気系統) 一式	開放点検(非破壊試験)	G3	※1	○	14回	128 蒸気タービン開放検査	※1 2次系配管肉厚検査計画による。	
	目視点検		IC	○	14回	128 蒸気タービン開放検査		
	非破壊試験	G3	※1	○	14回	126 2次系配管検査	※1 2次系配管肉厚検査計画による。	
外観点検			IC	○	14回	126 2次系配管検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕	
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [その他設備]	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する管等] その他機器 一式	開放点検 他	G3,G4	52M~104M	○	14回			
		機能・性能試験	G1,G3	1C	○	14回	55 総合負荷性能検査	定検起動後	
	主蒸気タービンおよびその附属設備	機能・性能試験	G3	1C	○	14回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	一部定検起動後	
		3TCV-500A	機能・性能試験	G3	1C	○	14回	61 主蒸気タービン機能検査	
		分解点検(弁本体)		13M	○	14回	122 2次系弁検査	一部アラート運転中	
	主蒸気タービン弁3B	分解点検(駆動部)		78M	-	13回			
		機能・性能試験	G3	1C	○	14回	61 主蒸気タービン機能検査		
		3TCV-500B	分解点検(弁本体)		13M	○	14回	122 2次系弁検査	一部アラート運転中
	主蒸気タービン弁3C	分解点検(駆動部)		78M	-	13回			
		機能・性能試験	G3	1C	○	14回	61 主蒸気タービン機能検査		
		3TCV-500C	分解点検(弁本体)		52M	○	11回	122 2次系弁検査	一部アラート運転中
	主蒸気タービン弁3D	分解点検(駆動部)		78M	-	13回			
		アラートハットン取替		13M	-	14回			
		機能・性能試験	G3	1C	○	14回	61 主蒸気タービン機能検査		
	主蒸気タービン弁3E	3TCV-500D	分解点検(弁本体)		52M	○	11回	122 2次系弁検査	一部アラート運転中
分解点検(駆動部)			78M	-	13回				
アラートハットン取替			13M	-	14回				
主蒸気タービン弁3E	3TCV-500E	機能・性能試験	G3	1C	○	14回	61 主蒸気タービン機能検査		
	分解点検(弁本体)		52M	-	14回	122 2次系弁検査	一部アラート運転中		
	分解点検(駆動部)		78M	-	13回				
		アラートハットン取替		13M	○	13回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
計測制御系統施設 〔制御材〕	主蒸気タンク弁3F	機能・性能試験	G3	IC	○	14回	61 主蒸気タンク弁機能検査	一部アラート運転中
		分解点検(弁本体)		52M	—	14回	122 2次系弁検査	
		分解点検(駆動部)		78M	—	13回		
		クアントハットン取替		13M	○	13回		
	主蒸気タンク弁3G	機能・性能試験	G3	IC	○	14回	61 主蒸気タンク弁機能検査	一部アラート運転中
		分解点検(弁本体)		52M	—	12回	122 2次系弁検査	
		分解点検(駆動部)		78M	—	13回		
		クアントハットン取替		13M	○	14回		
	主蒸気タンク弁3H	機能・性能試験	G3	IC	○	14回	61 主蒸気タンク弁機能検査	一部アラート運転中
		分解点検(弁本体)		52M	—	12回	122 2次系弁検査	
分解点検(駆動部)		78M		—	13回			
クアントハットン取替		13M		○	14回			
計測制御系統施設 〔制御材〕	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン〔その他設備〕 その他の弁一式	機能・性能試験	G3,G4	13M~390M	○	14回	122 2次系弁検査 123 2次系安全弁検査	一部アラート運転中
		分解点検 他		52M	—	12回		
		分解点検(弁本体)		78M	—	13回		
		分解点検(駆動部)		13M	○	14回		
	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン〔その他設備〕 その他機器一式	機能・性能試験	G2~G4	13M~260M	○	14回		(ターニング油ポンプ)電動機 振動診断:6M(他) 一部点検実施
		分解点検 他		52M	—	12回		
		分解点検(弁本体)		78M	—	13回		
		分解点検(駆動部)		13M	○	14回		
	制御棒クラス	機能・性能試験	G2	IC	○	14回	106 制御棒クラス動作検査	※ 炉心設計による
		外観点検		IC	○	14回	107 制御棒クラス検査	
機能・性能試験		IC		○	14回			
機能・性能試験		IC		○	14回			
制御棒駆動系	機能・性能試験	G2	IC	○	14回	30 制御棒駆動系機能検査		
	機能・性能試験		IC	○	14回	106 制御棒クラス動作検査		
	分解点検		39M	○	13回			
	潤滑油入替		26M	—	14回			
制御棒駆動用電源M-Gett3A 発電機	機能・性能試験	G3	39M	○	13回		(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C, 赤外線診断:1M)	
	分解点検		26M	—	14回			
制御棒駆動用電源M-Gett3A 電動機	機能・性能試験	G3	39M	○	13回		(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)	
	分解点検		26M	—	14回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
計制御系統施設 〔まじり酸注入機能を有する設備〕	制御棒駆動用電源M-Ge外3B 発電機	分解点検 潤滑油入替	G3	39M 26M	— —	14回 14回		(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C, 赤外線診断:1M)
	制御棒駆動用電源M-Ge外3B 発電機	分解点検	G3	39M	—	14回		(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
	ほう酸ポンプ3A	機能・性能試験 分解点検	G3	1C 156M	○ —	14回 7回	31-2 ほう酸ポンプ機能検査 31-1 ほう酸ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
	ほう酸ポンプ3A 電動機	カニカルシール取替		78M	—	13回		
	ほう酸ポンプ3A 電動機	分解点検	G3	156M	—	11回		(振動診断:1M)
	ほう酸ポンプ3B	機能・性能試験	G3	1C	○	14回	31-2 ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
	ほう酸ポンプ3B 電動機	分解点検		156M	—	8回	31-1 ほう酸ポンプ分解検査	
	ほう酸ポンプ3B 電動機	カニカルシール取替		78M	—	13回		
	ほう酸ポンプ3B 電動機	分解点検	G3	156M	—	13回		(振動診断:1M)
	1次系補給水ポンプ3A	機能・性能試験	G3	10C	—	13回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
	1次系補給水ポンプ3A 電動機	分解点検		130M	—	13回		
	1次系補給水ポンプ3A 電動機	機能・性能試験	G3	6C	—	14回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)
	1次系補給水ポンプ3B	分解点検		78M	—	14回		
	1次系補給水ポンプ3B 電動機	機能・性能試験	G3	10C	—	13回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
	1次系補給水ポンプ3B 電動機	分解点検		130M	—	13回		
	ほう酸タンク3A	機能・性能試験	G3	6C	—	14回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)
ほう酸タンク3B	分解点検		78M	—	14回			
1次系純水タンク3号	開放点検	G3	195M	—	14回			
ほう酸7/1カ3号	開放点検	G3	195M	—	2回			
	開放点検	G3	195M	—	9回			
	開放点検	G3	130M	—	9回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
計測制御系統施設 〔制御用空気設備〕	計測制御系統施設 〔ほぼ酸注入機能を有する設備〕 その他の弁一式	分解点検 他	G3,G4	13M~ 195M	○	14回	84 1次系弁検査 86 1次系逆止弁検査 87 1次系真空破膜弁検査	
	計測制御系統施設 〔ほぼ酸注入機能を有する設備〕 その他機器一式	漏えい試験	G3	10YP	—	13回		
	制御用空気圧縮機3A	機能・性能試験	G2	1C	○	14回	32 制御用空気圧縮系機能検査	(振動診断: 1M, 潤滑油診断: 1C, 赤外線診断: 1M)
		部分点検		13M	○	14回		
		分解点検		26M	○	14回		
	制御用空気圧縮機3A電動機	分解点検	G3	130M	—	13回		(振動診断: 1M)
	制御用空気圧縮機3B	機能・性能試験	G2	1C	○	14回	32 制御用空気圧縮系機能検査	(振動診断: 1M, 潤滑油診断: 1C, 赤外線診断: 1M)
		部分点検		13M	○	14回		
		分解点検		26M	○	14回		
	制御用空気圧縮機3B電動機	分解点検	G3	130M	—	13回		(振動診断: 1M)
計測制御系統施設 〔その他設備〕	計測制御系統施設 〔制御用空気設備〕 その他の弁一式	分解点検 他	G3,G4	13M~ 312M	○	14回	85 1次系安全弁検査 84 1次系弁検査	
	計測制御系統施設 〔制御用空気設備〕 その他機器一式	分解点検 他	G2,G3	13M~ 52M	○	14回		有効性評価 No.5の反映
	1.原子炉保護系ロジック回路 2.安全防護系ロジック回路	機能・性能試験	G2	1C	○	14回	33 安全保護系機能検査	
	1.原子炉トリップ工学的安全施設の始動, 原子炉格納容器隔離等を行うためのすべての伝送器, 設定器及び保護継電器 (1)1次冷却材等計測装置 伝送器 設定器(保護継電器含む) (2)核計装装置	27回路 34回路						
	2.重要な指示計器 中央指示計 現場指示計 現場記録計 (2)核計装装置 中央指示計 現場記録計	55個 132個 20個						
		16個 9個 4個						
		8個 1個						

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	事故時監視計器 7個 圧力監視計器 20個 水位監視計器 9個 流量監視計器 10個 温度監視計器	特性試験 他	G2,G4	13M	○	14回	35 プラント状態監視設備機能検査	
	事故時燃料採取設備 格納容器雰囲気ガス試料採取設備 1台	機能・性能試験	G3	13M	○	14回	35 プラント状態監視設備機能検査	
	1.制御棒制御系 2.加圧器水位制御系 3.加圧器圧力制御系 4.蒸気発生器水位制御系 一式	機能・性能試験	G2,G3	1C	○	14回	71 計測制御系機能検査	
	1.1次系計測制御装置 2.2次系計測制御装置 一式	特性試験	G1~G4	12M~ 104M	○	14回	72 計測制御系監視機能検査	一部プラント運転中 有効性評価 No.6.38,39の反映
	炉外核計測装置 1.線源領域計測装置 2.中間領域計測装置 3.出力領域計測装置	特性試験	G1,G2	13M~ 26M	○	14回	105 核計装設備検査	一部起動後
	炉内核計測装置 一式	機能・性能試験	G2	1C	○	14回	105 核計装設備検査	
	制御棒位置指示装置 48個	特性試験	G2	13M	○	14回	108 制御棒位置指示装置設定値検査	
	HSシンボルチェア 50本	非破壊試験	G3	78M	○	9回	109 炉内計装用シンボルチェア体積検査	
	パージングロジック回路 5回路 2回路	機能・性能試験	G2	1C	○	14回	110 安全保護系機能検査(パージング検査)	
	1.原子炉保護系ロジック関連 2.安全保護系ロジック関連 総合インターロック 1.原子炉トリップによるタービン、発電機トリップ 検査 2.タービントリップによる原子炉、発電機トリップ 検査 3.発電機トリップによる原子炉、タービントリップ 検査 一式	機能・性能試験	G1~G3	1C	○	14回	112 総合インターロック検査	
	計測制御系統施設 その他機器 一式	単体調整試験 他	G1~G5	12M~ 169M	○	14回		一部プラント運転中 一部BDMあり 有効性評価 No.3,4の反映
計測制御系統施設(発電用原子炉の運転を管理するための制御装置)	中央制御室外原子炉停止盤補機操作回路 44回路	機能・性能試験	G2	1C	○	14回	73 原子炉の停止制御回路健全性確認検査	
放射性廃棄物の廃棄施設(気体、液体又は固体廃棄物貯蔵設備) 一式	放射性廃棄物の廃棄施設 [気体、液体又は固体廃棄物貯蔵設備] 一式	開放点検	G3,G5	216M	-	2012年		プラント運転中 一部BDMあり

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
放射線廃棄物の廃棄施設(気体、液体又は固体廃棄物処理設備)	ガス圧縮装置	2台 機能・性能試験(電動機含む) 分解点検 他	G4	IC	○	14回	42 気体廃棄物処理系機能検査	
	ガス圧縮装置電動機	2台 分解点検	G4	78M~156M	—	13回		(振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
	水素再結合ガス圧縮装置	1台 機能・性能試験(電動機含む) 分解点検 他	G4	130M	○	12回	42 気体廃棄物処理系機能検査	
	水素ガス圧縮装置電動機	1台 分解点検	G4	104M~208M	—	11回		(振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
	水素再結合装置	1台 機能・性能試験	G4	130M	—	11回		(振動診断:1C)
	ガス減圧タンク圧力制御弁	6台 機能・性能試験(駆動部含む) 機能・性能試験(駆動部含む) 分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部)	G3	IC	○	14回	42 気体廃棄物処理系機能検査	
	ほう酸回収装置	1基 機能・性能試験	G4	2Y	○	2018年	64 液体廃棄物処理系機能検査	プラント運転中
	廃液蒸発装置	2基 機能・性能試験	G4	2Y	○	2018年	64 液体廃棄物処理系機能検査	プラント運転中
	ガス圧縮装置3A気水分離器破蔵板		G4	195M	—	14回	88 1次系破蔵板検査	
	ガス圧縮装置3B気水分離器破蔵板		G4	195M	—	14回	88 1次系破蔵板検査	
	水素再結合ガス圧縮装置気水分離器破蔵板		G4	195M	—	14回	88 1次系破蔵板検査	
	水素再結合装置破蔵板		G4	195M	○	—	88 1次系破蔵板検査	
	モニタリングポンプ3A		G4	B	—	1996年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
	モニタリングポンプ3A電動機		G4	CBM	—	1996年		
			G4	B	—	1996年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
			G4	CBM	—	1996年		
	モニタリングポンプ3B		G4	B	—	—	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
			G4	CBM	—	—		分解未実施

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	モニタポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	B	—	1996年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	1996年		
	ほう酸回収装置給水ポンプ3A	機能・性能試験	G4	B	—	1995年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
		分解点検		CBM	—	1995年		
	ほう酸回収装置給水ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	B	—	1995年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	1995年		
	ほう酸回収装置給水ポンプ3B	機能・性能試験	G4	B	—	—	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
		分解点検		CBM	—	—		
	ほう酸回収装置給水ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	B	—	1998年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	1998年		
	廃液蒸留水ポンプ3A	機能・性能試験	G4	B	—	1998年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
		分解点検		CBM	—	1998年		
	廃液蒸留水ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	B	—	1998年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	1998年		
	廃液蒸留水ポンプ3B	機能・性能試験	G4	B	—	—	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
		分解点検		CBM	—	—		
	廃液蒸留水ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	B	—	2002年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	2002年		
	洗浄排水ポンプ3A	機能・性能試験	G4	B	—	1995年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
		分解点検		CBM	—	1995年		
	洗浄排水ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	B	—	1995年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	1995年		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
機器又は系統名	洗浄排水ポンプ3B	機能・性能試験	G4	B	—	—	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C) 分解未実施
		分解点検		CBM	—	—	—	
	洗浄排水ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	B	—	1996年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	1996年	—	
	洗浄排水モーターポンプ3A	機能・性能試験	G4	B	—	1998年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
		分解点検		CBM	—	1998年	—	
	洗浄排水モーターポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	B	—	1995年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	1995年	—	
	洗浄排水モーターポンプ3B	機能・性能試験	G4	B	—	—	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
		分解点検		CBM	—	—	—	
	洗浄排水モーターポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	B	—	2002年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	2002年	—	
	強酸・レノポンプ3号(電動機含む)	機能・性能試験	G4	B	—	—	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (ヘアリングモニタにより監視) 分解未実施
		分解点検		CBM	—	—	—	
格納容器冷却材レノポンプ3A	機能・性能試験	G3	15C	—	7回	96 液体廃棄物処理系設備検査	(振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)	
	分解点検		195M	—	7回	—		
格納容器冷却材レノポンプ3A電動機	機能・性能試験	G3	15C	—	11回	96 液体廃棄物処理系設備検査	(振動診断:1C)	
	分解点検		195M	—	11回	—		
格納容器冷却材レノポンプ3B	機能・性能試験	G3	15C	—	3回	96 液体廃棄物処理系設備検査	(振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)	
	分解点検		195M	—	3回	—		
格納容器冷却材レノポンプ3B電動機	機能・性能試験	G3	15C	—	14回	96 液体廃棄物処理系設備検査	(振動診断:1C)	
	分解点検		195M	—	14回	—		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	格納容器サブポンプ3A	機能・性能試験	G4	6C	○	9回	96 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		78M	○	9回		
	格納容器サブポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	6C	○	9回	96 液体廃棄物処理系設備検査	
		電動機取替		78M	○	9回		
	格納容器サブポンプ3B	機能・性能試験	G4	6C	○	9回	96 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		78M	○	9回		
	格納容器サブポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	6C	○	9回	96 液体廃棄物処理系設備検査	
		電動機取替		78M	○	9回		
	補助建屋サブタンクポンプ3A	機能・性能試験	G4	B	—	1995年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C) 有効性評価 No.10の反映
		分解点検		CBM	—	1995年		
	補助建屋サブタンクポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	B	—	1995年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	1995年		
	補助建屋サブタンクポンプ3B	機能・性能試験	G4	B	—	—	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C) 有効性評価 No.10の反映
		分解点検		CBM	—	—		
	補助建屋サブタンクポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	B	—	1999年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	1999年		
	廃液給水ポンプ3A	機能・性能試験	G4	B	—	1995年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
		分解点検		CBM	—	1995年		
	廃液給水ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	B	—	1995年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	1995年		
	廃液給水ポンプ3B	機能・性能試験	G4	B	—	—	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
		分解点検		CBM	—	—		
	廃液給水ポンプ3B	機能・性能試験	G4	B	—	—	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
		分解点検		CBM	—	—		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	廃液給水ポンプ3B電動機	機能・性能試験 分解点検	G4	B CBM	— —	1986年 1986年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせ実施 (振動診断:1C)
	セメント固化装置	機能・性能試験	G4	2Y	○	2018年	115 固体廃棄物処理系セメント固化装置機能検査	フロント運転中
	放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕 その他の弁一式	分解点検 他	G3,G4	52M~ 195M	○	14回	84 1次系弁検査 86 1次系逆止弁検査 85 1次系安全弁検査 87 1次系真空破壊弁検査	一部フロント運転中 有効性評価 No.31の反映
	放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕 その他機器一式	開放点検 他	G3~G5	12M~ 444M	○	2019年		一部フロント運転中 一部BDMあり
	放射性廃棄物の廃棄施設 〔原子炉格納容器本体 又は廃棄物貯蔵設備 からの流体中の放射性 廃棄物の漏えいの検出 装置又は自動警報装 置〕	機能・性能試験 他	G4	5Y	—	2019年	68 流体中の放射性廃棄物の漏えいの 検出装置及び警報装置機能検査 72 計測制御系監視機能検査	フロント運転中
	放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	機能・性能試験	G4	52M~ 60M	—	14回	118 液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の 警報機能検査	一部フロント運転中
	格納容器高レベルエアモニタ	4個 特性試験	G2	13M	○	14回	63-2 エリアモニタ機能検査	
	1.エリアモニタ 2.フロートモニタ	15台 22台	G2~G4	13M	○	14回	76 放射線監視装置機能検査	
	モニタリングステーション及びモニタリングポスト専用の 無線伝送装置	5台 機能・性能試験	G4	2Y	○	2019年	62 野外モニタ機能検査	フロント運転中または定検停止中
	放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕 その他機器一式	単体調整試験 他	G2,G3	13M~ 65M	○	14回		
放射線管理施設 〔換気設備〕	中央制御室非常用循環系	機能・性能試験	G3,G4	1C	○	14回	40 中央制御室非常用循環系機能検査	
	中央制御室再循環ファン3A	機能・性能試験	G3	—	—	7回		
		分解点検		156M	—	7回		
	中央制御室再循環ファン3A電動機	機能・性能試験	G3	6C 78M	— —	14回 14回		(振動診断:1M)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	中央制御室再循環ファン3B	機能・性能試験	G3	—	—	3回		
		分解点検		156M	○	3回		
	中央制御室再循環ファン3B電動機	機能・性能試験	G3	6C	—	13回		(振動診断:IM)
		分解点検		78M	—	13回		
	中央制御室空調ファン3A	機能・性能試験	G3	—	—	7回		(振動診断:IM, 赤外線診断:IM)
		分解点検		195M	—	7回		
	中央制御室空調ファン3A電動機	機能・性能試験	G3	6C	—	14回		(振動診断:IM, 赤外線診断:IM)
		分解点検		78M	—	14回		
	中央制御室空調ファン3B	機能・性能試験	G3	—	—	9回		(振動診断:IM, 赤外線診断:IM)
		分解点検		195M	—	9回		
	中央制御室空調ファン3B電動機	機能・性能試験	G3	6C	—	13回		(振動診断:IM, 赤外線診断:IM)
		分解点検		78M	—	13回		
	中央制御室非常用給気ファン3A	機能・性能試験	G3	390M	—	1回		(振動診断:IM)
		分解点検		—	—	—		
	中央制御室非常用給気ファン3A電動機	機能・性能試験	G3	156M	—	11回		(振動診断:IM)
		分解点検		390M	—	2回		
	中央制御室非常用給気ファン3B	機能・性能試験	G3	156M	—	12回		(振動診断:IM)
		分解点検		—	—	—		
	中央制御室非常用給気ファン3B電動機	機能・性能試験	G3	78M	—	10回		
		開放点検		78M	—	10回		
	中央制御室空調ユニット3A	機能・性能試験	G3	78M	—	10回		
		開放点検		—	—	—		
	中央制御室空調ユニット3B	機能・性能試験	G3	1C	○	14回	41 中央制御室非常用循環系フィルタ性能検査	
		機能・性能試験(漏えい率)		1C	○	14回	41 中央制御室非常用循環系フィルタ性能検査	
	中央制御室非常用給気ファンユニット3号	機能・性能試験	G3	—	—	1回		
		開放点検		390M	—	1回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	格納容器給気ファン3A	機能・性能試験	G4	B	—	1995年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (電動機の振動により解析)
		分解点検		CBM	—	1995年		
	格納容器給気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	B	—	2016年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:IM, 赤外線診断:IC) ファン運転中
		分解点検		CBM	—	2016年		
	格納容器給気ファン3B	機能・性能試験	G4	B	—	1999年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (電動機の振動により解析)
		分解点検		CBM	—	1999年		
	格納容器給気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	B	—	2011年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:IM, 赤外線診断:IC) ファン運転中
		分解点検		CBM	—	2011年		
	格納容器排気ファン3A	機能・性能試験	G4	B	—	1996年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:IM, 赤外線診断:IC)
		分解点検		CBM	—	1996年		
	格納容器排気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	B	—	2016年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:IM, 赤外線診断:IC) ファン運転中
		分解点検		CBM	—	2016年		
	格納容器排気ファン3B	機能・性能試験	G4	B	—	2000年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:IM, 赤外線診断:IC)
		分解点検		CBM	—	2000年		
	格納容器排気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	B	—	2012年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:IM, 赤外線診断:IC) ファン運転中
		分解点検		CBM	—	2012年		
格納容器再循環ファン3A	分解点検	G4	156M	—	13回		(振動診断:IM, 潤滑油診断:IC)	
	分解点検		G4	52M	—	13回		
格納容器再循環ファン3A電動機	分解点検	G4	156M	—	6回		(振動診断:IM, 潤滑油診断:IC)	
	分解点検		G4	52M	—	14回		
格納容器再循環ファン3B	分解点検	G4	156M	—	13回		(振動診断:IM, 潤滑油診断:IC)	
	分解点検		G4	52M	—	13回		
格納容器再循環ファン3B電動機	分解点検	G4	156M	—	13回		(振動診断:IM, 潤滑油診断:IC)	
	分解点検		G4	52M	—	13回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	格納容器再循環ファン3D	分解点検	G4	156M	—	6回		
	格納容器再循環ファン3D電動機	分解点検	G4	52M	—	14回		(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C)
	格納容器空気浄化ファン3A	機能・性能試験	G4	B	—	1995年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (電動機の振動により解析)
		分解点検		CBM	—	1995年		
	格納容器空気浄化ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	B	—	1996年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	1996年		
	格納容器空気浄化ファン3B	機能・性能試験	G4	B	—	1999年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (電動機の振動により解析)
		分解点検		CBM	—	1999年		
	格納容器空気浄化ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	B	—	1999年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	1999年		
	補助建屋給気ファン3A	機能・性能試験	G4	22Y	—	2001年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
		分解点検		22Y	—	2001年		プラント運転中
	補助建屋給気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	7Y	—	2019年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		7Y	—	2019年		プラント運転中
	補助建屋給気ファン3B	機能・性能試験	G4	22Y	—	2004年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
		分解点検		22Y	—	2004年		プラント運転中
	補助建屋給気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	7Y	—	2018年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		7Y	—	2018年		プラント運転中
	補助建屋排気ファン3A	機能・性能試験	G4	B	—	2013年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M) 有効性評価 No.12の反映
		分解点検		CBM	—	2013年		プラント運転中
	補助建屋排気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	6Y	—	2019年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中 (振動診断:1M) 有効性評価 No.16の反映
		分解点検		6Y	—	2019年		プラント運転中 有効性評価 No.16の反映

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	補助建屋排気ファン3B	機能・性能試験	G4	B	—	2014年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M,赤外線診断:1M) 有効性評価 No.12の反映
		分解点検		CBM	—	2014年		
	補助建屋排気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	6Y	○	2014年	77 1次系換気空調設備検査	アラート運転中 (振動診断:1M) 有効性評価 No.16の反映
		分解点検		6Y	○	2014年		
	補助建屋排気ファン3C	機能・性能試験	G4	B	—	2016年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M,赤外線診断:1M) 有効性評価 No.12の反映
		分解点検		CBM	—	2016年		
	補助建屋排気ファン3C電動機	機能・性能試験	G4	6Y	—	2017年	77 1次系換気空調設備検査	アラート運転中 (振動診断:1M) 有効性評価 No.16の反映
		分解点検		6Y	—	2017年		
	燃料取扱建屋空気浄化系	機能・性能試験	G3	1C	○	14回	77 1次系換気空調設備検査	
		分解点検		15Y	—	2011年		
	放射線管理室給気ファン3A	機能・性能試験	G4	15Y	—	2011年		アラート運転中
		分解点検		15Y	—	2011年		
	放射線管理室給気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	15Y	—	2019年	77 1次系換気空調設備検査	アラート運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		15Y	—	2019年		
	放射線管理室給気ファン3B	機能・性能試験	G4	15Y	—	2014年	77 1次系換気空調設備検査	アラート運転中
		分解点検		15Y	—	2014年		
	放射線管理室給気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	15Y	—	2007年	77 1次系換気空調設備検査	アラート運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		15Y	—	2007年		
	放射線管理室排気ファン3A	機能・性能試験	G4	15Y	—	2011年	77 1次系換気空調設備検査	アラート運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		15Y	—	2011年		
	放射線管理室排気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	15Y	—	2019年	77 1次系換気空調設備検査	アラート運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		15Y	—	2019年		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
放射線管理室排気ファン3B		機能・性能試験	G4	15Y	—	2018年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		15Y	—	2018年		ファン運転中
放射線管理室排気ファン3B電動機		機能・性能試験	G4	15Y	—	2018年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		15Y	—	2018年		ファン運転中
ペイ排気ファン3号		機能・性能試験	G4	B	—	—	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (モータの振動により解析)
		分解点検		CBM	—	—		分解未実施
ペイ排気ファン3号電動機		機能・性能試験	G4	B	—	2004年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1Y)
		分解点検		CBM	—	2004年		
セント固化装置オフガスファン3A		機能・性能試験	G4	5Y	—	2018年	77 1次系換気空調設備検査	有効性評価No.32の反映
		分解点検		5Y	—	2018年		有効性評価No.32の反映
セント固化装置オフガスファン3A電動機		機能・性能試験	G4	B	—	2001年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM	—	2001年		
セント固化装置オフガスファン3B		機能・性能試験	G4	5Y	—	2018年	77 1次系換気空調設備検査	有効性評価No.32の反映
		分解点検		5Y	—	2018年		有効性評価No.32の反映
セント固化装置オフガスファン3B電動機		機能・性能試験	G4	B	—	2002年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM	—	2002年		
廃棄物処理室給気ファン3A		機能・性能試験	G4	15Y	—	2014年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中
		分解点検		7Y	—	2015年		ファン運転中 (振動診断:1M)
廃棄物処理室給気ファン3A電動機		機能・性能試験	G4	7Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中
		分解点検		7Y	—	2015年		ファン運転中
廃棄物処理室給気ファン3B		機能・性能試験	G4	15Y	—	2014年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中
		分解点検		7Y	—	2014年		ファン運転中 (振動診断:1M)
廃棄物処理室給気ファン3B電動機		機能・性能試験	G4	7Y	—	2014年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中
		分解点検		7Y	—	2014年		ファン運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕	
	廃棄物処理室排気ファン3A	機能・性能試験	G4	15Y	—	2013年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)	
		分解点検		CBM	—	1998年			
	廃棄物処理室排気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	B	—	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM	—	—	2015年		ファン運転中
	廃棄物処理室排気ファン3B	機能・性能試験	G4	15Y	—	—	2013年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM	—	—	2004年		
	廃棄物処理室排気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	B	—	—	2016年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM	—	—	2016年		ファン運転中
	廃棄物処理室排気ファン3C	機能・性能試験	G4	15Y	—	—	2013年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM	—	—	2004年		
	廃棄物処理室排気ファン3C電動機	機能・性能試験	G4	B	—	—	2007年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM	—	—	2007年		ファン運転中
	換気空調設備のその他のファン一式	分解点検 他	G3,G4	12M~ 260M	○	—	14回		一部ファン運転中 有効性評価 No.14,15,17,18,26,27,28の反映
		開放点検		7Y	—	—	2014年		ファン運転中
	格納容器給気ユニット3A	開放点検	G4	7Y	—	—	2014年		ファン運転中
	格納容器給気ユニット3B	開放点検	G4	7Y	—	—	2014年		ファン運転中
	格納容器排気フルクエント3A	機能・性能試験	G4	18Y	—	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中
		開放点検		18Y	—	—	2015年		ファン運転中
格納容器排気フルクエント3B	機能・性能試験	G4	18Y	—	—	2016年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中	
	開放点検		18Y	—	—	2016年		ファン運転中	
補助建屋給気ユニット3号(Aバンク側)	開放点検	G4	7Y	—	—	2015年		ファン運転中	
補助建屋給気ユニット3号(Bバンク側)	開放点検	G4	7Y	—	—	2015年		ファン運転中	
補助建屋排気フルクエント3A	機能・性能試験	G4	18Y	—	—	2013年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	補助建屋排気ファンユニット3B	機能・性能試験	G4	18Y	—	2013年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中
	放射線管理室給気ユニット3号	開放点検	G4	7Y	—	2014年		ファン運転中
	放射線管理室排気ファンユニット3A	機能・性能試験	G4	15Y	—	2011年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中
	放射線管理室排気ファンユニット3B	機能・性能試験	G3	15Y	—	2011年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中
	へー行排気ファンユニット3号	機能・性能試験	G4	B	—	—	77 1次系換気空調設備検査	ファン(CBM)の機能・性能試験に合わせて実施
	廃棄物処理室排気ファンユニット3号(Aハンク側)	機能・性能試験	G4	15Y	—	2012年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中
	廃棄物処理室排気ファンユニット3号(Bハンク側)	機能・性能試験	G4	15Y	—	2012年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中
	格納容器空気浄化ファンユニット3号	機能・性能試験	G3	B	—	—	77 1次系換気空調設備検査	ファン(CBM)の機能・性能試験に合わせて実施
	格納容器減圧排気ファンユニット3号	機能・性能試験	G4	15C	—	3回	77 1次系換気空調設備検査	
		開放点検		195M	—	3回		
	セメント固化装置オフガスファンユニット3A	機能・性能試験	G4	5Y	—	2018年	77 1次系換気空調設備検査	有効性評価No.33の反映
	セメント固化装置オフガスファンユニット3B	機能・性能試験	G4	5Y	—	2018年	77 1次系換気空調設備検査	有効性評価No.33の反映
	中央制御室	漏えい試験	高	6YP	—	13回	139 中央制御室の居住性確認検査	
		外観点検(貫通部)		1C	○	14回		
	タンク(タンクハローダ、防火タンク、手動タンク含む)一式	機能・性能試験	G3,G4	13M~264M	○	14回	77 1次系換気空調設備検査	一部ファン運転中 有効性評価 No.20,21,22,23,24,29の反映
	放射線管理施設 [換気設備] その他の弁一式	分解点検 他	G3,G4	26M~195M	○	14回	85 1次系安全弁検査	一部ファン運転中
	放射線管理施設 [換気設備] その他AM弁一式	分解点検	G3	195M	—	3回		
	放射線管理施設 [換気設備] その他機器一式	分解点検 他	G2~G4	12M~300M	○	14回		一部ファン運転中 有効性評価 No.25の反映

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕	
原子炉格納施設 〔原子炉格納容器〕	原子炉格納容器	漏えい率試験	G3	3C	—	13回	43 原子炉格納容器全体漏えい率検査		
	通常用エアロック	1個 漏えい率試験 開放点検 部分点検	G3	2C/3C 130M 1C	○ — ○	14回 14回 14回	44 原子炉格納容器局部漏えい率検査		
	非常用エアロック	1個 漏えい率試験 開放点検 部分点検	G3	2C/3C 130M 1C	○ — ○	14回 6回 14回	44 原子炉格納容器局部漏えい率検査		
	格納容器機器搬入口	1個 漏えい率試験 開放点検	G3	2C/3C 13M	○ ○	14回 14回	44 原子炉格納容器局部漏えい率検査		
	配管貫通部(伸縮式配管貫通部、貫通配管フランジ部)一式	漏えい率試験	G3	2C/3C	○	14回	44 原子炉格納容器局部漏えい率検査		
	電気配線用貫通部 一式	漏えい率試験	G3	2C/3C	○	14回	44 原子炉格納容器局部漏えい率検査		
	配管貫通部(伸縮式配管貫通部、貫通配管フランジ部)及び電気配線用貫通部 一式	開放点検	G3	13M~104M	○	14回			
	原子炉格納容器隔離弁 一式	漏えい率試験	G3	2C/3C	○	14回	44 原子炉格納容器局部漏えい率検査		
	格納容器隔離(T-V信号及びT+UV信号)により隔離される弁	65個 機能・性能試験	G3	1C	○	14回	45 原子炉格納容器隔離弁機能検査		
	格納容器隔離(P-V信号)により隔離される弁	16個 機能・性能試験	G3	1C	○	14回	45 原子炉格納容器隔離弁機能検査		
	格納容器冷却材トロンポンプ出口ライン第1隔離弁3号	3LCV-1000	分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部)	G3	130M 52M	— ○	13回 13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	SG-3Aサンプリング隔離弁	3V-BD-009A	分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部)	G3	78M 78M	○ ○	14回 13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	SG-3Bサンプリング隔離弁	3V-BD-009B	分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部)	G3	78M 78M	○ ○	14回 13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	SG-3Cサンプリング隔離弁	3V-BD-009C	分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部)	G3	78M 78M	○ ○	14回 13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
SG-3A7ロータリ隔離弁	3V-BD-030A	分解点検(弁本体)	G3	78M	-	14回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)						
	3V-BD-030B	分解点検(弁本体)	G3	78M	-	14回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)						
	3V-BD-030C	分解点検(弁本体)	G3	78M	-	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)						
C/V再循環ユニット3A,3B冷却水入口隔離弁	3V-CC-189A	分解点検(弁本体)	G3	156M	-	6回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)						
	3V-CC-189B	分解点検(弁本体)	G3	130M	-	13回		
		分解点検(駆動部)						
	3V-CC-189C	分解点検(弁本体)	G3	195M	-	7回		
		分解点検(電動機)						
C/V再循環ユニット3A,3C,3D冷却水入口隔離弁	3V-CC-189B	分解点検(弁本体)	G3	156M	-	7回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)						
	3V-CC-189C	分解点検(弁本体)	G3	130M	-	5回		
		分解点検(電動機)						
	3V-CC-189A	分解点検(弁本体)	G3	156M	-	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)						
C/V再循環ユニット3A冷却水出口隔離弁	3V-CC-198B	分解点検(弁本体)	G3	130M	-	8回		
		分解点検(電動機)						
	3V-CC-198C	分解点検(弁本体)	G3	195M	-	4回		
		分解点検(電動機)						
	3V-CC-198A	分解点検(弁本体)	G3	156M	-	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)						
C/V再循環ユニット3B冷却水出口隔離弁	3V-CC-198B	分解点検(弁本体)	G3	130M	-	12回		
		分解点検(駆動部)						
	3V-CC-198C	分解点検(弁本体)	G3	195M	-	4回		
		分解点検(電動機)						
	3V-CC-198A	分解点検(弁本体)	G3	156M	-	6回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)						
3V-CC-198C	分解点検(弁本体)	G3	130M	-	13回			
	分解点検(電動機)							
3V-CC-198B	分解点検(弁本体)	G3	195M	-	5回			
	分解点検(電動機)							

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕	
C/V再循環ユニット3D冷却水出口隔離弁	3V-CC-198D	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	6回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		130M	—	13回			
		分解点検(電動機)		195M	—	5回			
	CRDMおよび余剰抽出クーラ冷却水入口隔離弁3号	3V-CC-342	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	9回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
			分解点検(駆動部)		130M	—	9回		
			分解点検(電動機)		195M	—	5回		
	CRDMおよび余剰抽出クーラ冷却水出口隔離弁3号	3V-CC-349	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	6回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
			分解点検(駆動部)		130M	—	13回		
			分解点検(電動機)		195M	—	5回		
	RCP冷却水入口第2隔離弁3号	3V-CC-401	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	8回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
			分解点検(駆動部)		130M	—	8回		
			分解点検(電動機)		195M	—	5回		
RCP冷却水入口第1隔離弁3号	3V-CC-403	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	10回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		130M	—	10回			
		分解点検(電動機)		195M	—	5回			
RCP冷却水出口第1隔離弁3号	3V-CC-427	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	7回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		130M	—	7回			
		分解点検(電動機)		195M	—	3回			
RCP冷却水出口第2隔離弁3号	3V-CC-429	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	7回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		130M	—	13回			
		分解点検(電動機)		195M	—	5回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕	
DRPI冷却ユニット3号入口隔離弁	3V-CH-404	分解点検(弁本体)	G3	104M	—	14回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		78M	—	13回			
		クランク・ハッポン取替		52M	—	13回			
	DRPI冷却ユニット3号出口隔離弁	3V-CH-410	分解点検(弁本体)	G3	52M	—	14回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
			分解点検(駆動部)		78M	—	13回		
			分解点検(弁本体)		52M	—	14回		
	抽出クワイア隔離弁3A	3V-CS-004A	分解点検(弁本体)	G3	52M	—	14回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
			分解点検(駆動部)		78M	—	14回		
			分解点検(弁本体)		52M	—	14回		
	抽出クワイア隔離弁3B	3V-CS-004B	分解点検(弁本体)	G3	52M	—	14回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
			分解点検(駆動部)		78M	—	14回		
			分解点検(弁本体)		52M	—	14回		
	抽出クワイア隔離弁3C	3V-CS-004C	分解点検(弁本体)	G3	52M	—	14回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
			分解点検(駆動部)		78M	—	14回		
分解点検(弁本体)			52M		—	14回			
抽出クワイア隔離弁3号	3V-CS-007	分解点検(弁本体)	G3	104M	—	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		52M	—	13回			
		クランク・ハッポン取替		52M	—	13回			
封水戻りクワイア第1隔離弁3号	3V-CS-213	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	10回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		130M	—	10回			
		分解点検(電動機)		195M	—	8回			
封水戻りクワイア第2隔離弁3号	3V-CS-214	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	10回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		130M	—	10回			
		分解点検(電動機)		195M	—	4回			
格納容器減圧装置第1隔離弁3号	3V-DP-001	分解点検(弁本体)	G3	130M	—	14回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		52M	○	13回			
		分解点検(電動機)							

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	格納容器減圧装置第2隔離弁3号 3V-DP-002	分解点検(弁本体)	G3	130M	—	14回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		52M	○	13回		
	消火系格納容器隔離弁3号 3V-FS-503	分解点検(弁本体)	G3	104M	○	12回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		52M	○	13回		
		クランクハットキョウ取替		52M	—	13回		
	制御用空気供給ヘッダ3A格納容器隔離弁 3V-IA-508A	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M	—	13回		
		分解点検(電動機)		195M	—	4回		
	制御用空気供給ヘッダ3B格納容器隔離弁 3V-IA-508B	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M	—	13回		
		分解点検(電動機)		195M	—	5回		
	炉内核計装置ガスホーンライン第2隔離弁3号 3V-IG-008	分解点検(弁本体)	G3	130M	—	11回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		52M	—	14回		
		分解点検(電動機)		130M	—	14回		
	炉内核計装置ガスホーンライン第1隔離弁3号 3V-IG-009	分解点検(弁本体)	G3	130M	—	14回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		52M	—	14回		
分解点検(電動機)		130M		—	14回			
加圧器逃ガスライン分析ライン第1隔離弁3号 3V-RC-077	分解点検(弁本体)	G3	26M	—	14回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検(駆動部)		104M	—	13回			
	分解点検(電動機)		52M	—	14回			
加圧器逃ガスライン分析ライン第2隔離弁3号 3V-RC-078	分解点検(弁本体)	G3	52M	—	14回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検(駆動部)		104M	—	13回			
	分解点検(電動機)		104M	—	13回			
加圧器逃ガスライン分析ライン第3号 3V-RC-084	分解点検(弁本体)	G3	104M	○	11回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検(駆動部)		104M	—	13回			
	クランクハットキョウ取替		52M	—	13回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
機器又は系統名	加圧器逃がしタンク補給水隔離弁3号 3V-RC-095	分解点検(弁本体)	G3	104M	—	12回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M	—	13回		
		クアントハッペン取替		52M	○	13回		
	格納容器空気モニタリング第1隔離弁3号 3V-RM-001	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	14回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M	—	10回		
		分解点検(電動機)		195M	—	9回		
	格納容器空気モニタリング第2隔離弁3号 3V-RM-002	分解点検(弁本体)	G3	52M	—	14回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		104M	—	14回		
		分解点検(弁本体)		52M	○	13回		
	格納容器空気モニタリング戻り隔離弁3号 3V-RM-018	分解点検(駆動部)	G3	104M	—	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(弁本体)		104M	—	14回		
		分解点検(駆動部)		104M	—	14回		
安全注入テストライン第1戻り弁3号 3V-SI-144	クアントハッペン取替	G3	52M	—	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検(弁本体)		52M	—	14回			
	分解点検(駆動部)		104M	—	14回			
蓄圧タンク補給ライン隔離弁3号 3V-SI-145	分解点検	G3	52M	—	14回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検(駆動部)		104M	—	12回			
	分解点検(弁本体)		52M	—	14回			
安全注入テストライン第2戻り弁3号 3V-SI-147	分解点検(弁本体)	G3	52M	—	14回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検(駆動部)		104M	—	12回			
	分解点検(弁本体)		78M	○	13回			
蓄圧タンク蓋素隔離弁3号 3V-SI-165	分解点検(弁本体)	G3	78M	○	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検(駆動部)		78M	○	13回			
	分解点検(弁本体)		52M	—	14回			
加圧器気相部分アブリング隔離弁3号 3V-SS-503	分解点検(弁本体)	G3	78M	—	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検(駆動部)		78M	—	13回			
	分解点検(弁本体)		26M	—	14回			
加圧器液相部分アブリング隔離弁3号 3V-SS-523	分解点検(弁本体)	G3	78M	—	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検(駆動部)		26M	—	14回			
	分解点検(弁本体)		78M	—	13回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕	
ループ3A高温側および加圧器ポンプリング隔離弁	ループ3A高温側および加圧器ポンプリング隔離弁	3V-SS-524 分解点検(弁本体)	G3	26M	-	14回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		78M	-	13回			
	ループ3A高温側ポンプリング隔離弁	3V-SS-543A	3V-SS-543A 分解点検(弁本体)	G3	130M	-	14回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
			分解点検(駆動部)		130M	-	9回		
			分解点検(電動機)		195M	-	14回		
			3V-SS-543B 分解点検(弁本体)		130M	-	14回		
	ループ3B高温側ポンプリング第1隔離弁	3V-SS-544	分解点検(駆動部)	G3	130M	○	13回		
			分解点検(電動機)		195M	-	8回		
	ループ3B高温側ポンプリング第2隔離弁	3V-SS-544	3V-SS-544 分解点検(弁本体)	G3	26M	-	14回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
			分解点検(駆動部)		78M	-	13回		
	蓄圧タンク3Aポンプリング隔離弁	3V-SS-563A	3V-SS-563A 分解点検(弁本体)	G3	104M	○	12回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
			分解点検(駆動部)		78M	-	13回		
蓄圧タンク3Bポンプリング隔離弁	3V-SS-563B	3V-SS-563B 分解点検(弁本体)	G3	78M	○	14回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		78M	-	14回			
蓄圧タンク3Cポンプリング隔離弁	3V-SS-563C	3V-SS-563C 分解点検(弁本体)	G3	78M	○	14回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		78M	-	13回			
蓄圧タンクポンプリング隔離弁3号	3V-SS-564	3V-SS-564 分解点検(弁本体)	G3	78M	○	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		104M	-	14回			
格納容器真空逃がし装置3A隔離弁	3V-VR-001A	3V-VR-001A 分解点検(弁本体)	G3	130M	-	10回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		52M	○	13回			
格納容器真空逃がし装置3B隔離弁	3V-VR-001B	3V-VR-001B 分解点検(弁本体)	G3	130M	-	14回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		52M	○	13回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕	
格納容器真空逃がし弁3A	3V-VR-003A	機能・性能試験	G3	IC	○	14回	47 原子炉格納容器真空逃がし弁機能検査		
		分解点検(弁本体)		156M	-	10回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		156M	-	14回			
	格納容器真空逃がし弁3B	3V-VR-003B	機能・性能試験	G3	IC	○	14回		47 原子炉格納容器真空逃がし弁機能検査
			分解点検(弁本体)		156M	-	10回		46 原子炉格納容器隔離弁分解検査
			分解点検(駆動部)		156M	-	14回		
	格納容器冷却材ポンプ出口ライン第2隔離弁3号	3V-WL-032	分解点検(弁本体)	G3	130M	-	13回		46 原子炉格納容器隔離弁分解検査
			分解点検(駆動部)		52M	○	13回		
			分解点検(弁本体)		52M	-	14回		
	格納容器冷却材ポンプ出口ライン第1隔離弁3号	3V-WL-078	分解点検(弁本体)	G3	52M	-	14回		46 原子炉格納容器隔離弁分解検査
			分解点検(駆動部)		104M	-	14回		
			分解点検(弁本体)		52M	○	13回		46 原子炉格納容器隔離弁分解検査
格納容器冷却材ポンプ出口ライン第2隔離弁3号	3V-WL-079	分解点検(弁本体)	G3	104M	○	12回			
		分解点検(駆動部)		130M	-	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(弁本体)		52M	-	14回			
格納容器冷却材ポンプ出口ライン第1隔離弁3号	3V-WL-084	分解点検(弁本体)	G3	130M	-	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		52M	-	14回			
		分解点検(弁本体)		130M	-	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
格納容器冷却材ポンプ出口ライン第2隔離弁3号	3V-WL-085	分解点検(弁本体)	G3	104M	○	11回			
		分解点検(駆動部)		130M	-	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(弁本体)		104M	○	11回			
格納容器冷却材ポンプ出口ライン第3号	3V-WL-090	分解点検(弁本体)	G3	130M	-	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		104M	○	11回			
		分解点検(弁本体)		130M	-	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
格納容器ポンプ出口第1隔離弁3号	3V-WL-124	分解点検(弁本体)	G3	52M	-	13回			
		分解点検(駆動部)		130M	-	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(弁本体)		52M	-	13回			
格納容器ポンプ出口第2隔離弁3号	3V-WL-125	分解点検(弁本体)	G3	130M	-	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		52M	-	13回			
		分解点検(弁本体)		130M	-	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		52M	-	13回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
原子炉格納施設[原子炉格納容器] その他の弁一式	原子炉格納施設[原子炉格納容器] その他の弁一式	分解点検 他	G3	13M~208M	○	14回	84 1次系弁検査 86 1次系逆止弁検査	
	原子炉格納施設[原子炉格納容器] その他機器一式	開放点検	G3	1C	○	14回		[対象設備] ・アエロファンネル
原子炉格納施設[圧力 低減設備その他の安全 設備]	原子炉格納容器スレイ系	機能・性能試験	G3	1C	○	14回	48 原子炉格納容器安全系機能検査 147 その他原子炉注水系機能検査	
	格納容器スレイ冷却器3A	機能・性能試験(状態監視含む)		6M	○	14回	137 運転中安全系ポンプ機能検査	プラント運転中 [対象設備] ・格納容器スレイポンプ3A,3B
	格納容器スレイ冷却器3A	開放点検	G3	195M	—	14回	91 1次系熱交換器検査	
	格納容器スレイ冷却器3B	非破壊試験		390M	—	14回	91 1次系熱交換器検査	
	格納容器スレイ冷却器3B	開放点検	G3	195M	○	—	91 1次系熱交換器検査	
	格納容器スレイ冷却器3B	非破壊試験		390M	○	—	91 1次系熱交換器検査	
	格納容器スレイポンプ3A	分解点検	G3	195M	—	14回	49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解 検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
	格納容器スレイポンプ3A電動機	分解点検	G3	130M	○	9回		(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C) 有効性評価 No.8の反映
	格納容器スレイポンプ3B	潤滑油入替		26M	○	13回		
	格納容器スレイポンプ3B	分解点検	G3	195M	—	13回	49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解 検査 145 その他原子炉注水系ポンプ分解 検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
	格納容器スレイポンプ3B電動機	分解点検	G3	130M	—	13回		(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C) 有効性評価 No.8の反映
	格納容器スレイポンプ3B電動機	潤滑油入替		26M	○	13回		
	よう素除去薬品タンク3号	開放点検	G3	390M	—	—	89 1次系容器検査	30回にて初回点検を計画
	格納容器スレイポンプ3A入口弁	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	13回	50 原子炉格納容器安全系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M	—	13回		
		分解点検(電動機)		195M	—	6回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	格納容器スプレッド3B入口弁	3V-CP-001B 分解点検(弁本体)	G3	156M	-	11回	50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)						
		分解点検(電動機)						
	格納容器スプレッド冷却器3A出口弁	3V-CP-021A 分解点検(弁本体)	G3	156M	-	13回	50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)						
		分解点検(電動機)						
	格納容器スプレッド冷却器3B出口弁	3V-CP-021B 分解点検(弁本体)	G3	156M	-	13回	50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)						
		分解点検(電動機)						
	よろ素除去薬品タンク出口第1弁3A	3V-CP-054A 分解点検(弁本体)	G3	130M	-	13回		
		分解点検(駆動部)						
		分解点検(電動機)						
よろ素除去薬品タンク出口第1弁3B	3V-CP-054B 分解点検(弁本体)	G3	156M	-	8回	50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査		
	分解点検(駆動部)							
	分解点検(電動機)							
原子炉格納施設(圧力低減設備その他の安全設備) その他の弁 一式	3V-CP-054B 分解点検(弁本体)	G3	130M	-	7回	50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査		
	分解点検(駆動部)							
	分解点検(電動機)							
原子炉格納施設(圧力低減設備その他の安全設備) その他のAM弁 一式	原子炉格納施設(圧力低減設備その他の安全設備) その他の弁 一式	G3,G4	13M~390M	○	14回	84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査 86 1次系逆止弁検査 87 1次系真空破壊弁検査		
	分解点検 他							
	分解点検							
			G3	130M	-	13回	86 1次系逆止弁検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する 設備診断技術
	格納容器再循環ユニット3A	開放点検	G3	78M	○	9回	77 1次系換気空調設備検査	
	格納容器再循環ユニット3B	開放点検	G3	78M	○	9回	77 1次系換気空調設備検査	
	アニュラス循環排気系	機能・性能試験	G3	1C	○	14回	38 アニュラス循環排気系機能検査	
	アニュラス排気ファン3A	分解点検	G3	260M	—	5回		(振動診断:1M)
	アニュラス排気ファン3A電動機	分解点検	G3	156M	—	11回		(振動診断:1M)
	アニュラス排気ファン3B	分解点検	G3	260M	—	7回		(振動診断:1M)
	アニュラス排気ファン3B電動機	分解点検	G3	156M	—	13回		(振動診断:1M)
	アニュラス排気ファンユニット3A	機能・性能試験(揚ろ素除去効率)	G3	1C	○	14回	39 アニュラス循環排気系ファン性能検査	
		機能・性能試験(漏えい率)		1C	○	14回	39 アニュラス循環排気系ファン性能検査	
		機能・性能試験		30C	—	3回	77 1次系換気空調設備検査	
	アニュラス排気ファンユニット3B	機能・性能試験(揚ろ素除去効率)	G3	1C	○	14回	39 アニュラス循環排気系ファン性能検査	
		機能・性能試験(漏えい率)		1C	○	14回	39 アニュラス循環排気系ファン性能検査	
		機能・性能試験		30C	—	3回	77 1次系換気空調設備検査	
	アニュラス排気弁3A	分解点検(弁本体)	G3	78M	○	—	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M	○	13回		
	アニュラス排気弁3B	分解点検(弁本体)	G3	78M	○	—	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M	○	13回		
	アニュラス全量排気弁3A	分解点検(弁本体)	G3	78M	—	—	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	16回にて初回点検を計画
		分解点検(駆動部)		78M	—	13回		
	アニュラス全量排気弁3B	分解点検(弁本体)	G3	78M	—	14回	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M	—	14回		
	アニュラス少量排気弁3A	分解点検(弁本体)	G3	78M	○	—	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M	○	13回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕	
原子炉施設 〔その他設備〕	7-エネガス少量排気弁3B	分解点検(弁本体)	G3	78M	○	—	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		78M	○	13回			
		分解点検(弁本体)	G3	78M	○	—	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		78M	○	13回			
	7-エネガス戻り弁3A	分解点検(弁本体)	G3	78M	○	—	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		78M	○	13回			
	7-エネガス戻り弁3B	分解点検(弁本体)	G3	78M	○	—	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		78M	○	13回			
	安全補機室空気浄化系	機能・性能試験	G3	1C	○	○	14回	77 1次系換気空調設備検査	
		分解点検	G3	260M	—	—	6回	(振動診断:6M)	
	安全補機室排気ファン3A	分解点検	G3	156M	—	—	13回	(振動診断:6M)	
		分解点検	G3	260M	—	—	7回	(振動診断:6M)	
	安全補機室排気ファン3B	分解点検	G3	156M	—	—	12回	(振動診断:6M)	
		分解点検	G3	20C	—	—	3回	77 1次系換気空調設備検査	
タンハ(クハ)ハンパ(ク含む) 一式	機能・性能試験	G3	260M	—	—	3回			
	開放点検		260M	—	—	3回			
原子炉格納施設(圧力低減設備その他の安全設備) 他機器 一式	開放点検 他	G3	13M~144M	○	—	14回	77 1次系換気空調設備検査	一部フロント運転中	
	機能・性能試験	G3	390M	—	—	—	89 1次系容器検査		
原子炉施設 〔その他設備〕	クワス1機器(供用期間中検査対象) 一式	非破壊試験	G1,G3	10YP	○	14回	1 クワス1機器供用期間中検査 144 重大事故等クワス2機器供用期間中検査	〔対象設備〕 ・PH調整利時蔵タンク 30回にて初回点検を計画 クワス1機器供用期間中検査10年 計画(別紙-1)	
		漏えい試験		1C	○	14回			
	(重大事故等クワス2機器供用期間中検査対象を含む)	非破壊試験	G3	10YP	○	○	14回	5 クワス2機器供用期間中検査 144 重大事故等クワス2機器供用期間中検査	クワス2機器供用期間中検査10年 計画(別紙-2)
		漏えい試験		10YP	○	○	14回		
	(重大事故等クワス2機器供用期間中検査対象を含む)	非破壊試験	G3	10YP	○	○	14回	104 クワス3機器供用期間中検査	クワス3機器供用期間中検査10年 計画(別紙-3) 一部フロント運転中
		漏えい試験		10YP	○	○	14回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源[非常用発電装置])	クワス1機器Ni基金使用部位一式(重大事故等クワス2機器供用期間中検査対象を含む)	非破壊試験	G3	5YP~10YP	○	13回	98 供用期間中特別検査のうちクワス1機器Ni基金使用部位特別検査 144 重大事故等クワス2機器供用期間中検査	クワス1機器Ni基金使用部位特別検査10年計画[別紙-4]
	クワス2管(原子炉格納容器内)一式(重大事故等クワス2機器供用期間中検査対象を含む)	非破壊試験	G3	10YP	○	14回	98 供用期間中特別検査のうちクワス2管(原子炉格納容器内)特別検査 144 重大事故等クワス2機器供用期間中検査	クワス2管(原子炉格納容器内)特別検査10年計画[別紙-5]
	クワスMC容器(供用期間中検査対象)機器搬入口の圧力保持用ボルト締付け部(ボルト、ナット、ワッシャー、フランジ面)一式(重大事故等クワス2機器供用期間中検査対象を含む)	非破壊試験	G3	10YP	—	13回	79 原子炉格納容器供用期間中検査	原子炉格納容器供用期間中検査10年計画[別紙-6]
	レストレイント一式	外観点検	G3	10YP	○	12回	113 レストレイント検査	
	クワス2機器及びクワス3機器(供用期間中検査対象外)、クワス4管の耐圧部並びに排気筒一式	外観点検	G3	10YP	○	14回	103 構造健全性検査	格納容器排気筒、補助建屋排気筒は5定検で100%検査 一部フランク運転中
	原子炉施設[その他設備] その他の弁 一式	分解点検 他	G3,G4	52M~260M	○	14回	84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査 86 1次系逆止弁検査	
	原子炉施設[その他設備] その他AM弁 一式	分解点検	G3	156M	—	13回		
	原子炉施設[その他設備] その他機器 一式	機能・性能試験	G3	12M~13M	○	2019年		フランク運転中
	耐震クワス,Bに属する支持構造物 一式	外観点検	G1~G3	10YP	○	14回	102 耐震健全性検査	クワス1,2,3機器供用期間中検査対象機器を除く
	アイゼル発電機 2台	機能・性能試験	G3	1C	○	14回	53-1 非常用予備発電装置機能検査(アイゼル発電機の作動検査) 53-2 非常用予備発電装置機能検査(アイゼル発電機定格容量検査)	
	安全注入信号および格納容器スプレイ信号発信時に非常用アイゼル発電機に電源を求めめる機器 48台	機能・性能試験	G2~G4	1C	○	14回	53-1 非常用予備発電装置機能検査(アイゼル発電機の作動検査)	
	非常用アイゼル発電機3A	分解点検	G3	52M	—	14回		(振動診断:6M) 有効性評価No.35の反映
	非常用アイゼル発電機3B	分解点検	G3	52M	○	13回		(振動診断:6M) 有効性評価No.35の反映
非常用アイゼル機関3A	外観点検	G3	13M	○	14回	133 非常用予備発電機付属設備検査	(潤滑油診断:1C, 赤外線診断:1C, 振動診断:6M, ティーセル機関診断:6M) 有効性評価No.35,36の反映	
	非常調速装置試験		13M	○	14回	133 非常用予備発電機付属設備検査		
	計測装置試験		13M	○	14回	133 非常用予備発電機付属設備検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
ディーゼル機関A号機シリンダ(ピストン、連接棒、シリンダカバー、クランク軸、吸気弁、排気弁、燃料噴射弁)	非常用ディーゼル機関3B	分解点検	G3	13M~104M	○	14回	54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	ディーゼル機関B号機シリンダ(ピストン、連接棒、シリンダカバー、クランク軸、吸気弁、排気弁、燃料噴射弁)	外観点検	G3	13M	○	14回	133 非常用予備発電機付属設備検査	(潤滑油診断:1C, 赤外線診断:1C, 振動診断:6M, ディーゼル機関診断:6M) 有効性評価No.35,36の反映
		非常調速装置試験		13M	○	14回	133 非常用予備発電機付属設備検査	
		計測装置試験		13M	○	14回	133 非常用予備発電機付属設備検査	
	重油タンクA	分解点検	G3	13M~104M	○	14回	54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
		開放点検	G3	156M	-	14回	124 2次容器検査	
		開放点検	G3	156M	-	14回	124 2次容器検査	
	重油タンクB	開放点検	G3	156M	-	14回	124 2次容器検査	
		開放点検	G3	156M	-	14回	124 2次容器検査	
		開放点検	G3	156M	-	14回	124 2次容器検査	
ディーゼル発電機附属設備一式	その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備)〔非常用発電装置〕 その他の弁一式	分解点検 他	G3,G4	13M~260M	○	14回	133 非常用予備発電機付属設備検査	(潤滑油診断:1C[空気圧縮機, 潤滑機]) (振動診断:1M[潤滑油アラミングポンプ, 温水循環ポンプ, D/G潤滑油アラミングポンプ, 電動機]) (振動診断:1M[燃料弁冷却水ポンプ, D/G燃料弁冷却水ポンプ, 電動機]) (振動診断:1M[D/G燃料油移送ポンプ, 電動機])
		分解点検 他	G3,G4	26M~390M	○	14回	133 非常用予備発電機付属設備検査 85 1次系安全弁検査	
	その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備)〔非常用発電装置〕 その他機器一式	分解点検 他	G2~G4	13M~104M	○	14回	133 非常用予備発電機付属設備検査	有効性評価 No.2,5,7,37の反映
		機能・性能試験 蓄電池点検	G3	13M	○	14回	53-3 直流電源系機能検査 159 直流電源系作動検査	
	蓄電池(非常用) 計装用電源装置	機能・性能試験 他	G3	13M	○	14回	111 インバータ機能検査	
		4台	G3	13M	○	14回		
	その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備)〔その他の電源装置〕 その他の機器一式	機能・性能試験 他	G3	13M~78M	○	14回		
		電気試験 他	G3	13M~78M	○	14回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度は	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備) [その他機器]	しゃ断器 一式	遮断器点検 他	G3	39M～96M	○	14回		
その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備) [その他機器]	その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備) [その他機器] その他機器 一式	特性試験 他	G3,G4	13M～104M	○	14回		
その他発電用原子炉の附属施設(常用電源設備) [発電機]	発電機設備 一式	分解点検 他	G1,G3,G4	13M～130M	○	14回		
その他発電用原子炉の附属施設(常用電源設備) [変圧器]	変圧器設備 一式	開放点検 他	G3	13M～195M	○	14回		一部プラント運転中 有効性評価 No.1の反映
その他発電用原子炉の附属施設(常用電源設備) [しゃ断器]	しゃ断器 一式	遮断器点検 他	G3	26M～108M	○	14回		一部プラント運転中
その他発電用原子炉の附属施設(常用電源設備) [しゃ断器]	その他発電用原子炉の附属施設(常用電源設備) その他機器 一式	内部・外部点検 他	G3,G4	12M～78M	○	14回		一部プラント運転中
その他発電用原子炉の附属施設(補助ボイラー) [補助ボイラー]	補助ボイラー設備 一式	開放点検 他	G4	144M～216M※1	○	2019年	130 補助ボイラー開放検査※1 131 補助ボイラー性能検査※2 132 補助ボイラー設備検査※2	プラント運転中 (振動診断:6M)補助ボイラー給水ポンプ) ※1 前回の点検後の運転時間が4000時間又は起動回数が120回に達すると見込まれる時期までに定期事業者検査を実施する。 ※2 補助ボイラー性能検査及び設備検査は、補助ボイラー開放検査に合わせて実施する。 有効性評価 No.13の反映
その他発電用原子炉の附属施設(補助ボイラー) [補助ボイラーに属する燃料燃焼設備]	燃料噴燃ボンプ3A	分解点検	G4	12Y	—	2016年		プラント運転中 (振動診断:6M)
		機能・性能試験		12Y	—	2016年	132 補助ボイラー設備検査	
	燃料噴燃ボンプ3A電動機	分解点検	G4	CBM	—	2013年		(振動診断:6M)
		機能・性能試験		B	—	2013年	132 補助ボイラー設備検査	電動機分解点検時に実施

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
その他発電用原子炉の附属施設(火災防護設備) 〔消火設備〕	燃料噴燃ポンプ3B	分解点検 機能・性能試験	G4	12Y	—	2016年	132 補助ボイラ-設備検査	プラント運転中 (振動診断:6M)
	燃料噴燃ポンプ3B電動機	分解点検 機能・性能試験	G4	CBM	—	2013年	132 補助ボイラ-設備検査	(振動診断:6M)
	燃料噴燃ポンプ3C	分解点検 機能・性能試験	G4	12Y	—	2016年	132 補助ボイラ-設備検査	プラント運転中 (振動診断:6M)
	燃料噴燃ポンプ3C電動機	分解点検 機能・性能試験	G4	CBM	—	2013年	132 補助ボイラ-設備検査	(振動診断:6M)
	消火ポンプ3A(電動)	機能・性能試験 分解点検	G4	1Y	○	2018年	プラント運転中または定検停止中 (振動診断:1M)	電動機分解点検時に実施
	消火ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	1Y	○	2019年		
	消火ポンプ3B(ディーゼルエンジン)	機能・性能試験 部分点検	G3	1Y	○	2018年	プラント運転中または定検停止中 (振動診断:1M, 潤滑油診断:1Y)	
	消火ポンプ3B(ディーゼル駆動)	機能・性能試験 分解点検	G3	1Y	○	2018年	プラント運転中または定検停止中 (振動診断:1M)	
	消火系統機器(AM機能範囲)一式	取替	G3	CBM ※1	—	—		※1 巡視点検(1M)結果により取替実施 一部プラント運転中 一部プラント運転中
	全域ハロン消火設備 一式	機能・性能試験	G3	12M~ 13M	○	2019年		
	防火ダンパ 一式	作動確認	G3,G4	130M~ 144M	—	2018年		プラント運転中
	煙等流入防止装置 一式	分解点検	G3	130M	—	—	84 1次系弁検査	23回にて初回点検を計画
可搬型排煙装置(中央制御室)	作動確認	G3	1C	○	14回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
その他発電用原子炉の附属施設(浸水防護施設) [外郭浸水防護設備] [内郭浸水防護設備]	可搬型排煙装置(中央制御室)電動機	作動確認	G3	IC	○	14回		
	可搬型の排煙装置	分解点検(本体)	G3	130M	—	—		22回にて初回点検を計画
	ほう酸ポンプ室耐火壁	作動確認	G4	IC	○	14回		
	貫通部シール	外観点検	G4	IC	○	14回		
	その他発電用原子炉の附属施設(火災防護設備)[その他設備] その他機器 一式	外観点検	G4	10C	—	—		17回にて初回点検を計画
	海水ポンプエア水密ハッチ 一式	特性試験 他	G4	12M~130M	○	2019年		一部アラート運転中
	海水ポンプエア水密扉 一式	開放点検	G3	26M	—	14回		
	原子炉補助建屋水密扉 一式	外観点検	G3	1Y	○	2018年		アラート運転中または定検停止中
	原子炉建屋水密扉 一式	外観点検	G3	1Y	○	2018年		アラート運転中または定検停止中
	海水ピットポンプ室防護壁5号	外観点検	G3	1Y	○	2018年		アラート運転中または定検停止中
その他発電用原子炉の附属施設(浸水防護施設) [その他設備]	浸水防護堰 一式	外観点検	G3	IC	○	14回		
	クマカハエレベータ部カバー 一式	外観点検	G3	IC	○	14回		
	床ドレンライン逆止弁 一式	外観点検	G4	5C	—	—		18回にて初回点検を計画
	海面監視カメラ(監視含む) 一式	分解点検	G3	130M	—	—	84 1次系弁検査	23回にて初回点検を計画
	耐震型海水ピット水位計(監視含む) 一式	特性試験	G4	13M	○	14回		
	蒸気漏えいの自動検知・遠隔隔離システム 一式	特性試験	G4	13M	○	14回		72 計測制御系監視機能検査
	貫通部止水処置	機能・性能試験 他	G4	13M~130M	○	14回		84 1次系弁検査
	海水ピット堰3A	外観点検	G3	1Y	○	2019年		アラート運転中または定検停止中
	海水ピット堰3B	開放点検	G3	13M	○	14回		167 海水ピット堰検査
		開放点検	G3	13M	○	14回		167 海水ピット堰検査

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回致)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断政府〕
その他発電用原子炉の附属施設(緊急時対策所)	緊急時対策所(BL-32m)	外観点検	高	1Y	○	2018年		プラント運転中または定検停止中
		非破壊試験		5Y	—	2016年		プラント運転中または定検停止中
		漏えい試験		6YP	—	—	140 緊急時対策所の居住性確認検査	16回にて初回点検を計画
電巻防護対策設備	補助給水タンクE17防護壁3号	外観点検	G3	1C	○	14回		
	重油タンクA(防護材)	外観点検	G3	1C	○	14回		
	重油タンクB(防護材)	外観点検	G3	1C	○	14回		
	重油タンクC(防護材)	外観点検	G3	1C	○	14回		
	建屋開口部防護壁 一式	外観点検	G3	1C	○	14回		
	原子炉格納施設	外観点検	高,低	1C	○	14回		一部プラント運転中
		非破壊試験		5Y	—	2018年		一部プラント運転中
土木建築設備	原子炉建屋	外観点検	高,低	1Y	○	2018年		プラント運転中または定検停止中
		非破壊試験		5Y	—	2018年		プラント運転中または定検停止中
	原子炉補助建屋	外観点検	高,低	1Y	○	2018年		プラント運転中または定検停止中
		非破壊試験		5Y	—	2018年		プラント運転中または定検停止中
	取放水設備 一式	外観点検 他	高,低	1Y~5Y	○	2018年		プラント運転中または定検停止中
		総合性能試験	G3	1C	○	14回	55 総合負荷性能検査	定検起動後
プラント総合	原子炉及びその附属設備(非常用予備発電装置を除く)	機能・性能試験	G3	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中
全般機器	化学消防自動車	機能・性能試験	G3	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中
	水槽付消防自動車	機能・性能試験	G3	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中
	海水取水用水中ポンプ	外観点検	G4	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中
	諸機器	機能・性能試験 他	G4	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中

2.点検計画 重大事故等対処設備

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料貯蔵設備〕	使用済燃料ピット広域水位(AM)計測装置 一式	特性試験 他	G3	13M	○	14回	72 計測制御系監視機能検査	
	使用済燃料ピット監視カメラ(可搬型の使用済燃料ピット監視カメラ冷却設備を含む。) 一式	特性試験 他	G3	13M~130M	○	14回	I61 可搬型重大事故等対処設備機能検査	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕	大型ポンプ車	機能・性能試験	G3	1Y	○	2019年	I61 可搬型重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中または定検停止中
	大型ポンプ車(泡混合機能付)	分解点検		10Y	—	—		プラント運転中または定検停止中 2025年にて初回点検を計画
中型ポンプ車	7台	機能・性能試験	G3	1Y	○	2019年	I61 可搬型重大事故等対処設備機能検査 I62 可搬型注水等設備機能検査	プラント運転中または定検停止中 2026年にて初回点検を計画
		分解点検		10Y	—	—		プラント運転中または定検停止中
加圧ポンプ車	3台	機能・性能試験	G3	1Y	○	2019年	I61 可搬型重大事故等対処設備機能検査 I62 可搬型注水等設備機能検査	プラント運転中または定検停止中 2025年にて初回点検を計画
		分解点検		10Y	—	—		プラント運転中または定検停止中
大型放水砲	2台	外観点検	G3	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中
小型放水砲	3台	外観点検	G3	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕 水源確保用ホース 一式		外観点検	G3	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔その他設備〕	小型船舶 一式	機能・性能試験	G3	1Y	○	2018年		プラント運転中または定検停止中
	取水ヒットシフトフェンス 一式	外観点検	G3	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中
	海水ヒットシフトフェンス 一式	外観点検	G3	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中
	放水ヒットシフトフェンス 一式	外観点検	G3	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中
	放水ヒットシフトフェンス 一式	外観点検	G3	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中
	雨水排水口海洋シフトフェンス 一式	外観点検	G3	1Y	○	2018年		プラント運転中または定検停止中
	放射性物質吸着剤 一式	外観点検	G3	1Y	○	2018年		プラント運転中または定検停止中
原子炉冷却系統施設 〔非常用炉心冷却設備〕	原子炉冷却系統施設 〔非常用炉心冷却設備〕 弁 一式	分解点検	G3	130M~ 156M	—	—		23回にて初回点検を計画
	原子炉冷却系統施設 〔非常用炉心冷却設備〕 ライクタンクピストン 一式	外観点検	G3	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却水設備〕	高圧注入ポンプ3B及び電動機冷却水屋外 放出用5mフレキング/ルボース 一式	外観点検	G3	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中
	マニホールド(原子炉補機冷却水サージタンク用) 一式	外観点検	G3	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中
	原子炉補機冷却水サージタンク窒素供給用 14mフレキング/ルボース 一式	外観点検	G3	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中
	窒素ボンベ(原子炉補機冷却水サージタンク用) 一式	外観点検	G3	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中
	可搬型代替冷却水ポンプ接続用5mフレキング/ルボース 一式	外観点検	G3	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	格納容器雰囲気ガスサンプル冷却器冷却水屋外放出用21mフレキシブルホース 一式	外観点検	G3	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中
	可搬型代替冷却水ポンプ 一式	機能・性能試験	G3	1C	○	14回	161 可搬型重大事故等対処設備機能検査	
	可搬型代替冷却水ポンプ電動機 一式	外観点検		1C	○	14回		
	可搬型代替冷却水ポンプ電動機 一式	機能・性能試験	G3	1C	○	14回		
	原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備] 弁 一式	分解点検 他	G3	130M~156M	—	—	85 1次系安全弁検査	21回にて初回点検を計画
	原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備] ダイヤクランプ 一式	外観点検	G3	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中
	原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水設備] 弁 一式	分解点検	G3	156M	—	—		25回にて初回点検を計画
	原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンに附属する蒸気タービン [蒸気タービンに附属する管等] 弁 一式	分解点検	G3	156M	—	—		25回にて初回点検を計画
	計測制御系統施設 [計測装置]	特性試験 他	G3	13M	○	14回	35 プラント状態監視設備機能検査 72 計測制御系監視設備機能検査	
	事故時監視計器 圧力監視計器 1個 水位監視計器 5個 流量監視計器 2個 温度監視計器 2個 水素濃度監視計器 2個							
	計測制御系統施設 [計測装置] 弁 一式	分解点検	G3	156M	—	—		25回にて初回点検を計画
	計測制御系統施設 [計測装置] その他機器 一式	外観点検	G3	13M	○	14回		プラント運転中または定検停止中

機器又は系統名	実施教(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕	
計測制御系統施設 [工学的安全施設等の 作動信号]	ATWS緩和設備 一式	特性試験	G3	13M	○	14回	149 重大事故時安全停止回路機能検査		
	計測制御系統施設 [制御用空気設備] 弁 一式	分解点検 他	G3	130M	—	—	85 1次系安全弁検査	23回にて初回点検を計画	
	窒素ボンベン(空気作動弁用) 一式	外観点検	G3	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中	
	マニホールド(空気作動弁用) 一式	外観点検	G3	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中	
	空気作動弁用フレキシブルホース 一式	外観点検	G3	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中	
	計測制御系統施設 [その他設備]	代替格納容器雰囲気ガスサンプル圧縮装置 一式	機能・性能試験	G3	1C	○	14回	161 可搬型重大事故等対処設備機能検査	
		代替格納容器雰囲気ガスサンプル圧縮装置 電動機 一式	外観点検		1C	○	14回		
		代替格納容器雰囲気ガスサンプル圧縮装置 電動機 一式	機能・性能試験	G3	1C	○	14回		
		中央制御室用可搬型照明	8台 外観点検	G4	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中
	可搬型計測器 一式	計器校正	G3	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中	
酸素濃度計(中央制御室用)	単体調整試験	G3	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中		
二酸化炭素濃度計(中央制御室用)	単体調整試験	G3	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中		
緊急時用携帯型通話設備 (緊急時用携帯型通話装置) 一式	機能・性能試験	G3	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中		
無線通信設備(無線通信装置(可搬型)) 一式	機能・性能試験	G3	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中		
衛星電話設備(衛星電話(可搬型)) 一式	機能・性能試験	G3	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕	
放射線管理施設 〔放射線管理用計装装置〕	衛星電話設備(衛星電話(固定型)) 一式	機能・性能試験	G3	1Y	○	2019年		フロント運転中または定検停止中	
	統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備 一式	機能・性能試験	G3	1Y	○	2019年		フロント運転中または定検停止中	
	計測制御系統施設 〔その他設備〕 弁 一式	分解点検	G3	156M	—	—		25回にて初回点検を計画	
	緊急時対策所エアモニタ 一式	特性試験	G3	1Y	○	2018年		フロント運転中または定検停止中	
	可搬型使用済燃料ピットエアモニタ 一式	特性試験	G3	12M～13M	○	14回	76 放射線監視装置機能検査	フロント運転中または定検停止中	
	可搬型代替モニタ 一式	特性試験	G3	1Y	○	2018年		フロント運転中または定検停止中	
	可搬型モニタ 一式	特性試験	G3	1Y	○	2018年		フロント運転中または定検停止中	
	可搬型放射線計測器 一式	特性試験	G3	1Y	○	2018年		フロント運転中または定検停止中	
	可搬型ガスアナライザ 一式	機能・性能試験	G4	1Y	○	2018年		フロント運転中または定検停止中	
	可搬型気象観測設備 一式	特性試験	G4	1Y	○	2018年		フロント運転中または定検停止中	
	放射線管理施設 〔換気設備〕	緊急時対策所空気浄化系	機能・性能試験	G3	1Y	○	2019年	164 可搬型換気空調設備検査	フロント運転中または定検停止中
		緊急時対策所空気浄化ファンA	機能・性能試験	G3	1Y	○	2019年	164 可搬型換気空調設備検査	フロント運転中または定検停止中
		分解点検		15Y	—	—		フロント運転中または定検停止中 2028年にて初回点検を計画	
		分解点検	G3	15Y	—	—		フロント運転中または定検停止中 2030年にて初回点検を計画	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	緊急時対策所空気浄化ファンB	機能・性能試験	G3	1Y	○	2019年	164 可搬型換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中
		分解点検		15Y	—	—	—	ファン運転中または定検停止中 2028年にて初回点検を計画
	緊急時対策所空気浄化ファンB電動機	分解点検	G3	15Y	—	—	—	ファン運転中または定検停止中 2030年にて初回点検を計画
		機能・性能試験		1Y	○	2019年	164 可搬型換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中
	緊急時対策所空気浄化ファンC	機能・性能試験	G3	15Y	—	—	—	ファン運転中または定検停止中 2028年にて初回点検を計画
		分解点検		15Y	—	—	—	ファン運転中または定検停止中 2030年にて初回点検を計画
	緊急時対策所空気浄化ファンC電動機	分解点検	G3	15Y	—	—	—	ファン運転中または定検停止中 2030年にて初回点検を計画
		機能・性能試験(よう素除去効 率)		1Y	○	2019年	164 可搬型換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中
	緊急時対策所空気浄化ファンユニットA	機能・性能試験(漏えい率)	G3	1Y	○	2019年	164 可搬型換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中
		機能・性能試験		30Y	—	—	—	ファン運転中または定検停止中 2043年にて初回点検を計画
	緊急時対策所空気浄化ファンユニットB	開放点検	G3	30Y	—	—	—	ファン運転中または定検停止中 2043年にて初回点検を計画
		機能・性能試験(よう素除去効 率)		1Y	○	2019年	164 可搬型換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中
	緊急時対策所空気浄化ファンユニットB	機能・性能試験(漏えい率)	G3	1Y	○	2019年	164 可搬型換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中
		機能・性能試験		30Y	—	—	—	ファン運転中または定検停止中 2043年にて初回点検を計画
緊急時対策所空気浄化ファンユニットB	開放点検	G3	30Y	—	—	—	ファン運転中または定検停止中 2043年にて初回点検を計画	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕	
原子炉格納施設 〔圧力低減設備その他の安全設備〕	緊急時対策所空気浄化フィルタユニットC	機能・性能試験(よう素除去効率)	G3	1Y	○	2019年	164 可搬型換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中	
		機能・性能試験(漏えい率)		1Y	○	2019年	164 可搬型換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中	
		機能・性能試験		30Y	—	—	164 可搬型換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中 2043年にて初回点検を計画	
	緊急時対策所空気浄化フィルタユニット電気加熱ユニット一式	開放点検			30Y	—	—		プラント運転中または定検停止中 2043年にて初回点検を計画
		内部・外部点検		G3	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中
		作動確認		G3	12Y	—	—		プラント運転中または定検停止中 2025年にて初回点検を計画
	タンバ(防火タンク)一式	外観点検		G3	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中
		分解点検 他		G3	12M~117M	○	2019年	85 1次系安全弁検査	プラント運転中または定検停止中 有効性評価 No.30,34の反映
		機能・性能試験		G3	1C	○	14回	48 原子炉格納容器安全系機能検査 147 その他原子炉注水系機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
	代替格納容器スプレッドポンプ3号	分解点検			130M	—	—	49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 145 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	23回にて初回点検を計画
		分解点検		G3	130M	—	—		(振動診断:1M) 19回にて初回点検を計画
		機能・性能試験		G3	3C	○	—	51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
	代替格納容器スプレッドポンプ3号電動機	静的触媒式水素再結合装置3A		G3	3C	○	—	51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
		静的触媒式水素再結合装置3B		G3	3C	○	—	51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
		静的触媒式水素再結合装置3C		G3	3C	○	—	51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
代替格納容器スプレッドポンプ3号電動機	静的触媒式水素再結合装置3D		G3	3C	○	—	51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕	
原子炉格納施設 [その他設備]	静的触媒式水素再結合装置3E	機能・性能試験	G3	3C	○	—	51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	〔()内は適用する設備診断技術〕	
	静的触媒式水素再結合装置作動温度計測装置一式	特性試験	G3	13M	○	14回	72 計測制御系監視機能検査		
	イグナイタ 13台	機能・性能試験	G3	1C	○	14回	51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査		
	イグナイタ作動温度計測装置一式	特性試験	G3	13M	○	14回	72 計測制御系監視機能検査		
	格納容器再循環系クント開放機構一式	作動確認	G3	10C	—	14回			
	原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] 弁一式	分解点検 他	G3	13M~156M	○	14回			
	泡混合器一式	外観点検	G3	1Y	○	2019年			
	水成膜泡消火薬剤(泡コンテナ、希釈率1%)一式	外観点検	G4	1Y	○	2019年			
	重大事故等クラス2機器(供用期間中検査対象)一式	非破壊試験	G3	10YP	○	14回	144 重大事故等クラス2機器供用期間中検査		重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(別紙-7)
		漏えい試験		1C,10YP	○	14回			
	重大事故等クラス3機器(供用期間中検査対象)一式	漏えい試験	G3	10Y	○	2018年	168 重大事故等クラス3機器供用期間中検査		重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画(別紙-8)
		機能・性能試験	G3	1C	○	14回	158 その他非常用発電装置の機能検査 160 その他非常用発電装置の付属設備検査		
	その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備) [非常用発電装置]	分解点検		52M	—	—	157 その他非常用発電装置の分解検査		16回にて初回点検を計画
潤滑油入替			26M	—	14回				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	空冷式非常用発電装置4号	機能・性能試験	G3	1C	○	14回	158 その他非常用発電装置の機能検査 160 その他非常用発電装置の付属設備検査	17回にて初回点検を計画
		分解点検		52M	—	—	157 その他非常用発電装置の分解検査	
		潤滑油入替		26M	○	—		
	No.1 300kVA電源車	機能・性能試験	G3	1Y	○	2019年	163 可搬型代替電源設備検査	プラント運転中または定検停止中
	No.2 300kVA電源車	機能・性能試験	G3	1Y	○	2019年	163 可搬型代替電源設備検査	プラント運転中または定検停止中
	No.3 300kVA電源車	機能・性能試験	G3	1Y	○	2019年	163 可搬型代替電源設備検査	プラント運転中または定検停止中
	No.1 75kVA電源車	機能・性能試験	G3	1Y	○	2019年	163 可搬型代替電源設備検査	プラント運転中または定検停止中
	No.2 75kVA電源車	機能・性能試験	G3	1Y	○	2019年	163 可搬型代替電源設備検査	プラント運転中または定検停止中
	No.3 75kVA電源車	機能・性能試験	G3	1Y	○	2019年	163 可搬型代替電源設備検査	プラント運転中または定検停止中
	300kVA電源車用変圧器3A	内部・外部点検	G3	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中
	300kVA電源車用変圧器3B	内部・外部点検	G3	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中
	300kVA電源車用変圧器3C	内部・外部点検	G3	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	300kVA電源車中継端子盤A-1	内部・外部点検	G3	1C	○	14回		
	300kVA電源車中継端子盤A-2	内部・外部点検	G3	1C	○	14回		
	300kVA電源車中継端子盤B-1	内部・外部点検	G3	1C	○	14回		
	300kVA電源車中継端子盤B-2	内部・外部点検	G3	1C	○	14回		
	300kVA電源車用電源接続ユニット1	コントロールセクタ点検	G3	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中
	300kVA電源車用電源接続ユニット2	コントロールセクタ点検	G3	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中
	300kVA電源車用電源接続ユニット3	コントロールセクタ点検	G3	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中
	300kVA電源車用電源接続ユニット4	コントロールセクタ点検	G3	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中
	緊急時対策所用発電機	機能・性能試験	G3	1Y	○	2019年	163 可搬型代替電源設備検査	プラント運転中または定検停止中
	軽油タンク3号	開放点検	G3	156M	—	—	124 2次系容器検査	25回にて初回点検を計画
	ミニローリー(ミニローリー車載送油用 19.5mまたは、20mホースを含む)	機能点検	G3	0.25Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中
	その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備)[非常用発電装置]燃料補給用ホース等 一式	外観点検	G3	1Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中
	その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備)[非常用発電装置]弁 一式	分解点検	G3	156M	—	—		25回にて初回点検を計画

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備) 〔その他の電源設備〕	代替動力変圧器3号	内部・外部点検	G3	4C	—	14回		
	代替電気設備受電盤3号	遮断器点検	G3	52M	—	14回		
	代替計装用変圧器3号	内部・外部点検	G3	1C	○	14回		
	代替計装用分電盤3号	内部・外部点検	G3	1C	○	14回		
	蓄圧タンク3B出口弁代替操作盤	内部・外部点検	G3	1C	○	14回		
	蓄圧タンク3A,3C出口弁代替操作盤	内部・外部点検	G3	1C	○	14回		
	緊急時対策所用発電機中継端子盤A	内部・外部点検	G3	1C	○	14回		
	緊急時対策所コントローラセンタ	コントローラセンタ点検	G3	4C	—	—		16回にて初回点検を計画
	緊急時対策所100V分電盤(1)	内部・外部点検	G3	1C	○	14回		
	緊急時対策所100V分電盤(2)	内部・外部点検	G3	1C	○	14回		
	緊急時対策所100V分電盤(3)	内部・外部点検	G3	1C	○	14回		
	緊急時対策所100V分電盤(4)	内部・外部点検	G3	1C	○	14回		
	緊急時対策所100V分電盤(5)	内部・外部点検	G3	1C	○	14回		
	緊急時対策所100V分電盤(6)	内部・外部点検	G3	1C	○	14回		
緊急時対策所空調用分電盤	内部・外部点検	G3	1C	○	14回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕	
その他発電用原子炉の附属施設(浸水防護施設) 〔内務浸水防護設備〕	可搬型整流器3A	外観点検	G3	1Y	○	2019年		フロント運転中または定検停止中	
	可搬型整流器3B	外観点検	G3	1Y	○	2019年		フロント運転中または定検停止中	
	可搬型整流器3C	外観点検	G3	1Y	○	2019年		フロント運転中または定検停止中	
	可搬型直流電源装置中継端子盤3号	内部・外部点検	G3	1C	○	14回			
	可搬型直流電源装置切換盤3号	内部・外部点検	G3	1C	○	14回			
	蓄電池切換盤3A	内部・外部点検	G3	1C	○	14回			
	蓄電池切換盤3B	内部・外部点検	G3	1C	○	14回			
	蓄電池(重大事故等対処用)	機能・性能試験	G3	1C	○	14回	53-3 直流電源系機能検査 159 直流電源系作動検査		
	その他発電用原子炉の附属施設〔その他の電源装置〕 その他機器 一式	2組(60個/組)	蓄電池点検		13M	○	14回		
	その他発電用原子炉の附属施設(浸水防護施設) 〔内務浸水防護設備〕	その他発電用原子炉の附属施設〔その他の電源装置〕 その他機器 一式	機能・性能試験 他	G3,G4	12M~ 13M	○	2019年	163 可搬型代替電源設備検査	フロント運転中または定検停止中
その他発電用原子炉の附属施設(緊急時対策所)	余熱除去冷却器室漏えい防止堰3A,3B	外観点検	G3	1C	○	14回			
	格納容器スライダ冷却器室漏えい防止堰3A,3B	外観点検	G3	1C	○	14回			
	酸素濃度計(緊急時対策所用) (予備含む)	2台	G3	1Y	○	2019年		フロント運転中または定検停止中	
二酸化炭素濃度計(緊急時対策所用) (予備含む)	2台	単体調整試験	G3	1Y	○	2019年		フロント運転中または定検停止中	

機器又はシステム名 全般機器	実施数(機器名) ホーローローダ 一式	点検及び試験の項目 機能・性能試験	保全の 重要度 G3	保全方式 又は頻度 1Y	今回の実 施計画 ○	前回実施 時期(定検 回数) 2018年	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕 プラント運転中または定検停止中
-------------------	------------------------	----------------------	------------------	--------------------	------------------	-------------------------------	-----	--

3. 点検計画(1,2,3号機共用設備)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保金の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [その他設備] [その他の弁一式]	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [その他設備] [その他の弁一式]	分解点検	G3	3Y	-	2015年		プラント運転中
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [その他設備]	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [その他設備]	目視点検	G4	5Y	○	2015年		プラント運転中
放射性廃棄物の廃棄施設 [気体,液体又は固体廃棄物貯蔵設備]	固体廃棄物貯蔵庫 (1,2,3号機共用)	外観点検 他	低	1Y~5Y	○	2018年		プラント運転中または定検停止中
放射性廃棄物の廃棄施設 [気体,液体又は固体廃棄物処理設備]	蒸気発生器保管庫 (1,2,3号機共用)	外観点検 他	低	1Y~5Y	○	2018年		プラント運転中または定検停止中
放射性廃棄物の廃棄施設 [気体,液体又は固体廃棄物処理設備]	雑固体焼却設備	機能・性能試験	G4	5Y	○	2017年	66 固体廃棄物処理系統焼却炉機能検査	プラント運転中または定検停止中
放射性廃棄物の廃棄施設 [気体,液体又は固体廃棄物処理設備]	放射性廃棄物の廃棄施設 [気体,液体又は固体廃棄物処理設備] [その他弁一式]	分解点検 他	G4	4Y~16Y	-	2019年		プラント運転中または定検停止中
放射性廃棄物の廃棄施設 [気体,液体又は固体廃棄物処理設備]	放射性廃棄物の廃棄施設 [気体,液体又は固体廃棄物処理設備] [その他機器一式]	分解点検 他	G3~G5, 低	1Y~12Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中 一部(CBMあり) 一部(BDMあり) 一部点検実施 有効性評価 No.19の反映
放射線管理施設 [放射線管理用計測装置]	1.エリアモニタ 2.プロセスモニタ	特性試験	G3	13M	○	14回	76 放射線監視装置機能検査	プラント運転中または定検停止中
	モニタリングステーション	1台 特性試験	G4	2Y	○	2019年	62 野外モニタ機能検査	プラント運転中または定検停止中
	モニタリングポスト	4台 特性試験	G4	2Y	○	2019年	62 野外モニタ機能検査	プラント運転中または定検停止中
	移動式モニタリング設備	2台 特性試験	G4	2Y	○	2019年	62 野外モニタ機能検査	プラント運転中または定検停止中
	放射線管理施設 [放射線管理用計測装置] [その他機器一式]	単体調整試験 他	G3	1Y~5Y	○	2019年		プラント運転中または定検停止中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
放射線管理施設 [換気設備]	前処理室排気ファン	機能・性能試験	G4	15Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中 (振動診断:1M) 有効性評価 No.11,40の反映
		分解点検		CBM	2002年			
	前処理室排気ファン電動機	機能・性能試験	G4	8Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中 (振動診断:1M) 有効性評価 No.11の反映
		分解点検		8Y	2015年			
	廃却戸建家給気ファンA	機能・性能試験	G4	15Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中 (振動診断:1M) 有効性評価 No.11の反映
		分解点検		CBM	2002年			
	廃却戸建家給気ファンA電動機	機能・性能試験	G4	8Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中 (振動診断:1M) 有効性評価 No.11の反映
		分解点検		8Y	2015年			
	廃却戸建家給気ファンB	機能・性能試験	G4	15Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中 (振動診断:1M) 有効性評価 No.11の反映
		分解点検		CBM	2002年			
	廃却戸建家給気ファンB電動機	機能・性能試験	G4	8Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中 (振動診断:1M) 有効性評価 No.11の反映
		分解点検		8Y	2015年			
	廃却戸建家排気ファンA	機能・性能試験	G4	15Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中 (振動診断:1M) 有効性評価 No.11の反映
		分解点検		CBM	2002年			
	廃却戸建家排気ファンA電動機	機能・性能試験	G4	8Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中 (振動診断:1M) 有効性評価 No.11の反映
		分解点検		CBM	2002年			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	焼却炉建家排気ファンB	機能・性能試験	G4	15Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中 (振動診断:1M) 有効性評価 No.11の反映
		分解点検		CBM	—	2002年		
	焼却炉建家排気ファンB電動機	機能・性能試験	G4	B	—	2010年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M) 有効性評価 No.11の反映
		分解点検		CBM	—	2010年		
	焼却炉建家排気ファンC	機能・性能試験	G4	15Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中 (振動診断:1M) 有効性評価 No.11の反映
		分解点検		CBM	—	2002年		
	焼却炉建家排気ファンC電動機	機能・性能試験	G4	B	—	2010年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M) 有効性評価 No.11の反映
		分解点検		CBM	—	2010年		
	高圧圧縮機給気ファンA	機能・性能試験	G4	15Y	—	—	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中 2024年にて初回点検を計画
		分解点検		CBM	—	—		
	高圧圧縮機給気ファンA電動機	機能・性能試験	G4	6Y	—	2018年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中 (振動診断:1M) 有効性評価 No.11の反映
		分解点検		6Y	—	2018年		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	高圧圧縮機排気ファンB	機能・性能試験	C4	15Y	—	—	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中 2024年にて初回点検を計画
		分解点検		CBM	—	—		
	高圧圧縮機排気ファンB電動機	機能・性能試験	C4	6Y	—	2018年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中 (振動診断:1M) 有効性評価 No.11の反映
		分解点検		6Y	—	2018年		
	高圧圧縮機排気ファンA	機能・性能試験	C4	15Y	—	—	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中 2024年にて初回点検を計画
		分解点検		CBM	—	—		
	高圧圧縮機排気ファンA電動機	機能・性能試験	C4	6Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中 (振動診断:1M) 有効性評価 No.11の反映
		分解点検		6Y	—	2015年		
	高圧圧縮機排気ファンB	機能・性能試験	C4	15Y	—	—	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中 2024年にて初回点検を計画
		分解点検		CBM	—	—		
	高圧圧縮機排気ファンB電動機	機能・性能試験	C4	6Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中 (振動診断:1M) 有効性評価 No.11の反映
		分解点検		6Y	—	2015年		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	前処理室排気ファンユニット	機能・性能試験	G4	15Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中
	焼却炉建家排気ファンユニットA	機能・性能試験	G4	15Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中
	焼却炉建家排気ファンユニットB	機能・性能試験	G4	15Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中
	高圧圧縮機排気ファンユニット	機能・性能試験	G4	15Y	—	—	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中 2024年にて初回点検を計画
その他発電用原子炉の附属施設 〔電気設備〕	ファン(クランホ・ブレーク, 防火タンク, 手動ファンを含む) 一式	機能・性能点検 他	G4	4Y~15Y	—	2019年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中
	変圧器設備 一式	開放点検 他	G3	36M~182M	—	14回		ファン運転中または定検停止中
	しゃ断器 一式	しゃ断器点検 他	G3	6Y	—	2019年		ファン運転中または定検停止中
	その他発電用原子炉の附属施設〔電気設備〕 その他機器 一式	内部・外部点検 他	G3	6Y	—	2019年		ファン運転中または定検停止中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
その他発電用原子炉の附属施設(火災防護設備) [消火設備]	ディーゼル駆動消火ポンプ/ディーゼルエンジン	機能・性能試験	G3	1Y	○	2019年	フロント運転中または定検停止中 (振動診断:1M,潤滑油診断:1Y)	
		分解点検		10Y	—	2013年		
		部分点検		1Y	○	2019年		
	ディーゼル駆動消火ポンプ	機能・性能試験	G3	1Y	○	2019年	フロント運転中または定検停止中 (振動診断:1M)	
		分解点検		6Y	—	2018年		
	電動消火ポンプ	機能・性能試験	G4	1Y	○	2019年	フロント運転中または定検停止中	
		分解点検		6Y	—	2016年		
	電動消火ポンプ/電動機	機能・性能試験	G4	1Y	○	2019年	フロント運転中または定検停止中	
		取替		G3	CBM ※1	—		
	消火系統機器(AM機能範囲)一式							

4.行政指導文書の点検指示による点検

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
原子炉本体 [炉心]	再使用予定の燃料集合体	外観点検(最下部支持格子内の隙間確認) ※一式	G3	IC	○	14回		平成22・02・03原院第3号(NISA-161a-10-1) ※漏えい事象に係る知見を踏まえ選定

クラス1 機器供用期間中検査10年計画

1. 原子炉容器 (1/2)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)								備考
								第1検査時期		第2検査時期			第3検査時期			
								8回	9回	10回	11回	12回	13回 ※3	14回 ※3	15回 ※4	
B2.111	B-B	上部胴と下部胴との周溶接継手 下部胴とトランジションリングとの周溶接継手	体積	5%	1シーム	UT (内面)	5%	-	-	-	5%	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
B3.105	B-C	トランジションリングと下部筒板との周溶接継手	体積	5%	1シーム	UT (内面)	5%	-	-	-	5%	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
B3.106	B-C	上部胴と上部胴フランジとの周溶接継手	体積	100%	1シーム	UT (内面)	100%	-	-	-	100%	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
B3.10	B-D	上部筒板と上部蓋フランジとの周溶接継手 冷却材入口管台と胴との溶接継手 冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積	100%	3箇所	UT (内面)	100%	-	-	-	<15%>	-	-	-	第14回迄検にて、継手溶接線が無い一併構造の上部ふたに取替を其施 (重大事故等クラス2機器)	
B3.20	B-D	冷却材入口管台内面の丸みの部分 冷却材出口管台内面の丸みの部分	体積	100%	3箇所	UT (内面)	100%	-	-	-	3箇所	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
B5.10	B-F	冷却材入口管台とセーフエントとの溶接継手	体積及び表面 (※2)	100% (※2)	3箇所	PT (外面) UT (外面)	100%	C	-	B	-	-	-	A	(重大事故等クラス2機器)	
			体積及び表面 (※2)	100% (※2)	3箇所	UT (内面)	100%	C	-	A, B, C	-	-	-	A	300系NI基合金使用部位であるが、第14回定期検査において検出限界のき裂を特定したうえで低力腐食割れ防止の有効性が実証された対策 (ECT+HIP) を施したため、検査間隔は維持規格に準じ10年とする。なお、UTは内面と外面のどちらでもよい。 (重大事故等クラス2機器)	
			体積及び表面 (※2)	100% (※2)	3箇所	PT (外面) UT (外面)	100%	B	A	-	-	-	-	C	(重大事故等クラス2機器)	
			体積及び表面 (※2)	100% (※2)	3箇所	UT (内面)	100%	B	A, B, C	-	-	-	-	C	300系NI基合金使用部位であるが、第14回定期検査において検出限界のき裂を特定したうえで低力腐食割れ防止の有効性が実証された対策 (ECT+HIP) を施したため、検査間隔は維持規格に準じ10年とする。なお、UTは内面と外面のどちらでもよい。 (重大事故等クラス2機器)	

(注) 項目番号B1.101, B1.102, B1.103, B-A/B2.112, B2.121, B2.122, B-B/B5.20, B5.30, B-Fについては該当なし。

※1 12回以前はJSME S NAI-2002を適用。

※2 15回はNRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(原規技発第1408063号(平成26年8月6日 原子力規制委員会決定) 最終改正: 原規技発第1906051号(令和元年6月5日 原子力規制委員会決定))に従う。

※3 13回以前は、NISA文書「発電用原子力設備における破損を引き起こすき裂その他の欠陥の解釈について(内規)」(平成21年12月25日付け平成21-11-18原院第1号)に従う。

※4 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※4 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

(注) < >は旧設備の検査実績を示す。

1. 原子炉容器 (2/2)

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008※1		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)												備考									
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期			第2検査時期				第3検査時期								
								8回	9回	10回	11回	12回	13回		14回	15回							
B6.10		上蓋用ナット	VT-1	100%	58個	VT-1	100%	-	16個	8個	8個	-	8回		9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	9個	(重大事故等クラス2機器)
B6.30	B-G-1	スタッドボルト	体積	100%	58本	UT	100%		16本	8本	8本							8本	9本	9本	9本	(重大事故等クラス2機器)	
B6.40		胴フランジネジ穴のネジ部	体積	100%	58箇所	UT	100%		14箇所	15箇所	15箇所							14箇所	15箇所	15箇所	15箇所	(重大事故等クラス2機器)	
B6.50		上蓋用ワッシャ	VT-1	100%	58個	VT-1	100%		16個	8個	8個							8個	9個	9個	9個	(重大事故等クラス2機器)	
B7.10	B-G-2	T/Cハウジングの下部クランプ用ボルト、ナット	VT-1	25%	3組	VT-1	25% (1組)													※4	※4	(重大事故等クラス2機器)	
B14.10	B-0	制御棒駆動ハウジング溶接継手	体積又は表面	最外周の25%	65箇所	PT	最外周の25% (6箇所)		<2箇所> <# 60, 62>									<1箇所> <# 64>	<1箇所> <# 46>				第14回定検 原子炉容器上蓋取替工事に伴う検査 最外周：24箇所 (重大事故等クラス2機器)
		制御棒駆動ハウジング上部の溶接継手	体積又は表面	最外周の25%	52箇所	PT	最外周の25% (4箇所)													※4	※4	最外周：16箇所 (重大事故等クラス2機器)	
		制御棒駆動ハウジング下部の溶接継手	体積又は表面	最外周の25%	55箇所	PT	最外周の25% (5箇所)													※4	※4	最外周：19箇所 (重大事故等クラス2機器)	
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	25%	6箇所	VT-3	25% (2箇所)		B出口	A出口												(重大事故等クラス2機器)	
G1.10	G-P-1	原子炉容器の内部	VT-3	7.5%	1基	VT-3 (水中TV)	100% (可能範囲)		33 1/3%	33 1/3%								33 1/3%				(重大事故等クラス2機器)	
		原子炉容器の内部取付け物	VT-3	7.5%	1基	VT-3 (水中TV)	100% (可能範囲)												100%				(重大事故等クラス2機器)
G1.40	G-P-1	上部炉心支持構造物	VT-3	7.5%	1基	VT-3 (水中TV)	100% (可能範囲)																(重大事故等クラス2機器)
		下部炉心支持構造物	VT-3	7.5%	1基	VT-3 (水中TV)	100% (可能範囲)												100%				(重大事故等クラス2機器)

(注) 項目番号B6.20 B-G-1/B8.10 B-IIについては該当なし。

※1 12回以前はJSME S NA1-2002を適用。

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※3 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

※4 第14回定検 原子炉容器上蓋取替工事に追加されたため、維持規格IA-2320(6)の規定により、次検査間隔から検査を実施

(注) < >は旧設備の検査実績を示す。

2. 加圧器 (1/2)

適用規格: 維持規格 JSME S NA1-2008※1		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)												備考							
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期			第2検査時期				第3検査時期						
								8回	9回	10回	11回	12回	13回 ※2		14回 ※2	15回 ※3					
B2.11		上部鏡板と上部胴との周溶接継手	体積	5%	1シーム	UT	5%												(重大事故等クラス2機器)		
		下部胴と下部鏡板との周溶接継手	体積	5%	1シーム	UT	5%													(重大事故等クラス2機器)	
B2.12	B-B	上部胴の長手溶接継手	体積	10%	2シーム	UT	10%													(重大事故等クラス2機器)	
		下部胴の長手溶接継手	体積	10%	2シーム	UT	10%			1シーム 10%										(重大事故等クラス2機器)	
B2.13		上部胴と下部胴との周溶接継手	体積	5%	1シーム	UT	5%													(重大事故等クラス2機器)	
B3.30		管台と容器との溶接継手	体積	管台数の25%	1箇所	UT	管台数の25% (2箇所)													(重大事故等クラス2機器)	
		サージライン用管台																			(重大事故等クラス2機器)
		スプレイライン用管台																			(重大事故等クラス2機器)
		逃がし弁用管台																			(重大事故等クラス2機器)
B3.40	B-D	安全弁用管台			3箇所															(重大事故等クラス2機器)	
		サージライン用管台																			(重大事故等クラス2機器)
		スプレイライン用管台																			(重大事故等クラス2機器)
		逃がし弁用管台																			(重大事故等クラス2機器)

※1 12回以前はJSME S NA1-2002を適用。
 ※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用
 ※3 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

2. 加圧器 (2/2)

適用規格：維持規格 JSME S N A 1 - 2 0 0 8 ※ 1		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)												備考									
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期			第2検査時期				第3検査時期								
								8回	9回	10回	11回	12回	13回 ※3		14回 ※3	15回 ※4							
B5.40	B-F	管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面の25% (※2)	管台数の25% (※2)	1箇所	UT PT	管台数の25% (2箇所)																
		サージライン用管台			1箇所																		
		スプレイライン用管台			1箇所																		
		逃がし弁用管台			1箇所																		
B7.20	B-G-2	マンホールの取付けボルト	VT-1	25%	16本	VT-1	25% (4本)				1本								2本	(重大事故等クラス2機器)			
B8.20	B-H	支持スカーター溶接継手	表面	7.5%	1シーム	PT	7.5%													7.5%	(重大事故等クラス2機器)		
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	25%	1箇所	VT-3	25% (1箇所)														1箇所	(重大事故等クラス2機器)	

(注) 項目番号B5.50, B5.60 B-F/B6.60, B6.70, B6.80 B-G-1については該当なし。

※1 12回以前はJSME S N A 1-2002を適用。

※2 14回はNRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(原規技発第1408063号(平成26年8月6日 原子力規制委員会決定))に従う。

※3 13回以前は、NISA文書「発電用原子炉設備における破壊を引き起こすき裂その他の欠陥の解釈について(内規)」(平成21年12月25日付け平成21-11-18原院第1号)に従う。

※4 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※5 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

3. 蒸気発生器

適用規格：維持規格 JSME S NAI-2008※1		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)										備考						
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期				
								8回	9回	10回	11回	12回	13回※4	14回※4	15回※5			
B2.40	B-B	管板と水室鐵板との間溶接継手	体積	代表1基の25%	1ヶ所/基×3基	UT	代表1基の25%	A 5%										(重大事故等クラス2機器)
B3.60	B-D	冷却材出入口管台内の丸みの部分	体積	代表1基の25%	2箇所/基×3基	UT	代表1基の25% (1箇所)										1箇所 (A入口)	(重大事故等クラス2機器)
B5.70	B-F	冷却材出入口管台とセーフエントドとの溶接継手	体積及び表面 (※2)	代表1基の25% (※2,3)	1箇所/基×3基	PT	A											510系N1基各使用部位であるが、第1回定検において検出取除の主要と判定し、よりでば力腐食抑制防止の有効性が確認された対策 (ECT+HSF) を実施したため、第1回定検以降、検査計画を以下のとおりとする。 A号機入口管台を代表箇所とする。 各検査方法における検査期間は、維持規格に準い10年とする。 (重大事故等クラス2機器)
			ECT (内表面) (※2)			[C]												
			体積及び表面 (※2)			[C]	[B]	[A]										
B7.30	B-G-2	冷却材出入口側マンホールの取付けボルト	VT-1	代表1基の25%	16本×2/基×3基	VT-1	代表1基の25% (3本)			A入口 2本							A入口 3本	(重大事故等クラス2機器)
B8.30	B-H	支持部材の容器への取付け溶接継手	表面	代表1基の7.5%	4箇所/基×3基	PT	代表1基の7.5% (1箇所)										B 1箇所	(重大事故等クラス2機器)
FL.41	F-A	支持構造物	VT-3	代表1基の25%	4箇所/基×3基	VT-3	代表1基の25% (1箇所)										B 1箇所	(重大事故等クラス2機器)

(注) 項目番号B3.50 B-D/B5.80, B5.90 B-F/B6.90, B6.100, B6.110 B-G-1/B16.30 B-Qについては該当なし。

《 》は蒸気発生器出入口管台溶接部内表面検査 (「蒸気発生器出入口管台溶接部の内表面の点検実施について」(平成19年11月16日付け平成19-11-13原院第7号)および「定期事業者検査における超音波探傷試験の代替措置計画策定について(指示)」(平成20年9月5日付け平成20-02-05原院第5号)に基づき実施) における検査実績を示す。

項目番号B16.20 B-Q 「伝熱管」については、統合型保守管理システム (E.A.M) にて管理する。

※1 12回以前は、JSME S NAI-2002を適用。

※2 13回以前は、NISA文書「発電用原子力設備における破綻を引き起こす裂きその他の欠陥の解釈について(内規)」(平成21年12月25日付け平成21-11-18原院第1号)に従う。

※3 第11回定検までの検査範囲は、体積及び表面；代表1基の100%。

※4 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※5 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

[]は定常サンプリング方式の検査箇所としては選定しない。

4. 配管 (1/5)

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008※1		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)															備考				
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期							
								8回	9回	10回	11回	12回	13回※2	14回※2	15回※3						
B7.50	B-G-2	圧力保持用 ボルト、ナット 一次冷却材ポンプ 封水注入ライン	VT-1	25%	6箇所	VT-1	25% (2箇所)	-	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	(重大事故等クラス2機器)			
B9.11	B-J	配管の周 溶接継手（呼び径100A以上）	体積	25%	36箇所	UT	25% (9箇所)	1箇所	2箇所	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	(重大事故等クラス2機器)		
			体積	25%	7箇所	UT	25% (2箇所)	1箇所	2箇所	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	(重大事故等クラス2機器)	
			体積	25%	27箇所	UT	25% (7箇所)	<1箇所>	2箇所	2箇所	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	2箇所	2箇所	(重大事故等クラス2機器)	
			体積	25%	7箇所	UT	25% (2箇所)	<1箇所>	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	(重大事故等クラス2機器)	
			体積	25%	61箇所	UT	25% (16箇所) ※4	<1箇所>	<3箇所>	<2箇所>	<2箇所>	<2箇所>	<2箇所>	<2箇所>	<2箇所>	<2箇所>	<2箇所>	3箇所	3箇所		
			体積	25%	10箇所	UT	25% (3箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	(重大事故等クラス2機器)
			体積	25%	44箇所	UT	25% (11箇所)	1箇所	3箇所	2箇所	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	(重大事故等クラス2機器)
			体積	25%	31箇所	UT	25% (3箇所)	1箇所	2箇所	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	(重大事故等クラス2機器)
		低温側低圧注入ライン	体積	25%	39箇所	UT	25% (10箇所)	2箇所	2箇所	1箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	(重大事故等クラス2機器)		
		高温側高圧注入ライン	体積	25%	16箇所	UT	25% (4箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	(重大事故等クラス2機器)		

(注) 項目番号B5.130, B5.140, B5.150 B-F/B6.150, B6.160, B6.170 B-G-1/B9.12 B-J については該当なし。

※1 12回以前はJSME S NA1-2002を適用。

(注) < >は旧設備の検査実績を示す。

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※3 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

※4 第14回定検1次系配管・弁修繕工事および充てんラインB系統撤去工事にて試験部位が増加したため、維持規格IA-2320(6)cの規定により、追加箇所については次検査間隔から検査を実施する。

4. 配管 (2/5)

適用規格：維持規格 JSME S NAI-2008※1		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考				
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期			第3検査時期			
								8回	9回	10回	11回	12回	13回 ※2	14回 ※2	15回 ※3	
B9.21	B-J	一次冷却材管	表面	25%	2箇所	PT	25% (1箇所) ※4	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
		配管の周溶接継手	表面	25%	12箇所	PT	25% (3箇所)	-	-	1箇所	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
		加圧器補助スプレイライン	表面	25%	18箇所	PT	25% (5箇所) ※4	-	-	1箇所	-	-	-	-	1箇所	
		ドレンライン	表面	25%	30箇所	PT	25% (8箇所) ※4	-	-	<1箇所>	1箇所	1箇所	<1箇所>	1箇所	2箇所	
B9.31	B-J	充てんライン	表面	25%	8箇所	PT	25% (2箇所)	-	-	<1箇所>	-	-	-	<1箇所>	-	第14回定検 1次系配管・弁修繕工事および充てんラインB系統撤去工事にて、充てんラインB系統撤去 (重大事故等クラス2機器)
		一次冷却材ポンプ封水注入ライン	表面	25%	14箇所	PT	25% (4箇所)	-	-	1箇所	-	-	-	1箇所	-	
B9.32	B-J	高圧側高圧注入ライン	表面	25%	12箇所	PT	25% (3箇所)	-	-	1箇所	1箇所	-	-	1箇所	-	(重大事故等クラス2機器)
		低圧側高圧注入ライン	表面	25%	54箇所	PT	25% (14箇所)	-	-	1箇所	1箇所	2箇所	2箇所	1箇所	3箇所	1箇所
B9.40	B-J	母管と管台の溶接継手 (呼び径100A以上)	体積	25%	14箇所	UT	25% (4箇所)	-	-	1箇所	-	-	-	1箇所	-	(重大事故等クラス2機器)
		一次冷却材管	表面	25%	8箇所	PT	25% (2箇所)	-	-	1箇所	1箇所	-	-	1箇所	-	(重大事故等クラス2機器)
B9.40	B-J	母管と管台の溶接継手 (呼び径100A未満)	表面	25%	2箇所	PT	25% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
		加圧器補助スプレイライン	表面	25%	4箇所	PT	25% (1箇所)	-	-	<1箇所>	-	-	-	-	-	第14回定検 1次系配管・弁修繕工事および充てんラインB系統撤去工事にて、一部を突き合わせ溶接継手に変更
B9.40	B-J	溶ソノケ接継手	表面	25%	4箇所	PT	25% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	<1箇所>	-	第14回定検 1次系配管・弁修繕工事および充てんラインB系統撤去工事にて、一部を突き合わせ溶接継手に変更
		ドレンライン	表面	25%	4箇所	PT	25% (1箇所)	-	-	<1箇所>	-	-	-	<1箇所>	-	第14回定検 1次系配管・弁修繕工事および充てんラインB系統撤去工事にて、一部を突き合わせ溶接継手に変更

(注) 項目番号B9.22 B-Jについては該当なし。

※1 12回以前はJSME S NAI-2002を適用。

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※3 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

[]は定点サンプリング方式の検査箇所としては選定しない。

※4 第14回定検 1次系配管・弁修繕工事および充てんラインB系統撤去工事にて試験部位が増加したため、維持規格IA-2320(6)bの規定により、追加箇所については次検査間隔から検査を実施する。

(注) < >は旧設備の検査実績を示す。

4. 配管 (3/5)

適用規格: 維持規格 JSME S NAI-2008※1		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)															備考		
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期					
								8回	9回	10回	11回	12回	13回 ※2	14回 ※2	15回 ※3				
B9.40	B-J	ソケット	表面	25%	51箇所	PT	25% (13箇所)	-	1箇所	2箇所	2箇所	2箇所	-	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	(重大事故等クラス2機器)
		溶接継手	表面	25%	16箇所	PT	25% (4箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	(重大事故等クラス2機器)
		低圧側高圧注入ライン	表面	25%	18箇所	PT	25% (5箇所)	1箇所	1箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	(重大事故等クラス2機器)
F1.10	F-A	加圧器サージライン	VT-3	25%	MS 7 SH 2 9箇所	VT-3	25% (3箇所)	<1箇所>	<1箇所>	<1箇所>	<1箇所>	<1箇所>	<1箇所>	<1箇所>	<1箇所>	<1箇所>	<1箇所>	<1箇所>	(重大事故等クラス2機器)
		加圧器逃がしライン	VT-3	25%	MS 8 SH 2 10箇所	VT-3	25% (3箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	(重大事故等クラス2機器)
		加圧器スプレイレイン	VT-3	25%	MS 27 RH 43 SH 7 77箇所	VT-3	25% (20箇所)	1箇所 <1箇所>	2箇所 <1箇所>	2箇所 <1箇所>	2箇所 <1箇所>	2箇所 <1箇所>	2箇所 <1箇所>	2箇所 <1箇所>	2箇所 <1箇所>	2箇所 <1箇所>	2箇所 <1箇所>	2箇所 <1箇所>	(重大事故等クラス2機器)
		加圧器補助スプレイレイン	VT-3	25%	AN 1 HS 2 MS 9 RH 3 SH 2 17箇所	VT-3	25% (5箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	(重大事故等クラス2機器)

(注) 項目番号B9.110, B9.120, B9.130 B-J/B10.20 B-Kについては該当なし。

※1 12回以前はJSME S NAI-2002を適用。

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※3 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

(注) < >は旧設備の検査実績を示す。

4. 配管 (4/5)

項目番号		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)										備考			
カテゴリー		適用規格: 維持規格 JSME S NA1-2008※1		第1検査時期		第2検査時期		第3検査時期							
検査対象箇所		検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	8回	9回	10回	11回	12回	13回 ※2	14回 ※2	15回 ※3	
F.1.10	F-A	ドレンライン	VT-3	25%	MS 6 RH 16 SH 1 23箇所	VT-3	25% (6箇所)	<1箇所>							
		支													
		持													
		構造													
		充てんライン	VT-3	25%	MS 2 RH 4 6箇所	VT-3	25% (2箇所)	<1箇所>			1箇所				
		一次冷却材ポンプ 封水注入ライン	VT-3	25%	MS 3 RH 25 28箇所	VT-3	25% (7箇所)	1箇所					1箇所		
		余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3	25%	MS 2 2箇所	VT-3	25% (1箇所)					1箇所			
		蓄圧注入ライン	VT-3	25%	MS 14 RH 18 SH 3 35箇所	VT-3	25% (9箇所)	1箇所				1箇所		1箇所	
														1箇所	

※1 12回以前はJSME S NA1-2002を適用。
 ※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用
 ※3 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用
 (注) < >は旧設備の検査実績を示す。

4. 配管 (5/5)

適用規格: 維持規格 JSME S NAI-2008※1		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)																						
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期			備考							
								8回	9回	10回	11回	12回	13回※2	14回※2	15回※3									
FL 10	F-A	支 持 構 造 物	VT-3	25%	28箇所 AN 1 HS 1 MS 7 RH 16 SH 3	VT-3	25% (7箇所)		1箇所									(重大事故等クラス2機器)						
								2箇所																
											1箇所													
			VT-3	25%	40箇所 AN 1 HS 3 MS 13 RH 21 SH 2	VT-3	25% (10箇所)		1箇所									(重大事故等クラス2機器)						
			VT-3	25%	29箇所 AN 2 MS 3 RH 24	VT-3	25% (8箇所)		1箇所										(重大事故等クラス2機器)					
			VT-3	25%	52箇所 AN 3 MS 12 RH 34 SH 3	VT-3	25% (13箇所)		1箇所										(重大事故等クラス2機器)					
			VT-3	25%		VT-3																		

(注) < >は旧設備の検査実績を示す。

※1 12回以前はJSME S NAI-2002を適用。

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※3 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

5. 一次冷却材ポンプ

伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)																	
項目 番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査 範囲	設備数	検査 方法	検査 範囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期			備 考
								8回	9回	10回	11回	12回	13回 ※2	14回 ※2	15回 ※3		
B6.180		主フランジボルト	体積	代表1台 の25%	24本/台 ×3台	UT	代表1台 の25% (6本)	A 2本									(重大事故等クラス2機器)
B6.190	B-G-1	主フランジ表面 (開放時)	VT-1	代表1台 の25%	3台	VT-1	代表1台 の100%										(重大事故等クラス2機器)
B6.200		主フランジナット及びワッシャ	VT-1	代表1台 の25%	24組/台 ×3台	VT-1	代表1台 の25% (6組)										(重大事故等クラス2機器)
B12.20	B-L-2	ケーシングの内表面	VT-3	代表1台 の100%	3台	VT-3	代表1台 の100%										(重大事故等クラス2機器)
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	代表1台 の25%	3箇所/台 ×3台	VT-3	代表1台 の25% (1箇所)							B 1箇所			(重大事故等クラス2機器)

(注) 項目番号B7.60 B-G-2/B10.30 B-K/B12.10 B-L-1については該当なし。

※1 12回以前はJSME S NAI-2002を適用。

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※3 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	第1検査時期								第2検査時期				第3検査時期			備考			
					設備数	検査方法	検査範囲	8回	9回	10回	11回	12回	13回 ※2	14回 ※2	15回 ※3								
B7.70 B-G-2	圧力保持用ボルト・ナット	加圧器安全弁ライン (3V-RC-055, 056, 057)	VT-1	代表1台の25%	12個/台 × 3台	VT-1	代表1台の100%														型式: 6-W58SB (重大事故等クラス2機器)		
		加圧器速がしライン(1) (3V-RC-054A, 054B)	VT-1	代表1台の25%	10個/台 × 2台	VT-1	代表1台の100%	1台														型式: 3-G65SM (重大事故等クラス2機器)	
		加圧器速がしライン(2) (3PCV-452A, 452B)	VT-1	代表1台の25%	6個/台 × 2台	VT-1	代表1台の100%			1台												型式: 3-LA58R (重大事故等クラス2機器)	
		加圧器スプレイレイン (3PCV-451A, 451B)	VT-1	代表1台の25%	8個/台 × 2台	VT-1	代表1台の100%	<1台>														型式: 4-W58RB	
		加圧器補助7V774 (3V-CS-156)	VT-1	代表1台の25%	6個/台 × 1台	VT-1	代表1台の100%			1台												型式: 2-LA58R	
		ドレンライン (3V-RC-020A, 020B, 020C)	VT-1	代表1台の25%	8個/台 × 3台	VT-1	代表1台の100%	1台															型式: 2-T58B
		抽出ライン(1) (3V-RC-019)	VT-1	代表1台の25%	10個/台 × 1台	VT-1	代表1台の100%				<1台>												型式: 3-G68
		抽出ライン(2) (3LGV-451, 452)	VT-1	代表1台の25%	6個/台 × 2台	VT-1	代表1台の100%						<1台>										型式: 3-LA58RB
		赤てんライン (3V-CS-161, 162, 164, 165)	VT-1	代表1台の25%	10個/台 × 4台	VT-1	代表1台の100%									<1台>							型式: 3-G68 (重大事故等クラス2機器)
		余熱除去ポンプ入口パイ (3PCV-420, 430)	VT-1	代表1台の25%	18個/台 × 2台	VT-1	代表1台の100%	1台															型式: 12-GW65SM (重大事故等クラス2機器)
		蓄圧注入ライン (3V-SI-134A, 134B, 134C, 136A, 136B, 136C)	VT-1	代表1台の25%	16個/台 × 6台	VT-1	代表1台の100%											1台					型式: 12-G587 (重大事故等クラス2機器)
		高圧側低圧注入ライン (3V-RF-053A, 053B, 3V-SI-082A, 082B)	VT-1	代表1台の25%	14個/台 × 4台	VT-1	代表1台の100%										1台						型式: 6-G58 (重大事故等クラス2機器)
		低圧側低圧注入ライン (3V-RH-044A, 044B, 044C, 047A, 047B, 047C)	VT-1	代表1台の25%	14個/台 × 6台	VT-1	代表1台の100%																型式: 6-G58 (重大事故等クラス2機器)
		高圧側高圧注入ライン (3V-SI-082C)	VT-1	代表1台の25%	14個/台 × 1台	VT-1	代表1台の100%											1台					型式: 6-G58 (重大事故等クラス2機器)

(注) 項目番号B6.210, B6.220, B6.230 B-G-1 については該当なし。

※1 12回以前はJSME S NAI-2002を適用。

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※3 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

(注) < >は旧設備の検査実績を示す。

適用規格：維持規格 JSME S NAI-2008※1		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)																	
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期			備考		
								8回	9回	10回	11回	12回	13回 ※2	14回 ※2	15回 ※3				
B12.50	弁本体	加圧器安全弁ライン (3V-RC-055, 056, 057) 余熱除去ポンプ入口ライン (3PCV-420, 430) 蓄圧注入ライン (3V-SI-134A, 134B, 134C, 136A, 136B, 136C) 高温側低圧注入ライン (3V-RH-053A, 053B, 3V-SI-082A, 082B) 低温側低圧注入ライン (3V-RH-044A, 044B, 044C, 047A, 047B, 047C) 高温側高圧注入ライン (3V-SI-082C)	VT-3	同一グループで1台	3台	VT-3	同一グループで1台	-	8回	9回	10回	11回	12回	13回 ※2	14回 ※2	15回 ※3	型式：6-WERSB (重大事故等クラス2機器)		
			VT-3	同一グループで1台	2台	VT-3	同一グループで1台	-	-	-	1台	-	-	-	-	-	-	型式：12-GH65SHF (重大事故等クラス2機器)	
			VT-3	同一グループで1台	6台	VT-3	同一グループで1台	-	-	-	-	1台	-	-	-	-	-	-	型式：12-C5B7 (重大事故等クラス2機器)
			VT-3	同一グループで1台	4台	VT-3	同一グループで1台	-	-	-	-	-	-	-	1台	-	-	-	型式：6-C5B (重大事故等クラス2機器)
			VT-3	同一グループで1台	6台	VT-3	同一グループで1台	-	-	-	-	-	1台	-	-	-	-	-	型式：6-C5B (重大事故等クラス2機器)
			VT-3	同一グループで1台	1台	VT-3	同一グループで1台	-	-	-	-	-	-	1台	-	-	-	-	型式：6-C5B (重大事故等クラス2機器)

(注) 項目番号B10.40 B-K/B12.30, B12.40 B-M-1 については該当なし。

※1 12回以前はJSME S NAI-2002を適用。

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※3 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)																			
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期			備考		
								8回	9回	10回	11回	12回	13回 ※2	14回 ※2	15回 ※3				
F1.41	F-A	加圧器安全弁ライン (3V-RC-055, 056, 057)	VT-3	代表1台の25%	2箇所/台 × 3台	VT-3	代表1台の25% (1箇所)												
		加圧器逃がしライン (1) (3V-RC-054A, 054B)	VT-3	代表1台の25%	2箇所/台 × 2台	VT-3	代表1台の25% (1箇所)	1箇所											
		加圧器逃がしライン (2) (3PCV-452A, 452B)	VT-3	代表1台の25%	2箇所/台 × 2台	VT-3	代表1台の25% (1箇所)												
		加圧器サブレイライン (3PCV-451A, 451B)	VT-3	代表1台の25%	2箇所/台 × 2台	VT-3	代表1台の25% (1箇所)												
		加圧器補助サブレイライン (3V-CS-156)	VT-3	代表1台の25%	2箇所/台 × 1台	VT-3	代表1台の25% (1箇所)												
		抽出ライン (3LCV-451, 452)	VT-3	代表1台の25%	2箇所/台 × 2台	VT-3	代表1台の25% (1箇所)												

※1 12回以前はJISME S NAI-2002を適用。

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※3 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

7. クラス1機器漏えい検査

適用規格： 維持規格 JSME S N A 1 - 2 0 0 8		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備 考						
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期			第3検査時期					
								8回	9回	10回	11回		-	12回	13回 ※1	14回 ※1	15回 ※2	
B15.10	B-P	原子炉容器 圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%	1式	VT-2	漏えい 試験時 100%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(重大事故等クラス2機器)
B15.20	B-P	加圧器 圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%	1式	VT-2	漏えい 試験時 100%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(重大事故等クラス2機器)
B15.30	B-P	蒸気発生器 圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%	1式	VT-2	漏えい 試験時 100%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(重大事故等クラス2機器)
B15.50	B-P	配管 圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%	1式	VT-2	漏えい 試験時 100%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(重大事故等クラス2機器)
B15.60	B-P	一次冷却材ポンプ 圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%	1式	VT-2	漏えい 試験時 100%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(重大事故等クラス2機器)
B15.70	B-P	弁 圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%	1式	VT-2	漏えい 試験時 100%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(重大事故等クラス2機器)

※1 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※2 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

クラス1機器供用期間中検査10年計画(原子炉冷却材圧力バウンダリ範囲の見直しに伴う検査計画)

1. 配管

適用規格: 維持規格 JSME S NA1-2008		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)										備考					
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期			第3検査時期				
								8回	9回	10回	11回		12回	13回 ※2	14回 ※2	15回 ※3	
B9.11	B-J	配管の周溶接継手(呼び径100A以上) 余熱除去ポンプ入口ライン	体積	25%	19箇所	UT	25% ※1				19箇所					(重大事故等クラス2機器)	
B9.21	B-J	配管の周溶接継手(呼び径100A未満) 余熱除去ポンプ入口ライン	表面	25%	6箇所	PT	25% ※1				6箇所					(重大事故等クラス2機器)	
B9.32	B-J	母管と管台との溶接継手(呼び径100A未満) 余熱除去ポンプ入口ライン	表面	25%	4箇所	PT	25% ※1				4箇所					(重大事故等クラス2機器)	
B10.20	B-K	配管の支持部材取付け溶接継手 余熱除去ポンプ入口ライン	表面	7.5%	4箇所	PT	7.5% ※1				4箇所					(重大事故等クラス2機器)	
F1.10	F-A	支持構造物 余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3	25%	27	VT-3	25% ※1	MS								(重大事故等クラス2機器)	
								12	RH								
									12	SH							
					3						3箇所					(重大事故等クラス2機器)	

※1 13回に全数検査実施
 ※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用
 ※3 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

2. 弁

適用規格: 維持規格 JSME S NA1-2008		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)										備考					
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期			第3検査時期				
								8回	9回	10回	11回		12回	13回 ※2	14回 ※2	15回 ※3	
B7.70	B-G-2	圧力保持用ボルト・ネット 余熱除去ポンプ入口ライン (3V-RH-002A, 002B)	VT-1	代表1台の25%	18個/台 ×2台	VT-1	代表1台の100% ※1										型式: 12-GH6SSHH (重大事故等クラス2機器)
B12.50	B-M-2	弁本体内表面 余熱除去ポンプ入口ライン (3V-RH-002A, 002B)	VT-3	同一グループで1台	2台	VT-3	同一グループで1台の25% ※1										型式: 12-GH6SSHH (重大事故等クラス2機器)
F1.41	F-A	支持構造物 余熱除去ポンプ入口ライン (3V-RH-002A, 002B)	VT-3	代表1台の25%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台の25% ※1										(重大事故等クラス2機器)

※1 13回に全数検査実施
 ※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用
 ※3 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

クラス2機器供用期間中検査10年計画

1. 余熱除去冷却器

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考		
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期			第3検査時期	
								13回 特4※1	-	14回	-	15回	16回	17回
C1.10	C-A	胴とフランジとの周溶接継手	体積	1つの 容器の 7.5%	1つ-1/基 ×2基	UT	1つの 容器の 7.5%	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
C1.20								13回 特4※1	14回	15回	16回	17回		
C2.21	C-B	管側出入口管台と管側胴との溶接継手	体積及び表面	管台数の 7.5%	2箇所/基 ×2基	UT PT	管台数 の7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
														(重大事故等クラス2機器)

(注) 項目番号C1.30 C-A/C2.11, C2.22, C2.31, C2.32 C-B/C3.10 C-C/C4.10 C-D/F1.43 F-Aについては該当なし。

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

2. 配管 (1/5)

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考					
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期			
								13回特4※1	-	-	14回		-	-	15回	16回	17回
C3.20	配管の取り付け	余熱除去ポンプ入口ライン	表面	7.5%	4箇所	PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	15回	-	-	17回	(重大事故等クラス2機器)		
		余熱除去冷却器出口ライン	表面	7.5%	17箇所	PT	7.5% (2箇所)	-	1箇所	-	-	-	-	1箇所	(重大事故等クラス2機器)		
		高温側低圧注入ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	1箇所	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)		
		低温側低圧注入ライン	表面	7.5%	3箇所	PT	7.5% (1箇所)	-	1箇所	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)		
		高温側高圧注入ライン	表面	7.5%	4箇所	PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	1箇所	-	(重大事故等クラス2機器)		
		低温側高圧注入ライン	表面	7.5%	4箇所	PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)		
		高圧注入ポンプ出口ライン	表面	7.5%	19箇所	PT	7.5% (2箇所)	-	1箇所	-	-	-	-	-	1箇所	(重大事故等クラス2機器)	
		格納容器再循環サンプ出口ライン	表面	7.5%	4箇所	PT	7.5% (1箇所)	-	1箇所	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
		余熱除去ポンプ入口ライン (1)	体積及び表面	7.5%	4箇所	UT PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	(重大事故等クラス2機器)
		余熱除去ポンプ入口ライン (2)	表面	7.5%	49箇所	PT	7.5% (4箇所)	-	1箇所	-	1箇所	-	-	-	1箇所	(重大事故等クラス2機器)	
C5.11	配管の周溶厚検査	余熱除去冷却器出口ライン	体積及び表面	7.5%	57箇所	UT PT	7.5% (5箇所)	-	2箇所	-	-	-	-	1箇所	(重大事故等クラス2機器)		
		高温側低圧注入ライン	体積及び表面	7.5%	26箇所	UT PT	7.5% (2箇所)	-	1箇所	-	-	-	-	1箇所	(重大事故等クラス2機器)		
		低温側低圧注入ライン	体積及び表面	7.5%	21箇所	UT PT	7.5% (2箇所)	-	-	-	-	-	-	1箇所	(重大事故等クラス2機器)		
		高圧注入ポンプ出口ライン	体積及び表面	7.5%	31箇所	UT PT	7.5% (3箇所)	-	1箇所	-	-	-	-	1箇所	(重大事故等クラス2機器)		
		燃料取替用水タンク出口ライン	表面	7.5%	12箇所	PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	1箇所	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)		
		格納容器再循環サンプ出口ライン	体積及び表面	7.5%	2箇所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	全箇所、格納容器再循環サンプのため検査不可 (重大事故等クラス2機器)	

(注) 項目番号C4.20 C-Dについては該当なし。
※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

2. 配管 (2/5)

適用規格：維持規格 JSME SNA1-2008		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考					
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期			
								-	13回 特4※1	-	-		14回	-	15回	16回	17回
C5.12		配管の長手 溶接継手 (呼び径 100A超、 肉厚 9.5mm超)	表面	7.5% (2箇所)	14箇所	PT	7.5% (2箇所)	1箇所	-	-	-	15回	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
		燃料取扱用水 タンク出口ライン 格納容器再循環 サンプル出口ライン	表面 体積及び 表面	7.5% (1箇所)	10箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
C5.21	C-F	配管の高溶 接継手 (呼び径 50A以上 100A以下、 肉厚 5mm超)	表面	7.5%	58箇所	PT	7.5% (5箇所)	1箇所	-	-	-	2箇所	-	-	-	2箇所	(重大事故等クラス2機器)
		高温側高圧注入 ライン	表面	7.5%	43箇所	PT	7.5% (4箇所)	-	1箇所	-	-	1箇所	-	-	-	1箇所	(重大事故等クラス2機器)
		低温側高圧注入 ライン	表面	7.5%	112箇所	PT	7.5% (9箇所)	2箇所	-	-	-	-	-	-	-	2箇所	(重大事故等クラス2機器)
C5.30		高圧注入ポンプ出 口封水注入ライン	表面	7.5%	19箇所	PT	7.5% (2箇所)	-	1箇所	-	-	1箇所	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
		高温側高圧注入ライン	表面	7.5%	32箇所	PT	7.5% (3箇所)	1箇所	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	(重大事故等クラス2機器)
		低温側高圧注入ライン	表面	7.5%	26箇所	PT	7.5% (2箇所)	-	-	-	1箇所	-	-	-	-	1箇所	(重大事故等クラス2機器)
		高圧注入ポンプ出 口封水注入ライン	表面	7.5%	20箇所	PT	7.5% (2箇所)	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	(重大事故等クラス2機器)

(注) 項目番号C5.22, C5.41, C5.42 C-Fについては該当なし。

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

2. 配管 (3/5)

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)												
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期		第3検査時期		備考
								-	13回 特4※1	-	14回	-	15回	
FL.21	F-A	支 持 構 造 物	余熱除去ポンプ 入口ライン	VT-3	7.5%	HS 4	7.5% (3箇所)	VT-3	-	-	-	-	15回	(重大事故等クラス2機器)
						MS 5								
						RH 25								
						SH 2								
支 持 構 造 物	F-A	余熱除去ポンプ 出口ライン	VT-3	7.5%	HS 3	7.5% (2箇所)	VT-3	-	-	-	-	1箇所	(重大事故等クラス2機器)	
					MS 1									
					RH 10									
					SH 2									
支 持 構 造 物	F-A	余熱除去冷却器 入口ライン	VT-3	7.5%	MS 1	7.5% (1箇所)	VT-3	-	-	-	-	1箇所	(重大事故等クラス2機器)	
					RH 5									
					MS 4									
					RH 2									
支 持 構 造 物	F-A	余熱除去冷却器 バイパスライン	VT-3	7.5%	AN 3	7.5% (1箇所)	VT-3	-	-	-	1箇所	-	(重大事故等クラス2機器)	
					HS 8									
					MS 16									
					RH 58									
支 持 構 造 物	F-A	余熱除去冷却器 出口ライン	VT-3	7.5%	HS 8	7.5% (7箇所)	VT-3	-	-	-	-	1箇所	(重大事故等クラス2機器)	
					MS 16									
					RH 58									
					RH 58									

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

2. 配管 (4/5)

適用規格：維持規格 JSME SNAI-2008		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考				
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期			第3検査時期			
								-	13回 特4※1	-	-		14回	-	15回	16回
F1.21	F-A	高温側低圧注入ライン	VT-3	7.5%	AN 1	VT-3	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
					HS 2			-	-	-	-	-	-			
					MS 3			-	-	-	-	-	-			
					RH 6			-	-	-	-	-	-			
					SH 1			1箇所	-	-	-	-	-			
					13箇所			-	-	-	-	-	-			
		低温側低圧注入ライン	VT-3	7.5%	AN 1	VT-3	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
					HS 3			-	-	-	-	-	-			
					MS 1			-	-	-	-	-	-			
					RH 7			1箇所	-	-	-	-	-			
					12箇所			-	-	-	-	-	-			
					81箇所			-	-	-	-	-	-			
高温側高圧注入ライン	VT-3	7.5%	RH 81	VT-3	7.5% (7箇所)	-	-	-	-	2箇所	-	-	2箇所	(重大事故等クラス2機器)		
			AN 1			-	-	-	-	-	-					
			RH 55			-	-	-	-	-	-	-				
			56箇所			-	-	-	-	-	-					
低温側高圧注入ライン	VT-3	7.5%	AN 9	VT-3	7.5% (5箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)		
			MS 1			-	-	-	-	-	-	-				
			RH 99			-	-	-	-	-	-	-	-			
109箇所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
高圧注入ポンプ 出口ライン	VT-3	7.5%	MS 1	VT-3	7.5% (9箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)		
			RH 99			-	-	-	-	-	-	-	-		-	
26箇所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
高圧注入ポンプ出口 封水注入ライン	VT-3	7.5%	RH 26	VT-3	7.5% (2箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)		
			1箇所			-	-	-	-	-	-	-	-			
1箇所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

2. 配管 (5/5)

伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)																	
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期			備考
								-	13回 特4※1	-	14回	-	15回	16回	17回		
Fl.21	F-A	燃料取替用水タンク 出口ライン 支持構造物	VT-3	7.5%	3箇所	HS 1	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
						RH 2											
						AN 2											
		格納容器再循環サブ 出口ライン	VT-3	7.5%	26箇所	HS 8	7.5% (2箇所)										(当該設備数の内、24箇所についてのみ重大事故等クラス2機器)
		格納容器再循環サブ 出口バイパスライン	VT-3	7.5%	2箇所	RH 16									1箇所		
			VT-3	7.5%	2箇所	RH 2	7.5% (1箇所)										(重大事故等クラス2機器)

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

3. 充てんポンプ

伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)																
適用規格: 維持規格 JSME S N A 1 - 2 0 0 8																
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期			第2検査時期			備考		
								-	13回 特4※1	-	-	14回	-		15回	16回
C3.30	C-C	支持部材取付け溶接継手	表面	7.5% (4箇所)	16箇所/台 ×3台	PT	7.5% (4箇所)	A 1箇所 B 1箇所	-	-	-	15回 A 1箇所	-	16回	17回 C 1箇所	(重大事故等クラス2機器)
C4.30	C-D	ケーシングボルト	体積	代表1台 の7.5%	16本/台 ×3台	UT	代表1台 の7.5% (2本)					A2本				(重大事故等クラス2機器)
C6.10	C-G	ポンプケーシング部の溶接継手	表面	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×3台	PT	代表1台 の7.5% (1箇所)							A 1箇所		(重大事故等クラス2機器)
F1.43	F-A	支持構造物 ポンプ台板脚	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×3台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	A 1箇所								(重大事故等クラス2機器)

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

4. 余熱除去ポンプ

伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)																
適用規格: 維持規格 JSME S N A 1 - 2 0 0 8																
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期			第2検査時期			備考		
								-	13回 特4※1	-	-	14回	-		15回	16回
C6.10	C-G	ポンプケーシング部の溶接継手	表面	代表1台 の7.5%	2箇所/台 ×2台	PT	代表1台 の7.5% (1箇所)	A 1箇所								(重大事故等クラス2機器)
F1.43	F-A	支持構造物 ポンプ台板脚	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)				A 1箇所					(重大事故等クラス2機器)

(注) 項目番号C3.30 C-C/C4.30 C-Dについては該当なし。

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)																			
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期				第2検査時期			第3検査時期		備考		
								-	13回 特4※1	-	-	14回	15回	16回	17回				
F.1.43		高圧注入ポンプ出口 封水注入ラインA (3V-SI-026A) 高圧注入ポンプ出口 封水注入ラインB (3V-SI-026B) 余熱除去冷却器 出口ライン(1) (3HCV-603, 613) 余熱除去冷却器 出口ライン(2) (3V-RH-051A, 051B) 余熱除去冷却器 出口ライン(3) (3V-RH-040A, 040B) 余熱除去冷却器 バイパスライン (3FCV-604, 614) 高温側低圧注入 ライン (3V-RH-052A, 052B) 高圧注入ポンプ 出口ラインA (3V-SI-066A, 067A) 高圧注入ポンプ 出口ラインB (3V-SI-066B, 067B) 高圧注入ポンプ 出口ライン (3V-SI-062A, 062B) 格納容器再循環サンプ 出口ライン (3V-SI-093A, 093B) 格納容器再循環サンプ 出口バイパスライン (3V-SI-092)	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/台 ×1台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	-	-	-	-	15回	-	-	17回	1箇所			
			VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/台 ×1台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)						1箇所						
			VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)												(重大事故等クラス2機器)
			VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	1箇所											(重大事故等クラス2機器)
			VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	1箇所											(重大事故等クラス2機器)
			VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	2箇所/台 ×2台											(重大事故等クラス2機器)
			VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	1箇所/台 ×2台					1箇所						(重大事故等クラス2機器)
			VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	1箇所/台 ×2台											(重大事故等クラス2機器)
			VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	1箇所/台 ×2台											(重大事故等クラス2機器)
			VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	2箇所/台 ×2台											(重大事故等クラス2機器)
			VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	1箇所/台 ×2台											(重大事故等クラス2機器)
			VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	1箇所/台 ×2台											(重大事故等クラス2機器)
			VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×1台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	1箇所/台 ×1台											(重大事故等クラス2機器)

(注) 項目番号C3.40 C-C/C/04.40 C-1/C/06.20 C-Gについては該当なし。

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

6. クラス2機器漏えい検査 (1/5)

適用規格：維持規格 J S M E S N A 1 - 2 0 0 8		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)							備考						
項目番号	カテゴリ	系統名	検査対象箇所	検査方法	検査圧力	第1検査時期		第2検査時期		第3検査時期					
						-	13回 特4※1	-	-	14回	-	15回	16回	17回	
C7.30 C7.70		一次冷却系統	加圧器逃がしタンク 補給水ライン	VT-2	運転圧力以上又は機能試験時の圧力以上						○				
C7.10 C7.30 C7.70			抽出ライン(1)	VT-2				○							
C7.10 C7.30 C7.70			抽出ライン(2)	VT-2				○							
C7.10 C7.30 C7.70			体積制御タンク入口ライン	VT-2			○※2								
C7.10 C7.30 C7.70			体積制御タンク及び 出入口ライン	VT-2								○		(重大事故等クラス2機器)	
C7.50 C7.70			充てんポンプ3A出口ライン	VT-2								○		(重大事故等クラス2機器)	
C7.30 C7.50 C7.70			充てんポンプ3B出口ライン	VT-2									○	(重大事故等クラス2機器)	
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	化学体積制御系統	充てんポンプ3C出口ライン	VT-2								○		(重大事故等クラス2機器)	
C7.10 C7.30 C7.70			充てん及び封水注入ライン	VT-2								○		(重大事故等クラス2機器)	
C7.10 C7.30 C7.70			ほう酸混合器及び出入口 ライン	VT-2									○		(重大事故等クラス2機器)
C7.30 C7.70			ほう酸ポンプ3A入口ライン	VT-2				○							(重大事故等クラス2機器)
C7.30 C7.70			ほう酸ポンプ3B入口ライン	VT-2				○							(重大事故等クラス2機器)
C7.30 C7.50 C7.70			ほう酸ポンプ3A出口ライン	VT-2				○							(重大事故等クラス2機器)
C7.30 C7.50 C7.70			ほう酸ポンプ3B出口ライン	VT-2				○							(重大事故等クラス2機器)
C7.30 C7.70			一次冷却材ポンプ 封水戻りライン	VT-2									○		(重大事故等クラス2機器)

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用し、運転再開時に検査を実施した。

6. クラス2機器漏えい検査 (2/5)

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)							備考										
項目番号	カテゴリ	系統名	検査対象箇所	検査方法	検査圧力	第1検査時期				第2検査時期			第3検査時期						
						-	13回特4※1	-	-	14回	-	15回	-	16回	-	17回			
C7.30 C7.70			高圧注入ポンプ3A、3B 入口ライン(1)	VT-2	運転圧力以上又は機能試験時の圧力以上											(重大事故等クラス2機器)			
C7.30 C7.70			高圧注入ポンプ3A、3B 入口ライン(2)	VT-2														(重大事故等クラス2機器)	
C7.30 C7.50 C7.70			高圧注入ポンプ3A 出口ライン(1)	VT-2			○※2											(重大事故等クラス2機器)	
C7.30 C7.70			高圧注入ポンプ3A 出口ライン(2)	VT-2			○※2											(重大事故等クラス2機器)	
C7.30 C7.50 C7.70		安全注入系統	高圧注入ポンプ3B 出口ライン(1)	VT-2														(重大事故等クラス2機器)	
C7.30 C7.70			高圧注入ポンプ3B 出口ライン(2)	VT-2														(重大事故等クラス2機器)	
C7.10 C7.30 C7.70			蓄圧タンク及びひび出入口ライン	VT-2															(重大事故等クラス2機器)
C7.30 C7.70			蓄圧タンク水張りライン	VT-2															(重大事故等クラス2機器)
C7.30 C7.70	C-H		蓄圧タンク窒素充てんライン	VT-2														(重大事故等クラス2機器)	
C7.30 C7.70			燃料取替用水タンク 出口ライン	VT-2														(重大事故等クラス2機器)	
C7.30 C7.70		余熱除去系統	余熱除去ポンプ3A入口ライン	VT-2														(重大事故等クラス2機器)	
C7.30 C7.70			余熱除去ポンプ3B入口ライン	VT-2							○							(重大事故等クラス2機器)	
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70			余熱除去ポンプ3A出口ライン	VT-2															(重大事故等クラス2機器)
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70			余熱除去ポンプ3B出口ライン	VT-2												○			(重大事故等クラス2機器)
C7.30 C7.70		格納容器スプレイ系統	格納容器スプレイポンプ 3A、3B入口ライン	VT-2													(重大事故等クラス2機器)		
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70			格納容器スプレイポンプ 3A出口ライン(1)	VT-2													(重大事故等クラス2機器)		
C7.30 C7.70			格納容器スプレイポンプ 3A出口ライン(2)	VT-2														(重大事故等クラス2機器)	

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用し、運転再開時に検査を実施した。

6. クラス2機器漏えい検査 (3/5)

項目番号		カテゴリ	系統名	検査対象箇所	検査方法	検査圧力	伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)						備考				
							第1検査時期		第2検査時期		第3検査時期						
							13回 特4※1	-	-	14回	-	15回	16回	17回			
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70			格納容器スプレイ系統	格納容器スプレイポンプ 3B出口ライン (1)	VT-2	運転圧力以上又は機能試験時の圧力以上							○		(重大事故等クラス2機器)		
C7.30 C7.70				格納容器スプレイポンプ 3B出口ライン (2)	VT-2									○			(重大事故等クラス2機器)
C7.10 C7.30 C7.70			よう素除去薬品タンク及び 出入口ライン	VT-2				○									
C7.30 C7.70			よう素除去薬品タンク 出口Aライン	VT-2								○					
C7.30 C7.70			よう素除去薬品タンク 出口Bライン	VT-2											○		
C7.10 C7.30 C7.70			調整貯蔵タンク及び 出入口ライン	VT-2				○									
C7.30 C7.70			加圧器気相部、液相部及び 一次冷却材Aループ高温側 サンプリングライン	VT-2				○※2									
C7.30 C7.70	C-H		試料採取系統	一次冷却材Bループ 高温側サンプリングライン	VT-2			○※2									
C7.30 C7.70				蓄圧タンク3A, 3B, 3C サンプリングライン	VT-2			○									
C7.30 C7.70				蒸気発生器3A蒸気出口ライン	VT-2										○		(重大事故等クラス2機器)
C7.30 C7.70			主蒸気系統	蒸気発生器3B蒸気出口ライン	VT-2										○		(重大事故等クラス2機器)
C7.30 C7.70				蒸気発生器3C蒸気出口ライン	VT-2										○		(重大事故等クラス2機器)
C7.10 C7.30 C7.70				蒸気発生器3A給水入口ライン	VT-2										○		(重大事故等クラス2機器)
C7.10 C7.30 C7.70				蒸気発生器3B給水入口ライン	VT-2										○		(重大事故等クラス2機器)
C7.10 C7.30 C7.70			主給水系統	蒸気発生器3C給水入口ライン	VT-2									○		(重大事故等クラス2機器)	

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用し、運転再開時に検査を実施した。

6. クラス2機器漏えい検査 (4/5)

項目番号		カテゴリ	適用規格	維持規格	J S M E S N A 1 - 2 0 0 8	伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)						備考				
		系統名	検査対象箇所	検査方法	検査圧力	第1検査時期		第2検査時期		第3検査時期						
						-	13回 特4※1	-	14回	-	15回	16回	17回			
C7.30 C7.70		蒸気発生器 プロローダウンシステム	蒸気発生器3A プロローダウンライン	VT-2	運転圧力以上又は 機能試験時の圧力以上								○			
C7.30 C7.70			蒸気発生器3B プロローダウンライン	VT-2										○		
C7.30 C7.70			蒸気発生器3C プロローダウンライン	VT-2										○		
C7.30 C7.70			蒸気発生器3A プロローダウンサンブルライン	VT-2										○		
C7.30 C7.70			蒸気発生器3B プロローダウンサンブルライン	VT-2										○		
C7.30 C7.70			蒸気発生器3C プロローダウンサンブルライン	VT-2										○		
C7.30 C7.70	C-H		格納容器再循環ユニット 3A, 3B冷却水供給ライン	格納容器再循環ユニット 3A, 3B冷却水供給ライン		VT-2	○									
C7.30 C7.70				格納容器再循環ユニット 3C, 3D冷却水供給ライン		VT-2							○			
C7.30 C7.70				格納容器再循環ユニット 3A冷却水戻りライン		VT-2			○							
C7.30 C7.70				格納容器再循環ユニット 3B冷却水戻りライン		VT-2			○							
C7.30 C7.70				格納容器再循環ユニット 3C冷却水戻りライン		VT-2			○							
C7.30 C7.70				格納容器再循環ユニット 3D冷却水戻りライン		VT-2			○							
C7.30 C7.70	原子炉補機 冷却水系統	制御棒ドラム駆動装置冷却ユニット 及び余剰抽出冷却器冷却水 供給、戻りライン	制御棒ドラム駆動装置冷却ユニット 及び余剰抽出冷却器冷却水 供給、戻りライン	VT-2							○					
C7.30 C7.70			一次冷却材ポンプ 冷却水供給、戻りライン	VT-2								○				
C7.30 C7.70				VT-2									○			

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

6. クラス2機器漏えい検査 (5/5)

項目番号		カテゴリ	適用規格	維持規格	J S M E S N A 1 - 2 0 0 8	検査力	伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考
		システム名	検査対象箇所	検査方法	検査力												
		空調用冷水設備系統	制御棒位置指示装置盤室冷却 ユニット冷却水供給、戻りライン	VT-2	運転圧力以上又は機能試験時の圧力以上	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期					
		液体廃棄物処理系統	格納容器冷却材ドレンポンプ 出口ライン	VT-2		-	13回 特4※1	-	14回	-	15回	-	16回	17回			
		燃料取替用水系統	格納容器サンプポンプ 出口ライン	VT-2													
		原子炉補給水系統	原子炉キャビティ浄化 入口ライン	VT-2													
		水消火設備系統	原子炉キャビティ浄化 出口ライン	VT-2													
		制御用空気系統	原子炉補給水ライン	VT-2													
		所内用空気系統	消火用水ライン	VT-2													
		換気空調設備系統	制御用空気3A供給ライン	VT-2													
			制御用空気3B供給ライン	VT-2													
			所内用空気ライン	VT-2													
			安全補機室排気ファン 3A・3B出入口弁	VT-2													
			安全補機室排気フィルタ ユニットドレン弁	VT-2													

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

クラス3機器供用期間中検査10年計画

1. 容器

伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)																			
機器名	項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期			備考	
									-	13回 特4※1	-	-	14回	-	15回	-	16回		17回
糸熱除去冷却器 (胴側)	D1.10	D-A	胴と当板脚の 溶接継手	VT-1	1つの 容器の 7.5%	2箇所/基 ×2基	VT-1	1つの 容器の 7.5% (1箇所)	1箇所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	F1.44	F-A	支持脚	VT-3	1つの 容器の 7.5%	2箇所/基 ×2基	VT-3	1つの 容器の 7.5% (1箇所)	1箇所										
原子炉補機 冷却水冷却器 (胴側)	D1.10	D-A	胴と当板の 溶接継手	VT-1	1つの 容器の 7.5%	3箇所/基 ×4基	VT-1	1つの 容器の 7.5% (1箇所)	1箇所										
	F1.44	F-A	支持脚	VT-3	1つの 容器の 7.5%	3箇所/基 ×4基	VT-3	1つの 容器の 7.5% (1箇所)	1箇所										
格納容器及び 冷却器(胴側)	D1.10	D-A	胴と当板脚の 溶接継手	VT-1	1つの 容器の 7.5%	2箇所/基 ×2基	VT-1	1つの 容器の 7.5% (1箇所)							1箇所				
	F1.44	F-A	支持脚	VT-3	1つの 容器の 7.5%	2箇所/基 ×2基	VT-3	1つの 容器の 7.5% (1箇所)							1箇所				
海水ストレーナ	D1.10	D-A	鏡板とスカート との溶接継手	VT-1	1つの 容器の 7.5%	1箇所/基 ×4基	VT-1	1つの 容器の 7.5% (1箇所)							1箇所				
	F1.44	F-A	支持構造物 (スカート)	VT-3	1つの 容器の 7.5%	1箇所/基 ×4基	VT-3	1つの 容器の 7.5% (1箇所)							1箇所				
潜水冷却器 (F1-セル 発電機)	D1.10	D-A	胴と当板との 溶接継手	VT-1	1つの 容器の 7.5%	2箇所/基 ×2基	VT-1	1つの 容器の 7.5% (1箇所)											1箇所
	F1.44	F-A	取付脚	VT-3	1つの 容器の 7.5%	2箇所/基 ×2基	VT-3	1つの 容器の 7.5% (1箇所)											1箇所
潤滑油冷却器 (F1-セル 発電機)	D1.10	D-A	胴と当板との 溶接継手	VT-1	1つの 容器の 7.5%	2箇所/基 ×2基	VT-1	1つの 容器の 7.5% (1箇所)											1箇所
	F1.44	F-A	取付脚	VT-3	1つの 容器の 7.5%	2箇所/基 ×2基	VT-3	1つの 容器の 7.5% (1箇所)											1箇所

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

2. 配管 (1/2)

伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)																			
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期			備考		
								-	13回 特4※1	-	-	14回	-	15回	-	16回		17回	
DL. 20	D-A	原子炉補機冷却水ポンプ A, B入口ライン	VT-1	7.5%	15箇所	VT-1	7.5% (2箇所)	-	-	-	15回	-	-	16回	17回	1箇所			
		原子炉補機冷却水ポンプ C, D入口ライン	VT-1	7.5%	9箇所	VT-1	7.5% (1箇所)							1箇所					
		原子炉補機冷却水ポンプ A, B出口ライン	VT-1	7.5%	15箇所	VT-1	7.5% (2箇所)			1箇所									
		原子炉補機冷却水ポンプ C, D出口ライン	VT-1	7.5%	13箇所	VT-1	7.5% (1箇所)				1箇所								
		海水ポンプA, B出口ライン	VT-1	7.5%	28箇所	VT-1	7.5% (3箇所)			1箇所					1箇所				
		海水ポンプC, D出口ライン	VT-1	7.5%	31箇所	VT-1	7.5% (3箇所)			1箇所						1箇所			
		ディーゼル発電機A 冷却水ライン (海水)	VT-1	7.5%	7箇所	VT-1	7.5% (1箇所)										1箇所		
		ディーゼル発電機B 冷却水ライン (海水)	VT-1	7.5%	7箇所	VT-1	7.5% (1箇所)											1箇所	
				配管の支持部材取付け溶接継手															

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

2. 配管 (2/2)

適用規格：維持規格 JSME S N A 1 - 2 0 0 8		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)																		
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期		第3検査時期		備考						
								-	13回 特4※1	-	14回	-	15回		-	16回	17回			
F1.31	F-A	支 持 構 造 物	VT-3	7.5%	RH 96 AN 5 101 箇所	VT-3	7.5% (8箇所)	-	-	-	15回	-	16回	17回						
					原子炉補機冷却水ポンプ A, B入口ライン				2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所				
					原子炉補機冷却水ポンプ C, D入口ライン	RH 73 AN 3 76 箇所	VT-3	7.5% (6箇所)			1箇所				1箇所					
					原子炉補機冷却水ポンプ A, B出口ライン	RH 101 AN 5 106 箇所	VT-3	7.5% (8箇所)			2箇所				2箇所		1箇所		2箇所	
					原子炉補機冷却水ポンプ C, D出口ライン	RH 76 AN 6 82 箇所	VT-3	7.5% (7箇所)						2箇所					1箇所	
海水ポンプA, B出口ライン	RH 107 AN 21 128 箇所	VT-3	7.5% (10箇所)											2箇所						
								3箇所						1箇所						
海水ポンプC, D出口ライン	RH 90 AN 19 109 箇所	VT-3	7.5% (9箇所)											2箇所						
														1箇所						
ディーゼル発電機A 冷却水ライン (海水)	RH 25 AN 7 32 箇所	VT-3	7.5% (3箇所)											1箇所						
ディーゼル発電機B 冷却水ライン (海水)	RH 25 AN 7 32 箇所	VT-3	7.5% (3箇所)											1箇所						

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

3. クラス3機器漏えい検査

適用規格：維持規格 JSME S NA11-2008										伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)						備考
項目番号	カテゴリ	系統名	検査対象箇所	検査方法	検査圧力	第1検査時期		第2検査時期		第3検査時期						
						-	13回 特4※1	-	-	14回	-			15回	16回	17回
D2.30		原子炉補機冷却水系統	原子炉補機冷却水ポンプA, B出入口ライン	VT-2	運転圧力以上又は機能試験時の圧力以上									(重大事故等クラス2機器)		
D2.30			原子炉補機冷却水ポンプC, D出入口ライン	VT-2								○			(重大事故等クラス2機器)	
D2.10			原子炉補機冷却水サージタンク及び出入口ライン	VT-2												(重大事故等クラス2機器)
D2.30			原子炉補機冷却水ポンプA, B出入口ライン	VT-2												(重大事故等クラス2機器)
D2.10			原子炉補機冷却水ポンプC, D出入口ライン	VT-2												(重大事故等クラス2機器)
D2.30			海水ポンプA, B出入口ライン	VT-2												(重大事故等クラス2機器)
D2.10		原子炉補機冷却海水系統	海水ポンプC, D出入口ライン	VT-2					○					(重大事故等クラス2機器)		
D2.30			使用済燃料ピットポンプ入口ライン	VT-2											(重大事故等クラス2機器)	
D2.10	D-B		使用済燃料ピットポンプA出口ライン	VT-2												
D2.30			使用済燃料ピットポンプB出口ライン	VT-2												
D2.10			使用済燃料ピット冷却器C出入口ライン	VT-2												
D2.30			制御用空気圧縮機A出入口ライン	VT-2												(重大事故等クラス2機器)
D2.10		制御用空気圧縮機系統	制御用空気圧縮機B出入口ライン	VT-2											(重大事故等クラス2機器)	
D2.30			ディーゼル発電機3A始動空気ライン	VT-2											(重大事故等クラス2機器)	
D2.10		ディーゼル発電機始動空気系統	ディーゼル発電機3B始動空気ライン	VT-2											(重大事故等クラス2機器)	
D2.30															(重大事故等クラス2機器)	

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

クラスI機器Ni基金金使用部位特別検査10年計画

1. 原子炉容器

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)						備考	
								第1検査時期		第2検査時期		第3検査時期			
								8回	9回	10回	11回	12回	13回 ※2	14回 ※2	15回 ※3
-		冷却材入口管台とセーフ エンドとの溶接継手 （呼び径1フィート 0.000以上の溶接 継手台）	BMV	100%	3箇所	BMV	100%	A	B			C			
-		冷却材出口管台とセーフ エンドとの溶接継手 （呼び径1フィート 0.000以上の溶接 継手台）	BMV	100%	3箇所	BMV	100%	A	C						
-		原子炉容器の上蓋表面 （原子炉容器の上蓋管台廻り 360°を含む）	BMV	100%/定検	1式	BMV	100%/定検	<100%	<100%	<100%	<100%	<100%	<100%		
-		原子炉容器の底部表面 （原子炉容器の底部管台廻り 360°を含む）	BMV	100%/5年	1式	BMV	100%/5年			100%					100%

※1 NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(原規技発第1408063号(平成26年8月6日 原子力規制委員会決定) 最終改正: 原規技発第1906051号(令和元年6月5日 原子力規制委員会決定))に従う。

なお、13回以前は、NISA文書「発電用原子炉設備における破損を引き起こすき裂その他の欠陥の解釈について(内規)」（平成21年12月25日付け平成21・11・18原院第1号）に従う。

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※3 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

< >は旧設備の検査実績を示す。

2. 加圧器

伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考						
項目番号	カテゴリ	通用文書： NRA文書(※1)				検査範囲	検査方法	検査範囲	第1検査時期				第2検査時期			第3検査時期		
		検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数				検査方法	検査範囲	検査回数		検査回数	検査回数	検査回数	検査回数	検査回数	
-		サージライン用管台	BMV	100%/5年	1箇所	BMV	100%/5年	8回	9回	10回	11回	-	12回	13回 ※2	-	14回 ※2	15回 ※3	3-9定検 加圧器管台廻り修繕工事において690系は混合硬化されたため、検査対象外(重大事故等クラス2機器)
		スプレイレイン用管台	BMV	100%/5年	1箇所	BMV	100%/5年	<1箇所>										
		逃がし弁用管台	BMV	100%/5年	1箇所	BMV	100%/5年	<1箇所>										
		安全弁用管台	BMV	100%/5年	3箇所	BMV	100%/5年	<3箇所>										

< >は旧設備の検査実績を示す。

※1 NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(原規技発第1408063号(平成26年8月6日 原子力規制委員会決定) 最終改正：原規技発第1906051号(令和元年6月5日 原子力規制委員会決定))に従う。

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※3 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

3. 蒸気発生器

適用文書： NRA文書（※1）		伊方発電所第3号機検査計画（10カ年）										備考					
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期			第3検査時期				
								8回	9回	10回	11回		12回	13回 ※2	14回	15回 ※3	
-	-	炉心セグメントフランジの溶接継手 冷却材出入口管台とセーフエントとの溶接継手	BMV	100%	2箇所/基 ×3基	BMV	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	300系N基金金使用部位であるが、第11回点検において検出限界のき裂を特定したうえで応力腐食割れ防止の有効性が実証された対策(BCT+USP)を施したため、第12回定検以降、検査対象外とする。 (重大事故等クラス2機器)

※1 NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(原規技発第1408063号(平成26年8月6日 原子力規制委員会決定)最終改正：原規技発第1906051号(令和元年6月5日 原子力規制委員会決定))に従う。

なお、13回以前は、NISA文書「発電用原子力設備における破損を引き起こすき裂その他の欠陥の解釈について(内規)」(平成21年12月25日付け平成21・11・18原院第1号)に従う。

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※3 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

クラス2管 (原子炉格納容器内) 特別検査10年計画

1. 配管

適用文書： NRA文書 (※1)		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)										備考				
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期		
								12回	13回 ※2	14回 ※2	15回	16回	17回	18回		
-	-	充てんライン溶接継手	体積	25%	31箇所	UT	25% (8箇所)	3箇所	1箇所	1箇所	15回	1箇所	17回	2箇所	18回	(重大事故等クラス2機器)
								1箇所	1箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所			
								3箇所	1箇所	3箇所	2箇所	2箇所	2箇所			
-	-	抽出ライン溶接継手	体積	25%	24箇所	UT	25% (6箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	15回	1箇所	17回	2箇所	(充てんライン配線筐のみ 重大事故等クラス2機器)	
								1箇所	1箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所			
								3箇所	1箇所	3箇所	2箇所	2箇所	2箇所			
-	-	再生熱交換器連絡管溶接継手	体積	25%	36箇所	UT	25% (9箇所)	3箇所	1箇所	1箇所	15回	1箇所	17回	2箇所	(重大事故等クラス2機器)	
								1箇所	1箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所			
								3箇所	1箇所	3箇所	2箇所	2箇所	2箇所			

※1 NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(原規技発第1408063号(平成26年8月6日 原子力規制委員会決定)最終改正：原規技発第1906051号(令和元年6月5日 原子力規制委員会決定))に従う。

なお、13回以前は、NISA文書「発電用原子力設備における破壊を引き起こす裂きその他の欠陥の解釈について(内規)」(平成21年12月25日付け平成21-11-18原院第1号)に従う。

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

原子炉格納容器供用期間中検査10年計画

原子炉格納容器

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)							備考									
項目番号	カテゴリー	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期				
								13回		14回	15回	16回	17回	18回	19回	20回		
E8.10	E-G	圧力保持用ボルト締め付け部	VT-4	25%	1箇所 (72組)	VT-4	25% (18組)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25% (18組)

(注) 項目番号 E1.12 E-A/E3.11, E3.12, E3.13 E-Bについては該当なし。

項目番号 E9.10, E9.20, E9.30, E9.40 E-P/F1.42 F-Aについては、全体漏えい率試験又は局部漏えい率試験にて別途実施。

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画（クラス1機器供用期間中検査範囲）

1. 原子炉容器 (1/2)

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲
B2.111	B-B	上部胴と下部胴との周溶接継手 下部胴とトランジションリングとの周溶接継手	体積	5%
B3.105	B-C	トランジションリングと下部鏡板との周溶接継手 上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積	5%
B3.10	B-D	冷却材入口管台と胴との溶接継手 冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積	100%
B3.20	B-D	冷却材入口管台内面の丸みの部分 冷却材出口管台内面の丸みの部分	体積	100%
B5.10	B-F	冷却材入口管台とセーフエントとの溶接継手 冷却材出口管台とセーフエントとの溶接継手	体積及び表面	100%

クラス1 機器供用期間中検査で管理

1. 原子炉容器 (2/2)

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲
B6.10	B-G-1	上蓋用ナット	VT-1	100%
B6.30	B-G-1	スタッドボルト	体積	100%
B6.40	B-G-1	胴フランジネジ穴のネジ部	体積	100%
B6.50	B-G-1	上蓋用ワッシャ	VT-1	100%
B7.10	B-G-2	T/Cハウジングの下部クランプ用ボルト、ナット	VT-1	25%
B14.10	B-0	制御棒駆動ハウジング上部の溶接継手	体積又は表面	最外周の25%
		制御棒駆動ハウジング下部の溶接継手	体積又は表面	最外周の25%
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	25%
G1.10	G-P-1	原子炉容器の内部	VT-3	7.5%
		原子炉容器の内部取付け物	VT-3	7.5%
G1.40 G1.50	G-P-1 G-P-2	上部炉心支持構造物	VT-3	7.5%
		下部炉心支持構造物	VT-3	7.5%

クラス1機器供用期間中検査で管理

2. 加圧器 (1/2)

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲
B2.11	B-B	上部鏡板と上部胴との周溶接継手	体積	5%
B2.12		下部胴と下部鏡板との周溶接継手	体積	5%
		上部胴の長手溶接継手	体積	10%
		下部胴の長手溶接継手	体積	10%
B2.13		上部胴と下部胴との周溶接継手	体積	5%
B3.30	B-D	サージライン用管台	体積	管台数の25%
		管台と溶接継手とのスプレイライン用管台		
		逃がし弁用管台		
		安全弁用管台		
B3.40	B-D	管台内面の丸み	体積	管台数の25%
		サージライン用管台		
		スプレイライン用管台		
		逃がし弁用管台		
		安全弁用管台		

クラス1 機器供用期間中検査で管理

2. 加圧器 (2/2)

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲
B5.40	B-F	管台とセーの溶接継手と サージライン用管台 スブレイライン用管台 逃がし弁用管台 安全弁用管台	体積及び表面	管台数の25%
B7.20	B-G-2	マンホールの取付けボルト	VT-1	25%
B8.20	B-H	支持スカート溶接継手	表面	7.5%
FL.41	F-A	支持構造物	VT-3	25%

クラスI機器供用期間中検査で管理

3. 蒸気発生器

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲
B2.40	B-B	管板と水室鏡板との周溶接継手	体積	代表1基の25%
B3.60	B-D	冷却材出入口管台内面の丸みの部分	体積	代表1基の25%
B5.70	B-F	冷却材入口管台とセーフエントとの溶接継手	体積及び表面	代表1基の25%
			ECT (内表面)	
		冷却材出口管台とセーフエントとの溶接継手	体積及び表面	
B7.30	B-G-2	冷却材出入口側マンホールの取付けボルト	VT-1	代表1基の25%
B8.30	B-H	支持部材の容器への取付け溶接継手	表面	代表1基の7.5%
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	代表1基の25%

クラス1機器供用期間中検査で管理

4. 配管 (1/5)

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲
B9.11	B-J	一次冷却材管	体積	25%
		加圧器サージライン	体積	25%
		加圧器安全弁ライン	体積	25%
		加圧器逃がしライン	体積	25%
		余熱除去ポンプ入口ライン	体積	25%
		蓄圧注入ライン	体積	25%
		高温側低圧注入ライン	体積	25%
		低温側低圧注入ライン	体積	25%
		高温側高圧注入ライン	体積	25%
		配管の周溶接継手（呼び径100A以上）		

クラス1機器供用期間中検査で管理

4. 配管 (2/5)

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲
B9.21	B-J	配管の周りに溶接手	表面	25%
		100A未満の継手	表面	25%
		充てんライン	表面	25%
		高温側高圧注入ライン	表面	25%
		低温側高圧注入ライン	表面	25%
B9.31	B-J	母管と管台との溶接継手 (呼び径 100A以上)	体積	25%
		一次冷却材管	表面	25%
B9.32	B-J	母管と管台との溶接継手 (呼び径 100A未満)	表面	25%
		高温側低圧注入ライン	表面	25%

クラス1機器供用期間中検査で管理

4. 配管 (3/5)

適用規格：維持規格 JSME S N A 1 - 2 0 0 8		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲
B9.40	B-J	高温側高圧注入ライン	表面	25%
		低温側高圧注入ライン	表面	25%
F1.10	F-A	支 持 構 造 物	VT-3	25%
		加圧器サージライン	VT-3	25%
クラス1機器供用期間中検査で管理				

4. 配管 (4/5)

適用規格：維持規格 JSME S N A 1 - 2 0 0 8		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲
FL.10	F-A	充てんライン	VT-3	25%
		余熱除去ポンプ入口ロライン	VT-3	25%
		蓄圧注入ライン	VT-3	25%
支 持 構 造 物				
クラス1機器供用期間中検査で管理				

4. 配管 (5/5)

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考	
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	
F.L.10	F-A	高温側低圧注入ライン	VT-3	25%	
		支 持 構 造 物			
		低温側低圧注入ライン	VT-3	25%	
		高温側高圧注入ライン	VT-3	25%	
		低温側高圧注入ライン	VT-3	25%	

クラス1機器供用期間中検査で管理

5. 一次冷却材ポンプ

適用規格： 維持規格 JSME S NA1-2008		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲
B6.180		主フランジボルト	体積	代表1台の25%
B6.190	B-G-1	主フランジ表面 (開放時)	VT-1	代表1台の25%
B6.200		主フランジナット及びワッシャ	VT-1	代表1台の25%
B12.20	B-L-2	ケーシングの内表面	VT-3	代表1台の100%
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	代表1台の25%

クラス1機器供用期間中検査で管理

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲
B7.70	B-G-2	加圧器安全弁ライン (3V-RC-055, 056, 057)	VT-1	代表1台 の25%
		加圧器逃がしライン(1) (3V-RC-054A, 054B)	VT-1	代表1台 の25%
		加圧器逃がしライン(2) (3PCV-452A, 452B)	VT-1	代表1台 の25%
		充てんライン (3V-CS-161, 162, 164, 165)	VT-1	代表1台 の25%
		余熱除去ボック入力ライン (3PCV-420, 430)	VT-1	代表1台 の25%
		蓄圧注入ライン (3V-SI-134A, 134B, 134C, 136A, 136B, 136C)	VT-1	代表1台 の25%
		高温側低圧注入ライン (3V-RH-053A, 053B, 3V-SI-082A, 082B)	VT-1	代表1台 の25%
		低温側低圧注入ライン (3V-RH-044A, 044B, 044C, 047A, 047B, 047C)	VT-1	代表1台 の25%
		高温側高圧注入ライン (3V-SI-082C)	VT-1	代表1台 の25%
		クラス1 機器供用期間中検査で管理		

6. 弁 (2/3)

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲
B12.50	B-M-2	弁	VT-3	同一グループで1台
		本体	VT-3	同一グループで1台
		体内	VT-3	同一グループで1台
		表面	VT-3	同一グループで1台
		管内	VT-3	同一グループで1台
		管外	VT-3	同一グループで1台
クラス1機器供用期間中検査で管理				

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲
FL.41	F-A	加圧器安全弁ライン (3V-RC-055, 056, 057)	VT-3	代表1台 の25%
		加圧器逃がしライン (1) (3V-RC-054A, 054B)	VT-3	代表1台 の25%
		加圧器逃がしライン (2) (3PCV-452A, 452B)	VT-3	代表1台 の25%
支 持 構 造 物 クラス1機器供用期間中検査で管理				

7. クラス1機器漏えい検査

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲
B15.10	B-P	原子炉容器 圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%
B15.20	B-P	加圧器 圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%
B15.30	B-P	蒸気発生器 圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%
B15.50	B-P	配管 圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%
B15.60	B-P	一次冷却材ポンプ 圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%
B15.70	B-P	弁 圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%

クラス1機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画
 (クラス1機器供用期間中検査(原子炉冷却材圧力バウンダリ範囲の見直しに伴う検査)範囲)

1. 配管

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲
B9.11	B-J	配管の周接継手(呼び径100A以上) 余熱除去ポンプ入ロライン	体積	25%
B9.21	B-J	配管の周接継手(呼び径100A未満) 余熱除去ポンプ入ロライン	表面	25%
B9.32	B-J	母管と管台との溶接継手(呼び径100A未満) 余熱除去ポンプ入ロライン	表面	25%
B10.20	B-K	配管の支持部材取付け溶接継手 余熱除去ポンプ入ロライン	表面	7.5%
F1.10	F-A	支持構造物 余熱除去ポンプ入ロライン	VT-3	25%

クラス1 機器供用期間中検査で管理

2. 弁

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲
B7.70	B-G-2	圧力保持用ボルト・ナット 余熱除去ポンプ入ロライン(3V-RH-002A, 002B)	VT-1	代表1台の25%
B12.50	B-M-2	弁本体内表面 余熱除去ポンプ入ロライン(3V-RH-002A, 002B)	VT-3	同一グループで1台
F1.41	F-A	支持構造物 余熱除去ポンプ入ロライン(3V-RH-002A, 002B)	VT-3	代表1台の25%

クラス1 機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画（クラス1機器Ni基合金使用部位特別検査範囲）

1. 原子炉容器

項目番号		適用文書： NRA文書			伊方発電所第3号機検査計画（10カ年）		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲			
-	-	<small>呼称 1号 フレンド Aの 以上 の 機器 と</small> 冷却材入口管台とセーフエ ンドとの溶接継手	BMV	100%			
-	-	<small>呼称 1号 フレンド Aの 以上 の 機器 と</small> 冷却材出口管台とセーフエ ンドとの溶接継手	BMV	100%	クラス1機器Ni基合金使用部位特別検査で管理		
-	-	原子炉容器の上蓋表面 （原子炉容器の上蓋管台廻り 360°を含む）	BMV	100%/定検			
-	-	原子炉容器の底部表面 （原子炉容器の底部管台廻り 360°を含む）	BMV	100%/5年			

2. 加圧器

項目番号		適用文書： NRA文書				伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考
カゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲					
-	呼び径175mm以上の溶接継手	BMV	100%/5年	クラス1機器Ni基金金使用部位特別検査で管理				
	スプレイン管用管台	BMV	100%/5年					
	逃がし弁管用管台	BMV	100%/5年					
	安全弁管用管台	BMV	100%/5年					

3. 蒸気発生器

項目番号		適用文書： NRA文書			伊方発電所第3号機検査計画（10カ年）		備考
カゴ	番号	検査対象箇所	検査方法	検査範囲			
	1	呼び名 フ100 エンドの 冷却材出入口管台とセーフ エンドとの溶接継手 の溶接継手と	BMV	-	クラス1機器Ni基金使用部位特別検査で管理		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画（クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査範囲）

1. 配管

項目番号		カテゴリ		適用文書： NRA文書			伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）		備考
		検査対象箇所	検査方法	検査範囲					
-	-	充てんライン溶接継手	体積	25%	クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査で管理				
		再生熱交換器連絡管溶接継手	体積	25%					

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

1. 原子炉補機冷却水ポンプ

適用規格：維持規格 JSME S N A 1 - 2 0 0 8										伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)						備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期		第3検査時期				
								-	13回 特4※1	-	14回	-	15回	-	16回	
F1.43	F-A	支持構造物 ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	1箇所/台 × 4台	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)				A 1箇所					

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

2. 格納容器スプレイポンプ

適用規格：維持規格 JSME S N A 1 - 2 0 0 8										伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)						備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期		第3検査時期				
								-	13回 特4※1	-	14回	-	15回	-	16回	
F1.43	F-A	支持構造物 ポンプ支持脚	VT-3	代表1台の7.5%	1箇所/台 × 2台	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)				A 1箇所					

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

3. 充てんポンプ

適用規格：維持規格 JSME S N A 1 - 2 0 0 8										伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)						備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期		第3検査時期				
								-	13回 特4※1	-	14回	-	15回	-	16回	
C3.30	C-C	支持部材取付け溶接継手	表面	7.5%												
C4.30	C-D	ケーシングボルト	体積	代表1台の7.5%												
C6.10	C-G	ポンプケーシング部の溶接継手	表面	代表1台の7.5%												
F1.43	F-A	支持構造物 ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%												

クラス2 機器供用期間中検査で管理

4. 余熱除去ポンプ

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考
項目番号	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	
C6.10	ポンプケーシング部の溶接継手	表面	代表1台の7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理
F1.43	支持構造物 ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	

5. 格納容器スプレイ冷却器

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)										備考					
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期			
								-	13回特4※1	-	-	14回	-	15回	-	16回	17回
C1.10	C-A	胴とフランジとの周溶接継手	体積	1つの容器の7.5%	1台/基 × 2基	UT	1つの容器の7.5%	-	-	-	14回	-	15回	-	16回	17回	A 7.5%
C1.20		胴と鏡板との周溶接継手	体積	1つの容器の7.5%	1台/基 × 2基	UT	1つの容器の7.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

6. 原子炉補機冷却水冷却器

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)										備考						
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期				
								-	13回特4※1	-	-	14回	-	15回	-	16回	17回	
C1.10	C-A	胴とフランジとの周溶接継手	体積	1つの容器の7.5%	2台/基 × 4基	UT	1つの容器の7.5%	-	-	-	14回	-	15回	-	16回	17回	A 7.5%	
C3.10		胴の周溶接継手	体積	1つの容器の7.5%	2台/基 × 4基	UT	1つの容器の7.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A 7.5%
F1.43	F-A	支持構造物 支持脚	VT-3	1つの容器の7.5%	3箇所/基 × 4基	PT	1つの容器の7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	-	1箇所

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

7. 余熱除去冷却器

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考
項目番号	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	
CL.10	胴とフランジとの周溶接継手	体積	1つの容器の7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理
CL.20	胴と鏡板との周溶接継手	体積	1つの容器の7.5%	
C2.21	管側出入口管台と管側胴との溶接継手	体積及び表面	管台数の7.5%	

8. 配管 (1/6)

適用規格: 維持規格 JSME S NA1-2008		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)																	
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	検査数	検査方法	検査範囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期			備考		
								13回	特4※1	-	-	14回	-	-	15回	16回		17回	
C3.20	C-C	配取 管付 のけ 支溶 持接 部継 材手	余熱除去ポンプ 入ロライン	表面	7.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			余熱除去冷却器 出ロライン	表面	7.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			高温側低圧注入ライン	表面	7.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			低温側低圧注入ライン	表面	7.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			高温側高圧注入ライン	表面	7.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			低温側高圧注入ライン	表面	7.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			高圧注入ポンプ 出ロライン	表面	7.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			格納容器再循環サンプ 出ロライン	表面	7.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			スプレイング注入 ライン	表面	7.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
								2箇所	PT	7.5% (1箇所)					1箇所				

クラス2機器供用期間中検査で管理

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

8. 配管 (2/6)

適用規格: 維持規格 JSME S NA1-2008		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)							備考							
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期			第3検査時期						
					検査回数	検査方法	検査範囲	検査回数	検査方法	検査範囲	検査回数	検査方法	検査範囲			
C5.11	C-F	余熱除去ポンプ 入ロライン (1)	体積及び 表面	7.5%	-	13回 特4※1	-	14回	-	15回	-	16回	17回	クラス2機器供用期間中検査で管理		
		余熱除去ポンプ 入ロライン (2)	表面	7.5%												
		余熱除去冷却器 出ロライン	体積及び 表面	7.5%												
		高温側低圧注入ライン	体積及び 表面	7.5%												
		低温側低圧注入ライン	体積及び 表面	7.5%												
		高圧注入ポンプ 出ロライン	体積及び 表面	7.5%												
		燃料取替用水タンク 出ロライン	表面	7.5%												
		格納容器再循環サンプ 出ロライン	体積及び 表面	7.5%												
		主蒸気逃がしライン	体積及び 表面	7.5%												
		余熱除去ポンプ 入ロライン	表面	7.5%												
C5.12	C-F	配管の長手 溶接継手 (呼び径 100A超、肉 厚 9.5mm 超)	表面	7.5%												
		燃料取替用水 タンク出ロライン	表面	7.5%												
C5.21	C-F	格納容器再循環 サンプ出ロライン	体積及び 表面	7.5%												
		高温側高圧注入 ライン	表面	7.5%												
		低温側高圧注入 ライン	表面	7.5%												
C5.30	C-F	高圧注入ポンプ 出ロライン	表面	7.5%												
		高温側高圧注入ライン	表面	7.5%												
C5.30	C-F	低温側高圧注入 ライン	表面	7.5%												
		低温側高圧注入 ライン	表面	7.5%												

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

8. 配管 (3/6)

適用規格: 維持規格 JSME S NA11-2008		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)		備考	
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	
F1.21	F-A	余熱除去ポンプ 入口ライン	VT-3	7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理
		余熱除去ポンプ 出口ライン	VT-3	7.5%	
		余熱除去冷却器 入口ライン	VT-3	7.5%	
		余熱除去冷却器 バイパスライン	VT-3	7.5%	
		余熱除去冷却器 出口ライン	VT-3	7.5%	
支 持 構 造 物					

8. 配管 (4/6)

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲
F1.21	F-A	高温側低圧注入ライン	VT-3	7.5%
		低温側低圧注入ライン	VT-3	7.5%
		高温側高圧注入ライン	VT-3	7.5%
		低温側高圧注入ライン	VT-3	7.5%
		高圧注入ポンプ 出口ライン	VT-3	7.5%
支 持 構 造 物				
クラス2機器供用期間中検査で管理				

8. 配管 (5/6)

適用規格: 維持規格 JSME S NA1-2008		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)						備考												
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期		第3検査時期											
					設備数	検査方法	検査範囲		-	13回 特4※1	-	14回	-	15回	16回	17回				
FL.21	F-A	支 持 構 造 物	燃料取替用水タンク 出口ライン	VT-3	7.5%	29 箇所	AN 22 RH 7	VT-3	7.5% (3箇所)											
			格納容器再循環サンプ 出口ライン	VT-3	7.5%	42 箇所	AN 1 RH 41	VT-3	7.5% (4箇所)											
			格納容器再循環サンプ 出口バイパスライン	VT-3	7.5%	6 箇所	RH 6	VT-3	7.5% (1箇所)											
		アニュラス空気再循環 ダクト	VT-3	7.5%	21 箇所	AN 4 RH 17	VT-3	7.5% (2箇所)												
		格納容器再循環ユニット 出入ロライン (CV内)	VT-3	7.5%	51 箇所	AN 3 RH 48	VT-3	7.5% (4箇所)												
		原子炉補機冷却水戻り母管 入口ライン	VT-3	7.5%																
		原子炉補機冷却水冷却器 出口ライン	VT-3	7.5%																
		格納容器再循環ユニット 出入ロライン (CV外)	VT-3	7.5%																

クラス2機器供用期間中検査で管理

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

8. 配管 (6/6)

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)														
項目番号	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期		第3検査時期		備考			
							-	13回 特4※1	-	14回	-	15回		-	16回	17回
F-A Fl.21	格納容器スプレイポンプ 入口ライン	VT-3	7.5%	HS 1	VT-3	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-				
				RH 9 11箇所												
	格納容器スプレイポンプ 出口ライン	VT-3	7.5%	RH 10	VT-3	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	1箇所		
				SH 1 11箇所												
	格納容器スプレイ冷却器 入口ライン	VT-3	7.5%	RH 3	VT-3	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
				3 3箇所												
	格納容器スプレイ冷却器 出口ライン	VT-3	7.5%	RH 32	VT-3	7.5% (3箇所)	-	-	-	1箇所	-	-	-	-	1箇所	
				3 3箇所												
	格納容器スプレイポンプ フルフローライン	VT-3	7.5%	RH 3	VT-3	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1箇所
				4 4箇所												
代替格納容器スプレイ ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%	AN 1	VT-3	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	-	-	
			RH 3 4箇所													
スプレイリング注入ライン	VT-3	7.5%	MS 2	VT-3	7.5% (2箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			RH 17 19箇所													
スプレイリング立上り ライン	VT-3	7.5%	RH 4	VT-3	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	
			4 4箇所													
主蒸気逃がしライン	VT-3	7.5%	RH 6	VT-3	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	
			6 6箇所													

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

適用規格：維持規格 JSME S N A I - 2 0 0 8		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考							
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期					
								13回	-	-	14回		-	-	15回	16回	17回		
F1.43	F-A	余熱除去冷却器 出口ライン(1) (3HCV-603, 613)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	-	-	-	14回	-	-	15回	-	-	-	-	
		余熱除去冷却器 出口ライン(2) (3V-RH-051A, 051B)	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	
		余熱除去冷却器 出口ライン(3) (3V-RH-040A, 040B)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		余熱除去冷却器 バイパスライン (3FCV-604, 614)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×4台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		高温側低圧注入 ライン (3V-RH-052A, 052B)	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/台 ×3台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		高圧注入ポンプ 出口ラインA (3V-SI-066A, 067A)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		高圧注入ポンプ 出口ラインB (3V-SI-066B, 067B)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		高圧注入ポンプ 出口ライン (3V-SI-062A, 062B)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		格納容器再循環サンプ 出口ライン (3V-SI-093A, 093B)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		格納容器再循環サンプ 出口バイパスライン (3V-SI-092)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		格納容器再循環ユニット 出入口ライン (C.V.外) (3TCV-2420, 2421)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		格納容器スブレイポンプ 入口ライン (3V-CP-001A, 001B)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		格納容器スブレイ冷却器 出口ライン (3V-CP-021A, 021B)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×4台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		アニュラス空気再循環ダク ト(3V-VS-101A, 102A, 101B, 102B)	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/台 ×3台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		主蒸気逃がしライン (3FCV-465, 475, 485)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×3台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

クラス2機器供用期間中検査で管理

(注) 項目番号C3.40 C-C/C4.40 C-D/C6.20 C-Gについては該当なし。
※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

10. 重大事故等クラス2機器漏えい検査 (1/6)

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)							備考				
項目番号	カテゴリ	系統名	検査対象箇所	検査方法	第1検査時期		第2検査時期			第3検査時期			
					-	13回 特4※1	-	14回		15回	16回	17回	
C7.30 C7.70			体積制御タンク及び 出入ライン	VT-2						○			
C7.30 C7.70			充てんポンプ3A出口ライン	VT-2						○			
C7.30 C7.70			充てんポンプ3B出口ライン	VT-2								○	
C7.30 C7.70			充てんポンプ3C出口ライン	VT-2						○			
C7.10 C7.30 C7.70			充てん及び封水注入ライン	VT-2						○			
C7.30 C7.70	C-H	化学体積制御系統	ほう酸ポンプ3A入口ライン	VT-2							○		
C7.30 C7.70			ほう酸ポンプ3B入口ライン	VT-2							○		
C7.30 C7.70			ほう酸ポンプ3A出口ライン	VT-2							○		
C7.30 C7.70			ほう酸ポンプ3B出口ライン	VT-2							○		
C7.30 C7.70			充てんポンプ3B自己冷却 供給ライン(1)	VT-2								○	
C7.30 C7.70			充てんポンプ3B自己冷却 戻りライン(1)	VT-2								○	

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

10. 重大事故等クラス2機器漏えい検査 (2/6)

適用規格：維持規格 J S M E S N A 1 - 2 0 0 8		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)							備考				
項目番号	カテゴリ	系統名	検査対象箇所	検査方法	第1検査時期		第2検査時期			第3検査時期			
					-	13回 特4※1	-	14回		15回	16回	17回	
C7.30 C7.70			高圧注入ポンプ3A、3B 入口ライン(1)	VT-2						○			
C7.30 C7.70			高圧注入ポンプ3A、3B 入口ライン(2)	VT-2						○			
C7.30 C7.70			高圧注入ポンプ3A 出口ライン(1)	VT-2							○		
C7.30 C7.70			高圧注入ポンプ3A 出口ライン(2)	VT-2							○		
C7.30 C7.50 C7.70		安全注入系統	高圧注入ポンプ3B 出口ライン(1)	VT-2						○			
C7.30 C7.70			高圧注入ポンプ3B 出口ライン(2)	VT-2							○		
C7.10 C7.30 C7.70			蓄圧タンク及びび出入口ライン	VT-2								○	
C7.30 C7.70			燃料取替用水タンク 出口ライン	VT-2							○		
C7.30 C7.70	C-H		代替炉心注入ライン(1)	VT-2							○		
C7.30 C7.70			余熱除去ポンプ3A入口ライン	VT-2								○	
C7.30 C7.70			余熱除去ポンプ3B入口ライン	VT-2								○	
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70		余熱除去系統	余熱除去ポンプ3A出口ライン	VT-2								○	
C7.30 C7.70			余熱除去ポンプ3B出口ライン	VT-2									○
C7.30 C7.70			代替再循環ライン	VT-2									○
C7.30 C7.70			格納容器スプレイポンプ 3A、3B入口ライン	VT-2									○
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70		格納容器スプレイ系統	格納容器スプレイポンプ 3A出口ライン(1)	VT-2									○
C7.30 C7.70			格納容器スプレイポンプ 3A出口ライン(2)	VT-2									

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

10. 重大事故等クラス2機器漏えい検査 (3/6)

適用規格：維持規格 J S M E S N A 1 - 2 0 0 8		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)						備考				
項目番号	カテゴリ	系統名	検査対象箇所	検査方法	第1検査時期		第2検査時期		第3検査時期			
					-	13回 特4※1	-		14回	-	15回	16回
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70		格納容器スプレイ系統	格納容器スプレイポンプ 3B出口ライン (1)	VT-2						○		
C7.30 C7.70			格納容器スプレイポンプ 3B出口ライン (2)	VT-2							○	
C7.30 C7.70		代替炉心注入ライン(2)	VT-2							○		
C7.30 C7.70		代替格納容器スプレイ ポンプ入口ライン	VT-2							○		
C7.30 C7.50 C7.70		代替格納容器スプレイ ポンプ出口ライン	VT-2							○		
C7.30 C7.70	C-H	主蒸気系統	蒸気発生器3A蒸気出口ライン	VT-2								○
C7.30 C7.70			蒸気発生器3B蒸気出口ライン	VT-2								○
C7.30 C7.70			蒸気発生器3C蒸気出口ライン	VT-2								○
C7.10 C7.30 C7.70		主給水系統	蒸気発生器3A給水入口ライン	VT-2								○
C7.10 C7.30 C7.70			蒸気発生器3B給水入口ライン	VT-2								○
C7.10 C7.30 C7.70			蒸気発生器3C給水入口ライン	VT-2								○

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

10. 重大事故等クラス2機器漏えい検査 (4/6)

適用規格：維持規格 JSME S N A 1 - 2 0 0 8		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)						備考				
項目番号	カテゴリ	系統名	検査対象箇所	検査方法	第1検査時期		第2検査時期		第3検査時期			
					-	13回 特4※1	-		-	14回	-	15回
C7.30 C7.70			タービン動補助給水ポンプ 蒸気入ロライン	VT-2						○		
C7.30 C7.70			補助給水ポンプ補給用屋外接続パイプ (原子炉建屋側)	VT-2							○	
C7.30 C7.70			補助給水ポンプ補給用屋外接続パイプ (原子炉補助建屋側)	VT-2								○
C7.30 C7.70			電動補助給水ポンプ3A入ロライン	VT-2						○		
C7.30 C7.70			電動補助給水ポンプ3B入ロライン	VT-2							○	
C7.30 C7.50 C7.70			電動補助給水ポンプ3A出ロライン	VT-2						○		
C7.30 C7.70			電動補助給水ポンプ3B出ロライン	VT-2							○	
C7.30 C7.70			タービン動補助給水ポンプ入ロライン	VT-2						○		
C7.30 C7.50 C7.70			タービン動補助給水ポンプ出ロライン	VT-2						○		
C7.30 C7.70			燃料取替用水補給配管(1)	VT-2							○	
C7.30 C7.70			燃料取替用水補給配管(2)	VT-2							○	
C7.30 C7.70			格納容器再循環ユニット 3A, 3B冷却水供給ライン	VT-2							○	
C7.30 C7.70			格納容器再循環ユニット3A 冷却水戻りライン	VT-2							○	
C7.30 C7.70			格納容器再循環ユニット3B 冷却水戻りライン	VT-2							○	
C7.30 C7.70			原子炉補機冷却水ポンプ A, B入ロライン	VT-2						○		
C7.30 C7.70			原子炉補機冷却水ポンプ C, D入ロライン	VT-2							○	
C7.10 C7.30 C7.70			原子炉補機冷却水サージ タンク及び出入ロライン	VT-2							○	
C7.10 C7.30 C7.70			原子炉補機冷却水ポンプ A, B出ロライン	VT-2						○		
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70			原子炉補機冷却水ポンプ C, D出ロライン	VT-2								○

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

10. 重大事故等クラス2機器漏えい検査 (5/6)

適用規格：維持規格 JSME S N A 1 - 2 0 0 8		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)						備考					
項目番号	カテゴリ	系統名	検査対象箇所	検査方法	第1検査時期		第2検査時期		第3検査時期				
					-	13回 特4※1	-	-	14回	-	15回	16回	17回
C7.30 C7.70		原子炉補機冷却水系統	原子炉補機冷却水サージタンク窒素供給ライン	VT-2									
C7.30 C7.70			原子炉補機冷却海水供給ライン	VT-2								○	
C7.10 C7.30 C7.70			格納容器雰囲気ガスサンプル冷却器出入ロライン	VT-2									○
C7.30 C7.70		原子炉補機冷却水系統	高圧注入ポンプ冷却用海水放出ライン(1)	VT-2								○	
C7.30 C7.70			格納容器再循環ユニット3A, 3B 出入口ライン	VT-2								○	
C7.30 C7.70			格納容器再循環ユニット3A海水放出ライン	VT-2									○
C7.30 C7.70		原子炉補機冷却水系統	格納容器再循環ユニット3B海水放出ライン	VT-2								○	
C7.30 C7.70			充てんポンプ3B自己冷却供給ライン(2)	VT-2								○	
C7.30 C7.70			充てんポンプ3B自己冷却戻りライン(2)	VT-2								○	
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	原子炉補機冷却水系統	海水ポンプA, B出口ライン	VT-2									○
C7.30 C7.70			海水ポンプC, D出口ライン	VT-2									
C7.30 C7.70		制御用空気系統	制御用空気3A供給ライン	VT-2									○
C7.30 C7.70			制御用空気3B供給ライン	VT-2									○
C7.30 C7.70		制御用空気系統	格納容器ガスサンプルライン空気作動弁窒素供給ライン(1)	VT-2									○
C7.30 C7.70			格納容器ガスサンプルライン空気作動弁窒素供給ライン(2)	VT-2									○
C7.30 C7.70		制御用空気系統	アニュラス非気系空気作動弁窒素供給ラインA	VT-2									○
C7.30 C7.70			アニュラス非気系空気作動弁窒素供給ラインB	VT-2									○

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

10. 重大事故等クラス2機器漏えい検査 (6/6)

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)						備考					
項目番号	カテゴリ	系統名	検査対象箇所	検査方法	第1検査時期		第2検査時期		第3検査時期				
					-	13回 特4※1	-		14回	-	15回	16回	17回
C7.30 C7.70		制御用空気圧縮機系統	制御用空気圧縮機A出口ライン	VT-2									
C7.30 C7.70			制御用空気圧縮機B出口ライン	VT-2									
C7.30		換気空調設備系統	アニュラス排気ファン3A 出入口ライン	VT-2									
C7.30			アニュラス排気ファン3B 出入口ライン	VT-2									
C7.30			ダクト(中央制御室～中央制御室)	※2									
C7.30 C7.70		湧水系統	高圧注入ポンプ冷却用 海水放出ライン(2)	VT-2									
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	ディーゼル発電機 始動空気系統	ディーゼル発電機3A 始動空気ライン	VT-2									
C7.10 C7.30 C7.70			ディーゼル発電機3B 始動空気ライン	VT-2									
C7.30 C7.70		試料採取系統	格納容器雰囲気ガスサンプリング ライン(1)	VT-2									
C7.10 C7.30 C7.70			格納容器雰囲気ガスサンプリング ライン(2)	VT-2									
C7.30 C7.70			アニュラス水素濃度 (AM) 計測 ライン	VT-2									
C7.30 C7.70		緊急時対策所 (EL. 32m) 空 気浄化設備系統	緊急時対策所 (EL. 32m) 空気浄化ライン	VT-2									
C7.30 C7.70		緊急時対策所 (EL. 32m) 事 故時加圧設備系統	緊急時対策所 (EL. 32m) 事故時加圧ライン	VT-2									

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

※2 実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則第58条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画（原子炉格納容器供用期間中検査範囲）

原子炉格納容器

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008		伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）										備考				
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期			第3検査時期			
								-	13回 特4※1	-	14回		-	15回	-	16回
E8.10	E-G	圧力保持用ボルト締め付け部	VT-4	25%	1箇所 (72組)	VT-4	25% (18組)									25% (18組)

(注) 項目番号 E1.12 E-A/E3.11, E3.12, E3.13 E-Bについては該当なし。

項目番号 E9.10, E9.20, E9.30, E9.40 E-P/F1.42 F-Aについては、全体漏えい率試験又は局部漏えい率試験にて別途実施。

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

1. 重大事故等クラス3機器漏えい検査(1/5)

項目番号	適用規格	維持規格	J S M E S N A 1 - 2 0 0 8	検査力	検査方法	検査対象箇所	設備数	伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)						備考			
								第1検査時期		第2検査時期		第3検査時期					
							13回	-	14回	-	15回	16回	17回	18回			
D2.10	D-B	緊急時対策所	300kVA電源車燃料タンク	VT-2	大型ポンプ車燃料タンク(大型ポンプ車)	3									○	3台を2定検に分けて実施	
			75kVA電源車燃料タンク	VT-2	大型ポンプ車燃料タンク(大型ポンプ車)	3										○	3台を2定検に分けて実施
			大型ポンプ車燃料タンク(大型ポンプ車)	VT-2	大型ポンプ車燃料タンク(大型ポンプ車)	1										○	
			大型ポンプ車燃料タンク(大型ポンプ車(泡混合機能付))	VT-2	大型ポンプ車燃料タンク(大型ポンプ車)	1										○	
			加圧ポンプ車燃料タンク	VT-2	加圧ポンプ車燃料タンク	3										○	
			中型ポンプ車燃料タンク	VT-2	中型ポンプ車燃料タンク	7										○	
			緊急時対策所加圧装置	VT-2	緊急時対策所加圧装置	447										○	
			緊急時対策所用発電機燃料タンク	VT-2	緊急時対策所用発電機燃料タンク	6										○	6台を2定検に分けて実施
			ミクロリー	VT-2	ミクロリー	5										○	
			窒素ポンベ(アニュラス排気系空気作動弁用)	VT-2	窒素ポンベ(アニュラス排気系空気作動弁用)	2										○	
			窒素ポンベ(加圧器逃がし弁用)	VT-2	窒素ポンベ(加圧器逃がし弁用)	3										○	
窒素ポンベ(格納容器ガスサンプルングライン空気作動弁用)	VT-2	窒素ポンベ(格納容器ガスサンプルングライン空気作動弁用)	3										○				
窒素ポンベ(原子炉補機冷却水サージタンク用)	VT-2	窒素ポンベ(原子炉補機冷却水サージタンク用)	3								○						

1. 重大事故等クラス3機器漏えい検査(2/5)

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)										備考					
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査圧力	設備数	第1検査時期		第2検査時期			第3検査時期						
						13回	-	14回	-	15回	16回		17回	18回			
D2.30	D-B	大型放水砲	VT-2	運転圧力以上又は機能試験時の圧力以上	2							○	○	-			
		小型放水砲	VT-2		3						○						
		可搬型ダクト(緊急時対策所空気浄化ファン ～緊急時対策所空気浄化フィルタユニット)	VT-2		5										○		
		可搬型ダクト(緊急時対策所空気浄化フィルタユニット ～緊急時対策所 (EL. 32m) 建屋接続口)	VT-2		11											○	
		集合配管(ボンベバック)	VT-2		46							○					
		集合配管(減圧ユニット)	VT-2		5							○					
		マニホールド(緊急時対策所加压装置用)	VT-2		447							○					
		マニホールド(アニュラス排気系空気が動弁用)	VT-2		2										○		
		マニホールド(加压器逃がし弁用)	VT-2		4										○		
		マニホールド(格納容器ガスサンプリングライン空気が動弁用)	VT-2		3										○		
		マニホールド(原子炉補機冷却水サージタンク用)	VT-2		2											○	
		加压器逃がし弁装置供給用9m, 20mフレキシブルホース	VT-2		3												○

1. 重大事故等クラス3機器漏えい検査 (3/5)

適用規格: 維持規格 JSME S NA1-2008		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)											
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査圧力	設備数	第1検査時期		第2検査時期			第3検査時期		備考
						13回	14回	15回	16回	17回	18回		
D2.30	D-B	可換型代替冷却水ポンプ接続用5mフレキシブルホース	VT-2	運転圧力以上又は機能試験時の圧力以上	3		○						
		格納容器ガスサンプリングライン空気作動弁窒素供給用2m, 6mフレキシブルホース	VT-2		3				○				
		格納容器水素濃度計測装置接続用1.5m, 3mフレキシブルホース	VT-2		3				○				
		格納容器雰囲気ガスサンプリング冷却器冷却水屋外放出用21mフレキシブルホース	VT-2		6		○						
		アニュラス水素濃度 (AM) 計測装置接続用1m, 2mフレキシブルホース	VT-2		3					○			
		アニュラス排気系空気作動弁窒素供給用3mフレキシブルホース	VT-2		2						○		
		原子炉補機冷却水サージタンク窒素供給用14mフレキシブルホース	VT-2		2							○	
		高圧注入ポンプ3B及び電動機冷却水屋外放出用5mフレキシブルホース	VT-2		2		○						
		代替格納容器雰囲気ガスサンプリング圧縮装置接続用2mフレキシブルホース	VT-2		2							○	
		軽油移送配管EL. 10m接続口～ミニローリー送油用10mホース	VT-2		2							○	
軽油タンク出口接続口～ミニローリー送油用10mホース	VT-2	10							○				

1. 重大事故等クラス3機器漏えい検査 (4/5)

適用規格: 維持規格 JSME S N A I - 2 0 0 8		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)							備考					
項目番号	カテゴリー	検査対象箇所	検査方法	検査圧力	第1検査時期			第2検査時期						
					13回	-	14回	-		15回	16回	17回	18回	
D2.30	D-B	重油タンク出口接続口 ~重油移送配管EL. 84m接続口又はミニローリー送油用10mホース	VT-2	運転圧力以上又は機能試験時の圧力以上	8	-	○	-	-	-	-	-	-	
		重油移送配管EL. 10m接続口又はミニローリー送油用10mホース	VT-2		6	-	○	-	-	-	-	-	-	
		重油移送配管EL. 44m接続口 ~ミニローリー送油用10mホース	VT-2		34	-	○	-	-	-	-	-	-	
		ミニローリー送油移送配管EL. 32m接続口送油用10mホース	VT-2		2	-	○	-	-	-	-	-	-	
		ミニローリー車載送油用19.5m, 20mホース	VT-2		5	-	-	-	-	-	-	-	○	
		大型ポンプ車又は大型ポンプ車(泡混合機能付) 出口ライン送水用5m, 10m, 50mホース	VT-2		5m: 2 10m: 11 50m: 37	-	-	-	○	-	○	○	○	-
		大型ポンプ車又は大型ポンプ車(泡混合機能付) 入口ライン取水用5m, 10m, 20mホース	VT-2		5m: 5 10m: 7 20m: 3	-	-	-	-	-	○	○	○	-
		加圧ポンプ車出口ライン送水用19m, 20mホース	VT-2		19m: 5 20m: 29	-	-	-	-	-	○	○	○	-
		中型ポンプ車出口ライン送水用10m, 20m, 50mホース	VT-2		10m: 17 20m: 21 50m: 63	-	-	-	-	-	○	○	○	-
		ホース(緊急時対策所加圧装置用高圧ホース)	VT-2		48	-	-	-	-	-	-	-	-	○

1. 重大事故等クラス3機器漏えい検査(5/5)

項目番号	カテゴリー	適用規格：維持規格 JSME SNA1-2008	検査対象箇所	検査方法	検査圧力	伊方発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考						
						設備数	第1検査時期		第2検査時期			第3検査時期										
							13回	-	14回	-	15回	16回	17回	18回	-							
D2.30	D-B		ホース(緊急時対策所加圧装置用低圧ホース)	VT-2	運転圧力以上又は機能試験時の圧力以上	6			○													
			300kVA電源車冷却水ポンプ	VT-2		3								○					3台を2定検に分けて実施			
			75kVA電源車冷却水ポンプ	VT-2		3											○			3台を2定検に分けて実施		
			大型ポンプ車	VT-2		1										○						
			大型ポンプ車(泡混合機能付)	VT-2		1										○						
			加圧ポンプ車	VT-2		3											○					
			中型ポンプ車	VT-2		7											○					
			可搬型代替冷却水ポンプ	VT-2		2												○				
			緊急時対策所用発電機冷却水ポンプ	VT-2		6														○		6台を2定検に分けて実施

保全に関する実施体制

保全に関する実施体制

1. 事業者の保守管理体制

事業者の第15保全サイクルにおける保守管理体制を下図に示す。

